

地域福祉に関する意識調査 結果報告書（暫定版）

平成30年7月

函館市保健福祉部
社会福祉法人函館市社会福祉協議会

目 次

I	調査概要	1
	1 調査目的	
	2 調査内容	
	3 調査方法	
	4 調査対象	
	5 回答数	
	6 調査実施時期	
II	日常生活圏域の町名	2
III	個人向けアンケートの調査結果	
	1 基本的事項	3
	2 隣近所との付き合いについて	13
	3 居住している地域（町内）について	18
	4 生活状況について	27
	5 ボランティアや地域活動について	33
	6 函館市の福祉施策について	44
	7 各設問の自由記載	50
IV	企業等向けアンケートの調査結果	
	1 基本的事項	71
	2 地域貢献活動について	72
	3 自由記載	79
V	学生向けアンケートの調査結果	
	1 基本的事項	80
	2 隣近所との付き合いについて	83
	3 居住している地域（町内）について	84
	4 生活状況について	86
	5 ボランティアや地域活動について	87
	6 函館市の福祉施策について	91
	3 自由記載	93
VI	アンケート調査票	
	■ 個人向け	94
	■ 企業等向け	108
	■ 学生向け	115

I 調査概要

1 調査目的

市民の地域福祉に関する意識や取り組み状況を調査することにより、当市における課題や問題点を整理し、平成30年度に策定する第4次地域福祉計画および第6期地域福祉実践計画に反映させようとするもの。

2 調査内容

日常的な近所付き合いをはじめ、地域における福祉活動等の参加状況や福祉施策について調査を行った。

3 調査方法

無記名、選択式（一部自由記述）によるアンケート用紙を直接郵送および町会、学校を通じ配布、回収した。

4 調査対象

- (1) 個人：20歳以上60歳未満の一般市民を無作為抽出 2,000名
60歳以上の町会加入の市民 183町会×6名=1,098名
市内の高校・大学・専門学校生 105名

函館大妻高等学校
北海道教育大学函館校
函館大学
函館大谷短期大学
函館臨床福祉専門学校

- (2) 企業等：従業員数が概ね30名以上の市内事業所を無作為抽出 150事業所

5 回答数

- (1) 個人：一般 1,195名（回答率 38.6%）
 学生 96名（回答率 91.4%）
(2) 企業等： 84事業所（回答率 56.0%）

6 調査実施時期

平成30年5月～6月

《日常生活圏域の町名》

圏域	町名	
西部	入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町, 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町, 旭町, 東雲町, 大森町	
中央部第1	松風町, 若松町, 千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町, 松川町, 万代町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町, 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 金堀町, 広野町	
中央部第2	大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 時任町, 杉並町, 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 乃木町, 柏木町	
東央部第1	川原町, 深堀町, 駒場町, 湯浜町, 湯川町1丁目, 湯川町2丁目, 湯川町3丁目, 花園町, 日吉町1丁目, 日吉町2丁目, 日吉町3丁目, 日吉町4丁目	
東央部第2	戸倉町, 榎本町, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町, 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町1丁目, 西旭岡町2丁目, 西旭岡町3丁目, 鱒川町, 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町, 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町, 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町, 石崎町, 鶴野町, 白石町	
北東部第1	富岡町1丁目, 富岡町2丁目, 富岡町3丁目, 中道1丁目, 中道2丁目, 鍛冶1丁目, 鍛冶2丁目	
北東部第2	美原1丁目, 美原2丁目, 美原3丁目, 美原4丁目, 美原5丁目, 赤川町, 赤川1丁目, 亀田中野町, 北美原1丁目, 北美原2丁目, 北美原3丁目, 石川町, 昭和1丁目, 昭和2丁目, 昭和3丁目, 昭和4丁目	
北東部第3	山の手1丁目, 山の手2丁目, 山の手3丁目, 本通1丁目, 本通2丁目, 本通3丁目, 本通4丁目, 陣川町, 陣川1丁目, 陣川2丁目, 神山町, 神山1丁目, 神山2丁目, 神山3丁目, 東山町, 東山1丁目, 東山2丁目, 東山3丁目, 水元町, 亀田大森町	
北部	浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町1丁目, 港町2丁目, 港町3丁目, 追分町, 亀田町, 桔梗町, 桔梗1丁目, 桔梗2丁目, 桔梗3丁目, 桔梗4丁目, 桔梗5丁目, 西桔梗町, 昭和町, 亀田本町, 亀田港町	
東部	戸井地区	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町, 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町
	恵山地区	日浦町, 吉畑町, 豊浦町, 大潤町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町, 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町
	楳法華地区	恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町, 新八幡町, 新浜町, 銚子町
	南茅部地区	古部町, 木直町, 尾札部町, 川汲町, 安浦町, 臼尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町

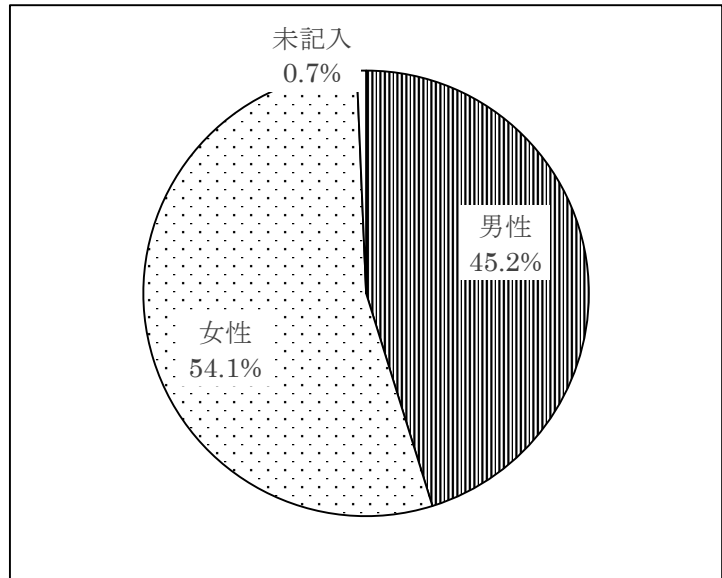
地域福祉に関する意識調査結果【一般用】

1. 回答者の基本属性

問1 性別・年齢

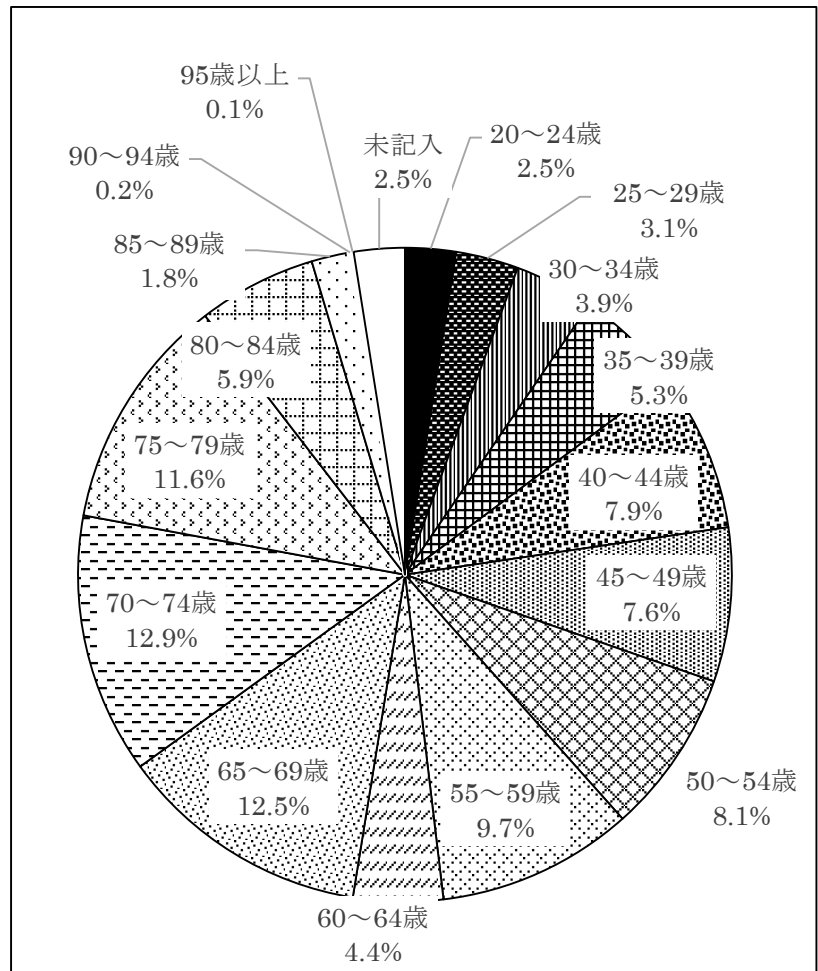
(1) 性別

	人数	パーセント
男性	540	45.2%
女性	647	54.1%
未記入	8	0.7%
合計	1195	100.0%



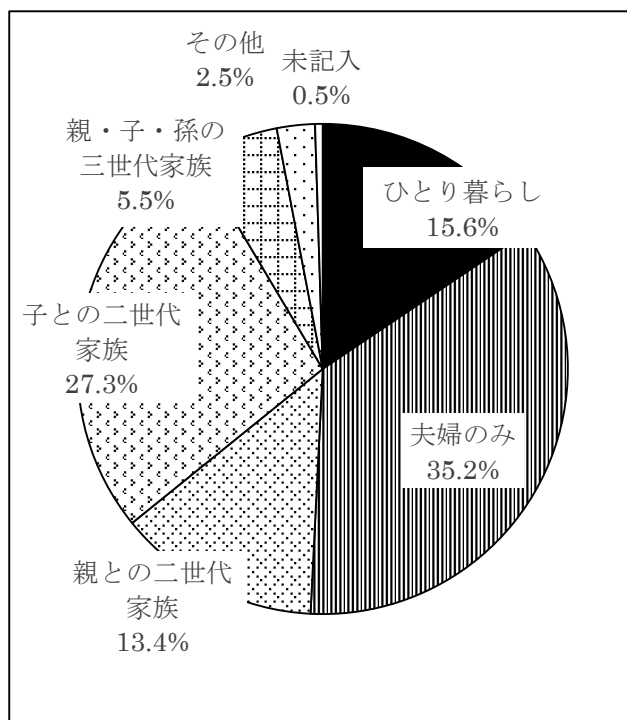
(2) 年齢

	人数	パーセント
20～24歳	30	2.5%
25～29歳	37	3.1%
30～34歳	47	3.9%
35～39歳	63	5.3%
40～44歳	94	7.9%
45～49歳	91	7.6%
50～54歳	97	8.1%
55～59歳	116	9.7%
60～64歳	53	4.4%
65～69歳	149	12.5%
70～74歳	154	12.9%
75～79歳	139	11.6%
80～84歳	70	5.9%
85～89歳	22	1.8%
90～94歳	2	0.2%
95歳以上	1	0.1%
未記入	30	2.5%
合計	1195	100.0%



問2 家族構成

	人数	パーセント
ひとり暮らし	186	15.6%
夫婦のみ	421	35.2%
親との二世世代家族	160	13.4%
子との二世世代家族	326	27.3%
親・子・孫の三世世代家族	66	5.5%
その他	30	2.5%
未記入	6	0.5%
合計	1195	100.0%

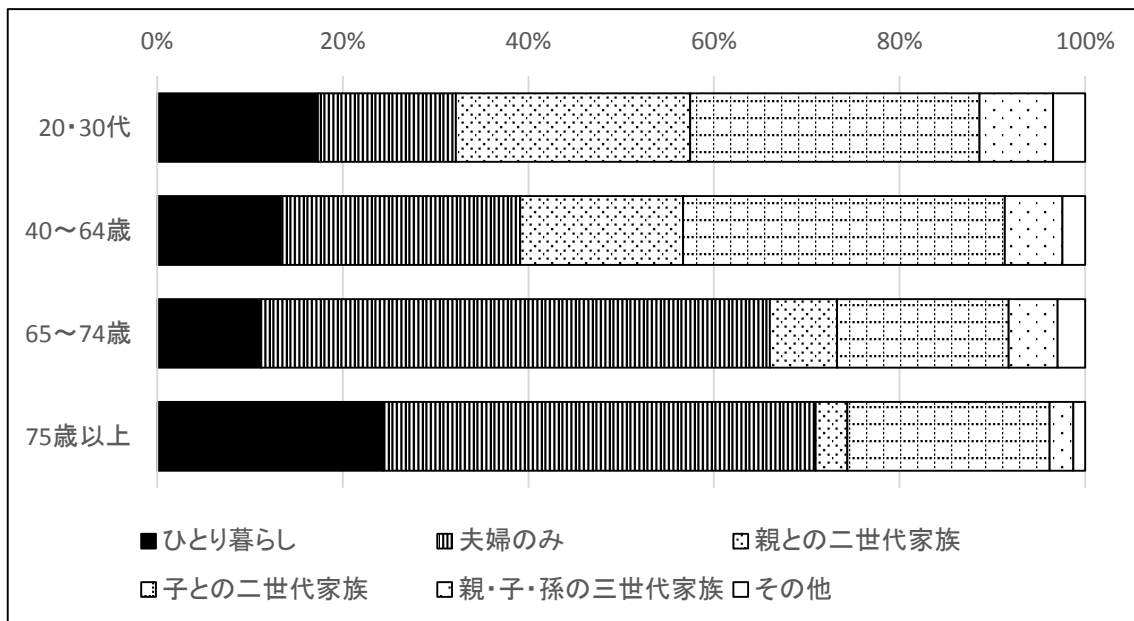


その他の主な回答

4世代	2件
兄弟と同居	10件
(その他) 友人、孫と2人など	

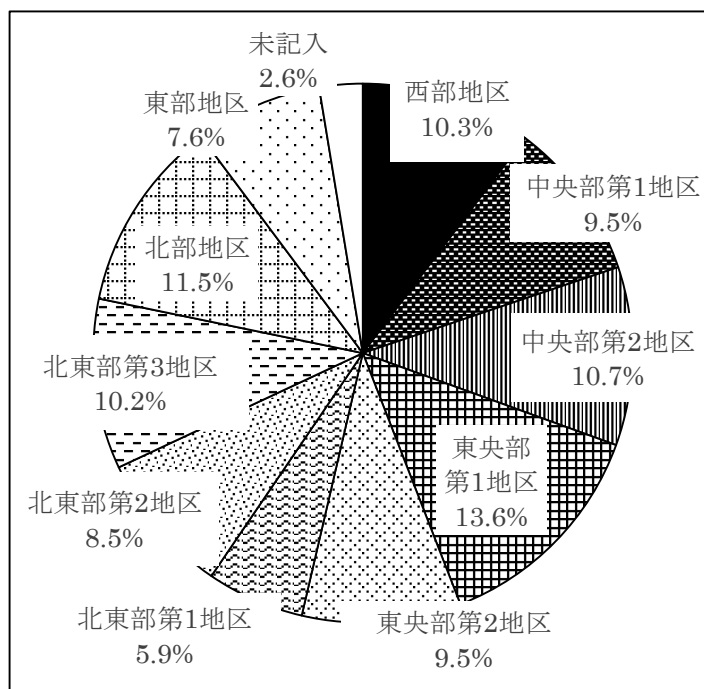
<年代別>

		家族構成						合計
		ひとり暮らし	夫婦のみ	親との二世世代家族	子との二世世代家族	親・子・孫の三世世代家族	その他	
年代	20・30代	35 17.3%	30 14.9%	51 25.2%	63 31.2%	16 7.9%	7 3.5%	202 100.0%
	40～64歳	60 13.3%	116 25.8%	79 17.6%	156 34.7%	28 6.2%	11 2.4%	450 100.0%
	65～74歳	34 11.2%	166 54.8%	22 7.3%	56 18.5%	16 5.3%	9 3.0%	303 100.0%
	75歳以上	57 24.4%	109 46.6%	8 3.4%	51 21.8%	6 2.6%	3 1.3%	234 100.0%



問3 居住地域

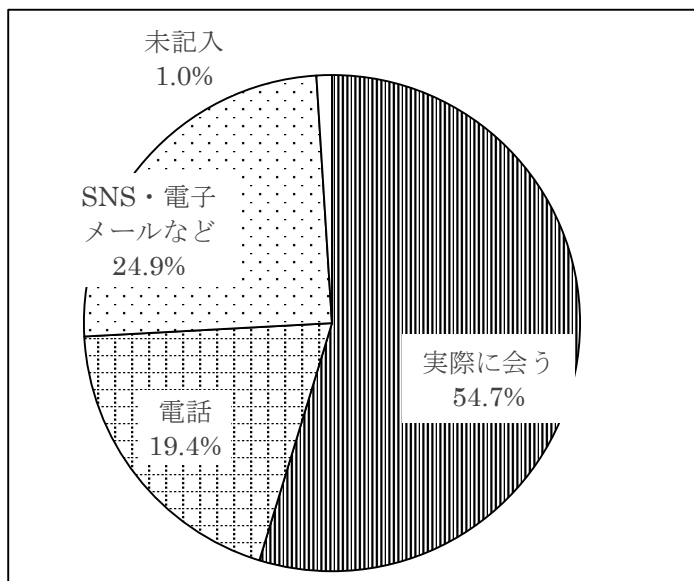
	人数	パーセント
西部地区	123	10.3%
中央部第1地区	114	9.5%
中央部第2地区	128	10.7%
東央部第1地区	162	13.6%
東央部第2地区	114	9.5%
北東部第1地区	70	5.9%
北東部第2地区	102	8.5%
北東部第3地区	122	10.2%
北部地区	138	11.5%
東部地区	91	7.6%
未記入	31	2.6%
合計	1195	100.0%



問4 日頃交流がある人との交流方法
 (多い順から1~3の番号)

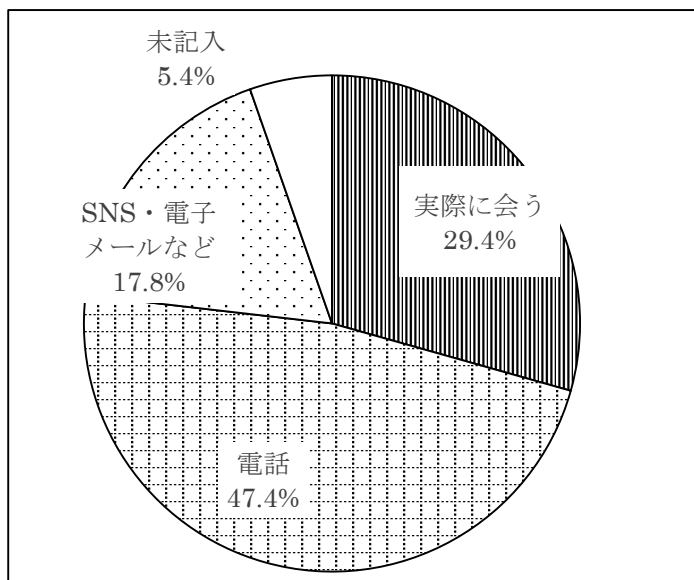
1番多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	654	54.7%
電話	232	19.4%
SNS・電子メールなど	297	24.9%
未記入	12	1.0%
合計	1195	100.0%



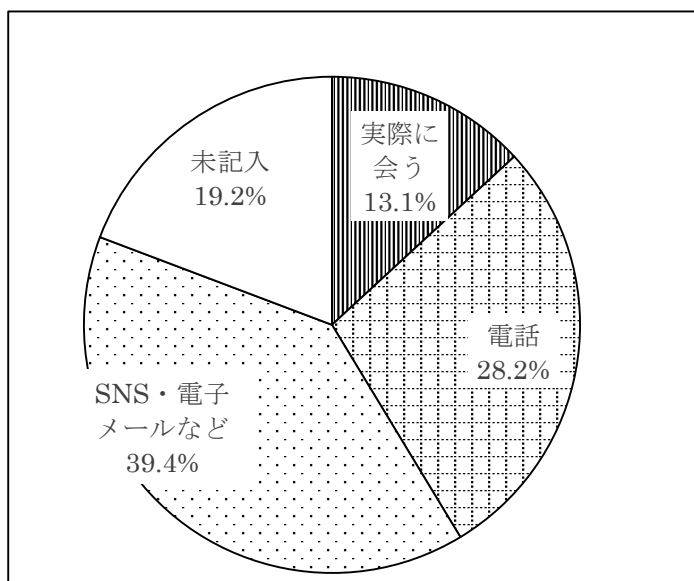
2番目に多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	351	29.4%
電話	567	47.4%
SNS・電子メールなど	213	17.8%
未記入	64	5.4%
合計	1195	100.0%



3番目に多いもの

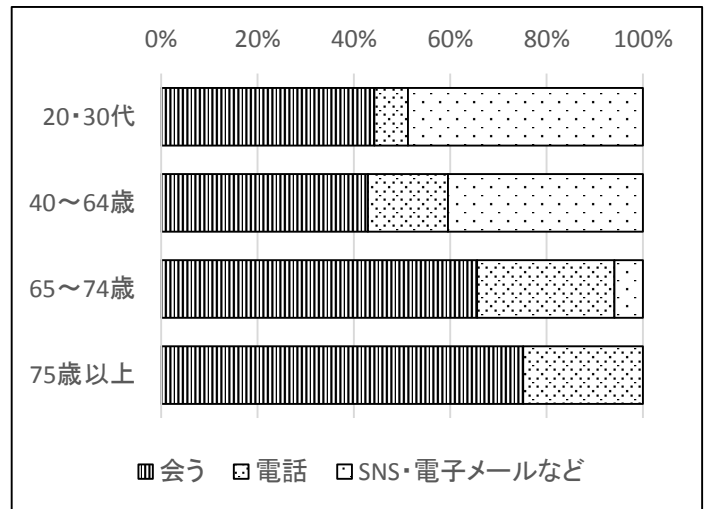
	人数	パーセント
実際に会う	157	13.1%
電話	337	28.2%
SNS・電子メールなど	471	39.4%
未記入	230	19.2%
合計	1195	100.0%



<年代別>

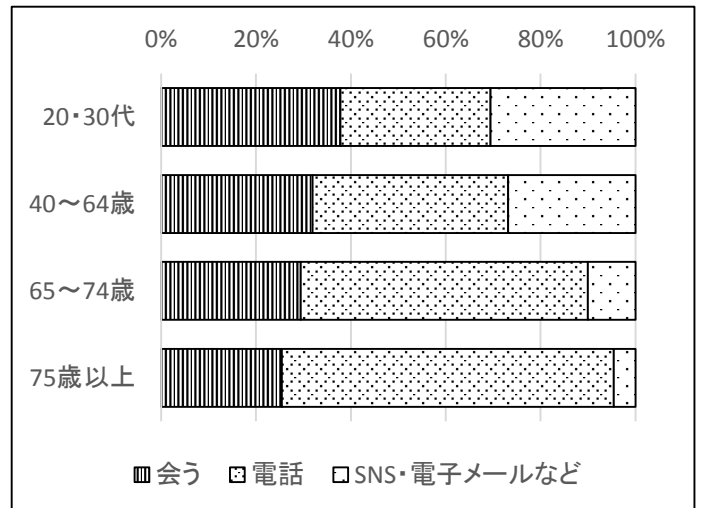
1 番多いもの

	実際に 会う	電話	SNS・電 子メール など	合計
20・30代	89 44.3%	14 7.0%	98 48.8%	201 100.0%
40～64歳	192 43.0%	74 16.6%	181 40.5%	447 100.0%
65～74歳	198 65.6%	86 28.5%	18 6.0%	302 100.0%
75歳以上	175 75.1%	58 24.9%	0 0.0%	233 100.0%



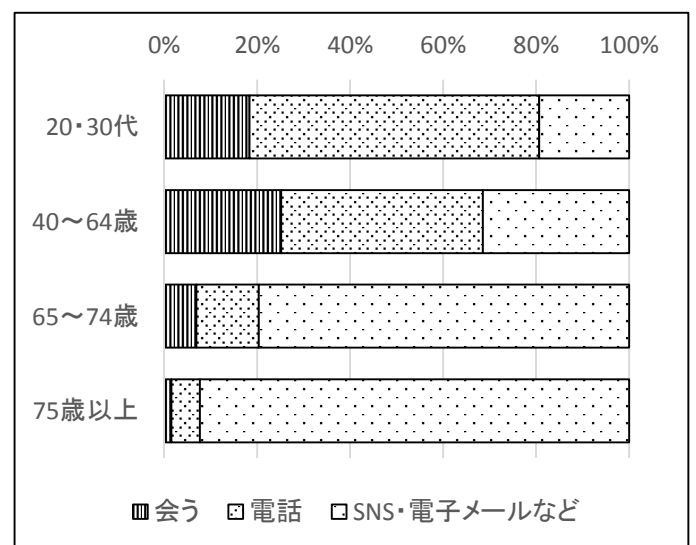
2 番目に多いもの

	実際に 会う	電話	SNS・電 子メール など	合計
20・30代	73 37.8%	61 31.6%	59 30.6%	193 100.0%
40～64歳	137 31.9%	177 41.3%	115 26.8%	429 100.0%
65～74歳	85 29.4%	175 60.6%	29 10.0%	289 100.0%
75歳以上	56 25.5%	154 70.0%	10 4.5%	220 100.0%



3 番目に多いもの

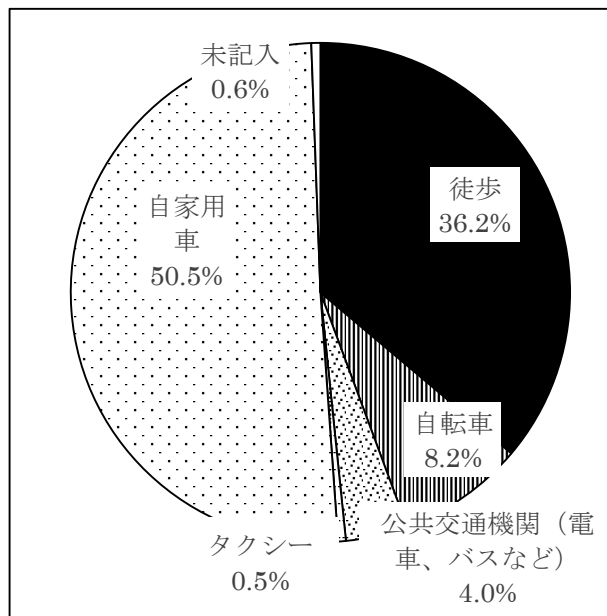
	実際に 会う	電話	SNS・電 子メール など	合計
20・30代	35 18.3%	119 62.3%	37 19.4%	191 100.0%
40～64歳	104 25.2%	179 43.3%	130 31.5%	413 100.0%
65～74歳	16 6.9%	31 13.4%	184 79.7%	231 100.0%
75歳以上	2 1.5%	8 6.2%	120 92.3%	130 100.0%



問5 町内の移動手段〈多い順から1～5の番号〉

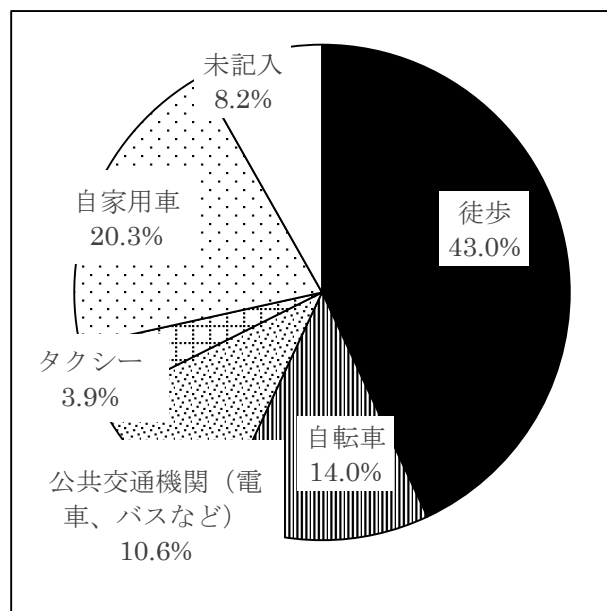
1番多いもの

	人数	パーセント
徒歩	432	36.2%
自転車	98	8.2%
公共交通機関（電車、バスなど）	48	4.0%
タクシー	6	0.5%
自家用車	604	50.5%
未記入	7	0.6%
合計	1195	100.0%



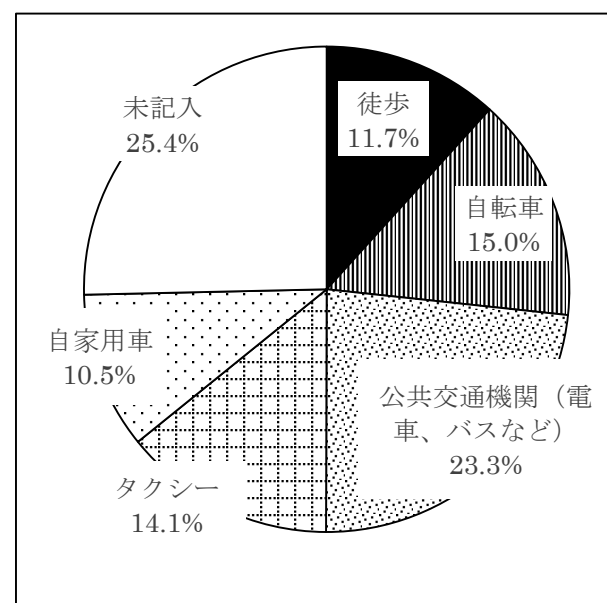
2番目に多いもの

	人数	パーセント
徒歩	514	43.0%
自転車	167	14.0%
公共交通機関（電車、バスなど）	127	10.6%
タクシー	47	3.9%
自家用車	242	20.3%
未記入	98	8.2%
合計	1195	100.0%



3番目に多いもの

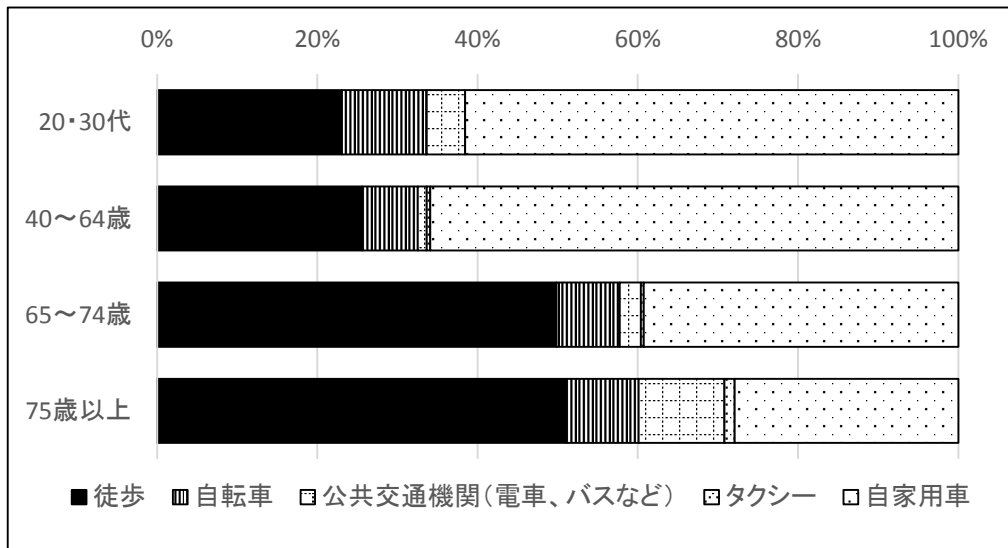
	人数	パーセント
徒歩	140	11.7%
自転車	179	15.0%
公共交通機関（電車、バスなど）	279	23.3%
タクシー	169	14.1%
自家用車	125	10.5%
未記入	303	25.4%
合計	1195	100.0%



<年代別>

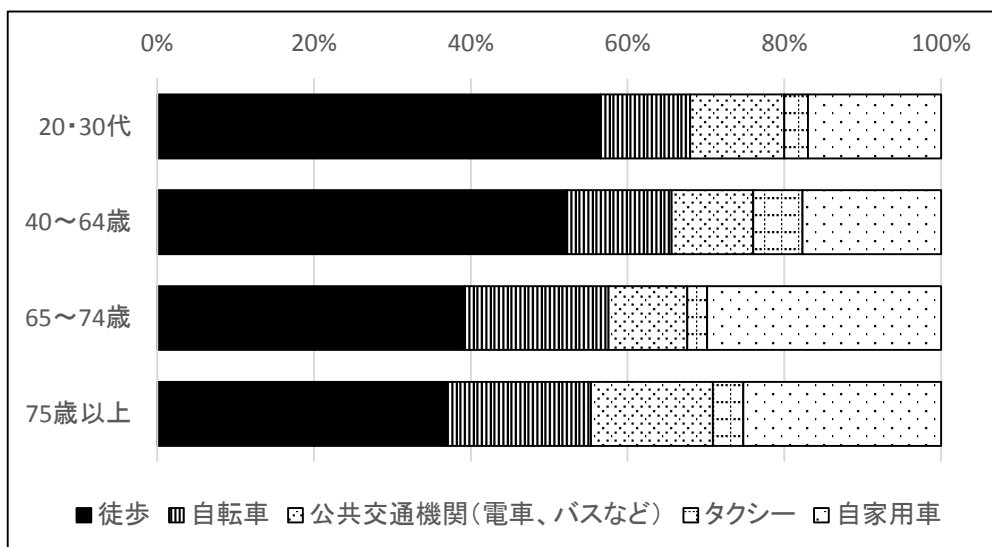
1 番多いもの

	徒歩	自転車	公共交通機関	タクシー	自家用車	合計
20・30代	48 23.1%	22 10.6%	10 4.8%	0 0.0%	128 61.5%	208 100.0%
40～64歳	114 25.6%	31 7.0%	5 1.1%	2 0.4%	294 65.9%	446 100.0%
65～74歳	151 49.8%	24 7.9%	8 2.6%	1 0.3%	119 39.3%	303 100.0%
75歳以上	119 51.1%	21 9.0%	25 10.7%	3 1.3%	65 27.9%	233 100.0%



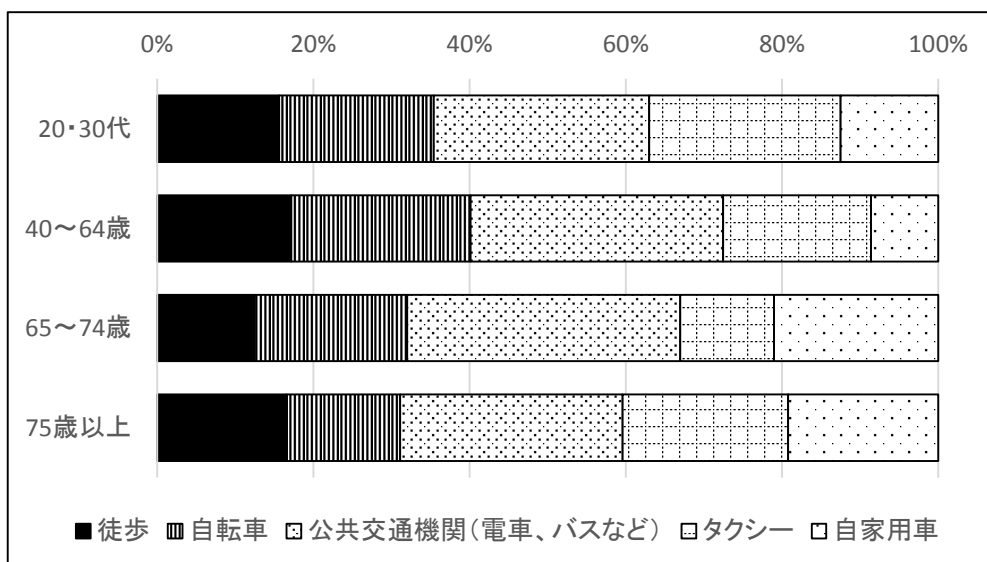
2 番目に多いもの

	徒歩	自転車	公共交通機関	タクシー	自家用車	合計
20・30代	113 56.5%	23 11.5%	24 12.0%	6 3.0%	34 17.0%	200 100.0%
40～64歳	216 52.3%	55 13.3%	43 10.4%	26 6.3%	73 17.7%	413 100.0%
65～74歳	109 39.2%	51 18.3%	28 10.1%	7 2.5%	83 29.9%	278 100.0%
75歳以上	76 36.9%	38 18.4%	32 15.5%	8 3.9%	52 25.2%	206 100.0%



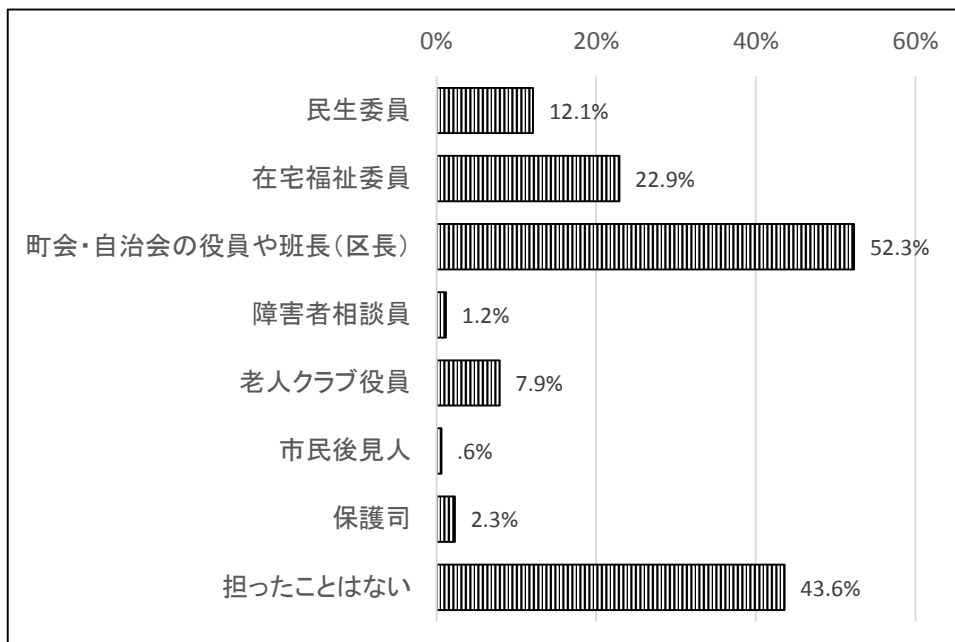
3番目に多いもの

	徒歩	自転車	公共交通機関	タクシー	自家用車	合計
20・30代	30 15.6%	38 19.8%	53 27.6%	47 24.5%	24 12.5%	192 100.0%
40～64歳	60 17.2%	80 22.9%	113 32.4%	66 18.9%	30 8.6%	349 100.0%
65～74歳	25 12.5%	39 19.5%	70 35.0%	24 12.0%	42 21.0%	200 100.0%
75歳以上	25 16.6%	22 14.6%	43 28.5%	32 21.2%	29 19.2%	151 100.0%



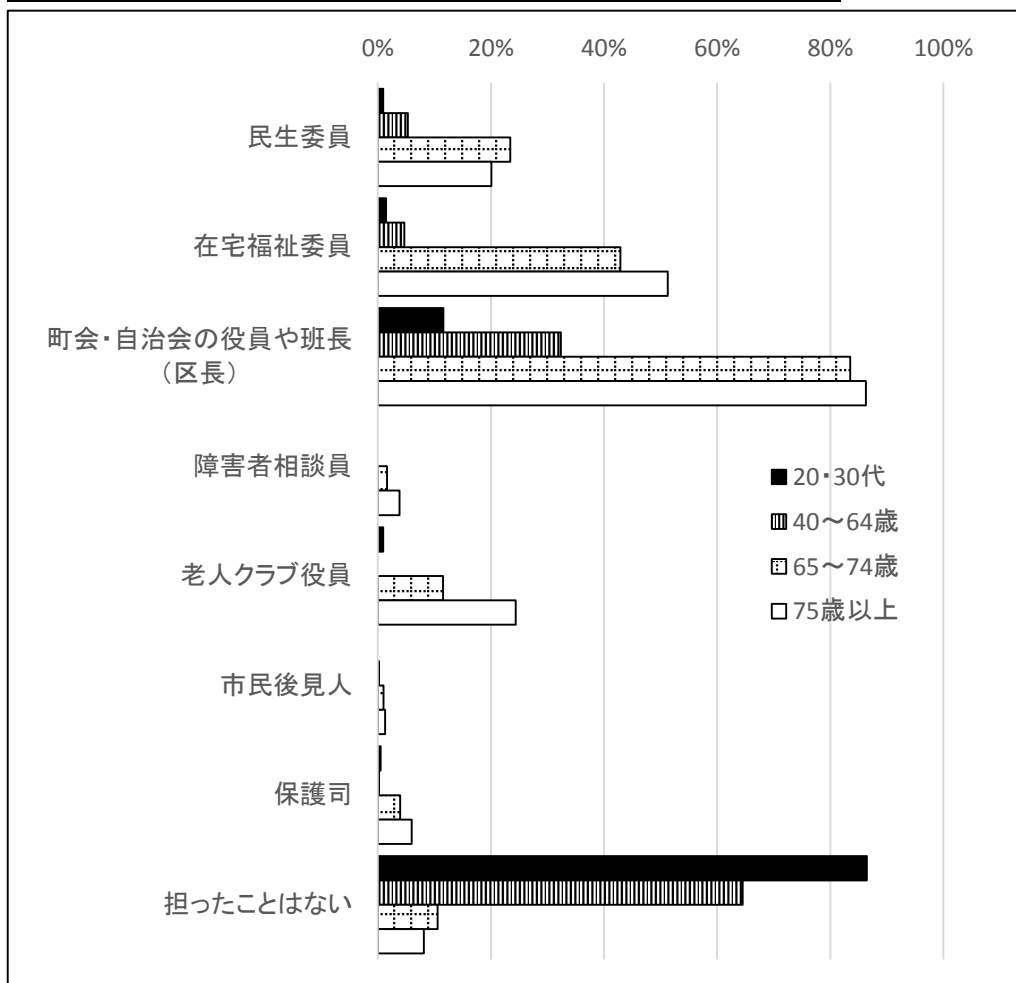
問6 町内会役員等〈複数回答〉

	人数	パーセント (n=1195)
民生委員	144	12.1%
在宅福祉委員	274	22.9%
町会・自治会の役員や班長(区長)	625	52.3%
障害者相談員	14	1.2%
老人クラブ役員	94	7.9%
市民後見人	7	0.6%
保護司	28	2.3%
担ったことはない	521	43.6%



<年代別>

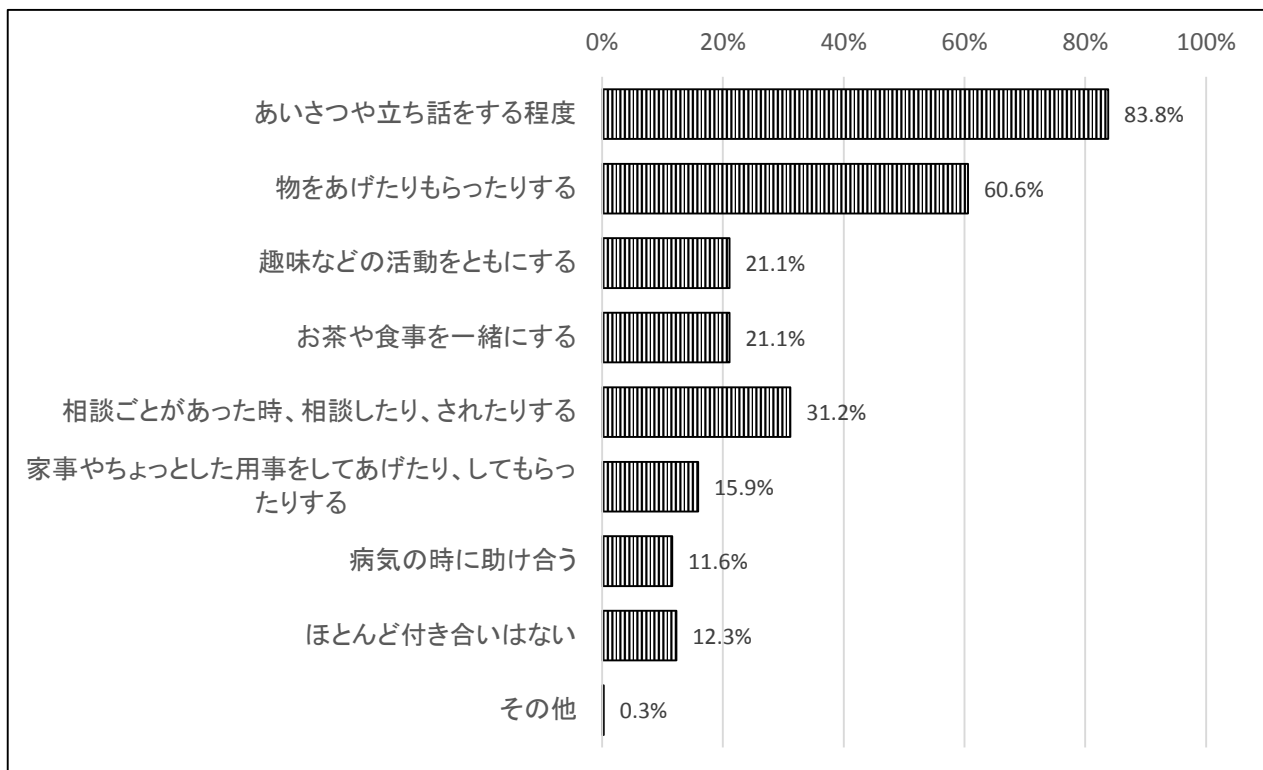
	年代			
	20・30代 (n=207)	40～64歳 (n=451)	65～74歳 (n=303)	75歳以上 (n=234)
民生委員	2 1.0%	24 5.3%	71 23.4%	47 20.1%
在宅福祉委員	3 1.4%	21 4.7%	130 42.9%	120 51.3%
町会・自治会の役員や班長（区長）	24 11.6%	146 32.4%	253 83.5%	202 86.3%
障害者相談員	0 0.0%	0 0.0%	5 1.7%	9 3.8%
老人クラブ役員	2 1.0%	0 0.0%	35 11.6%	57 24.4%
市民後見人	0 0.0%	1 0.2%	3 1.0%	3 1.3%
保護司	1 0.5%	1 0.2%	12 4.0%	14 6.0%
担ったことはない	179 86.5%	291 64.5%	32 10.6%	19 8.1%



2. 隣近所との付き合い

問7 隣近所との付き合い（複数回答）

	人数	パーセント (n=195)
あいさつや立ち話をする程度	1001	83.8%
物をあげたりもらったりする	724	60.6%
趣味などの活動をともにする	252	21.1%
お茶や食事を一緒にする	252	21.1%
相談ごとがあった時、相談したり、されたりする	373	31.2%
家事やちょっとした用事をしてあげたり、してもらったりする	190	15.9%
病気の時に助け合う	139	11.6%
ほとんど付き合いはない	147	12.3%
その他	3	0.3%

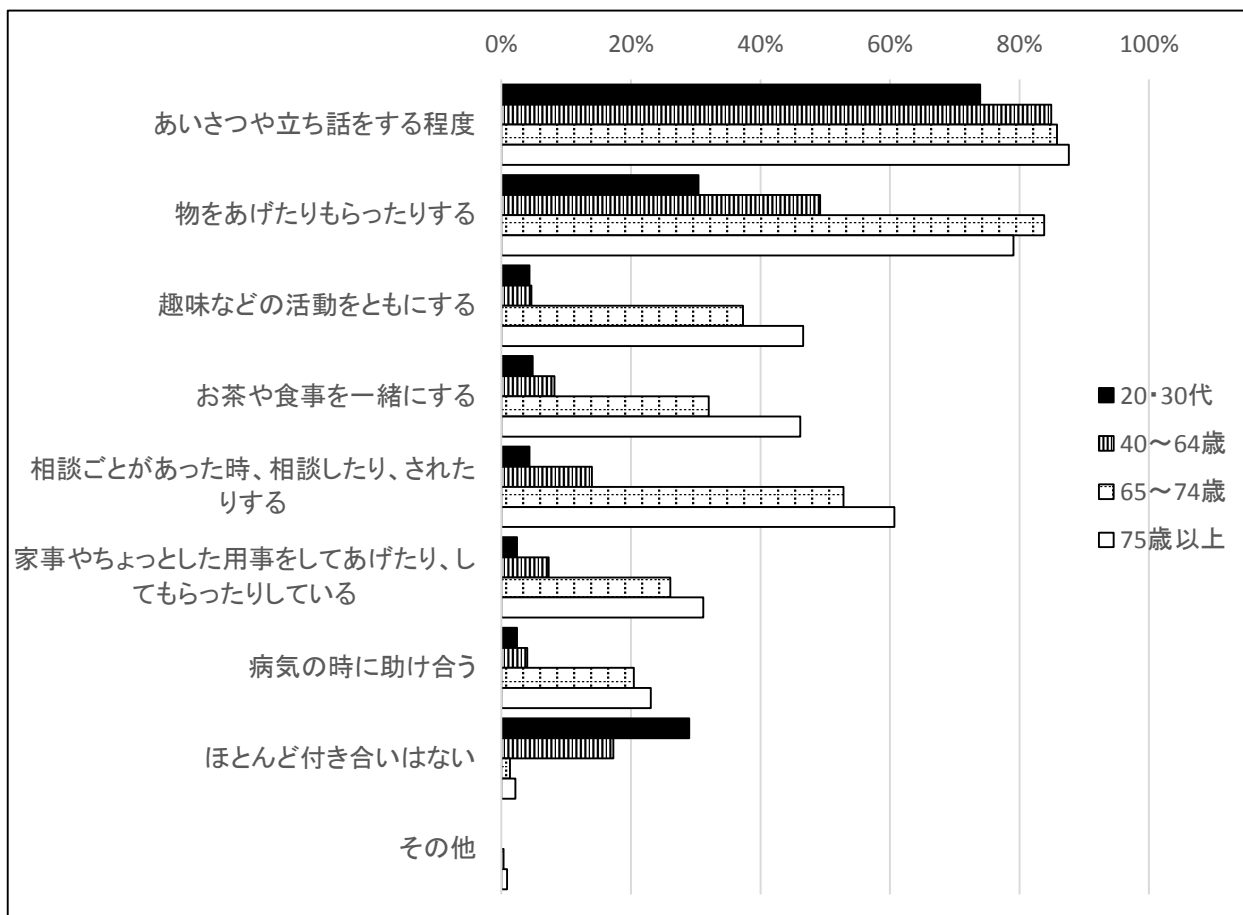


その他の回答

留守の時に注意をもらう	2件
町内会の行事	1件

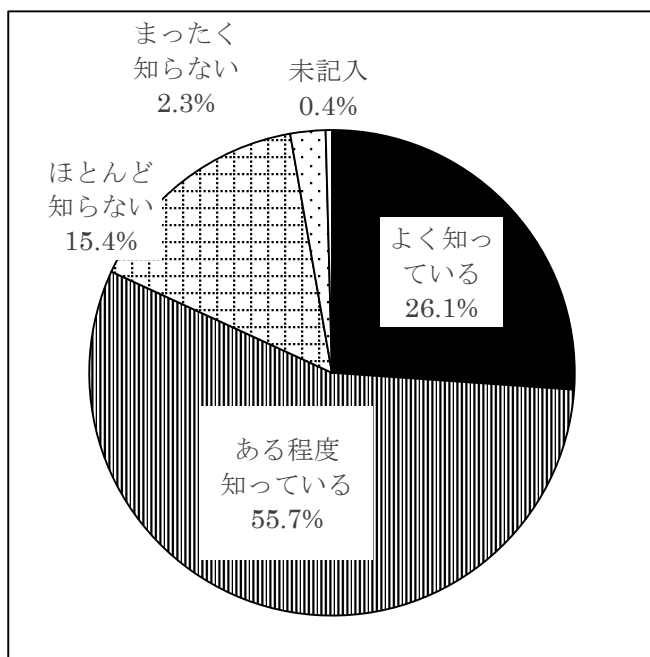
<年代別>

	年代			
	20・30代 (n=207)	40～64歳 (n=451)	65～74歳 (n=303)	75歳以上 (n=234)
あいさつや立ち話をする程度	153 73.9%	383 84.9%	260 85.8%	205 87.6%
物をあげたりもらったりする	63 30.4%	222 49.2%	254 83.8%	185 79.1%
趣味などの活動をともにする	9 4.3%	21 4.7%	113 37.3%	109 46.6%
お茶や食事を一緒にする	10 4.8%	37 8.2%	97 32.0%	108 46.2%
相談ごとがあった時、相談したり、されたりする	9 4.3%	63 14.0%	160 52.8%	142 60.7%
家事やちょっとした用事をしてあげたり、してもらったりしている	5 2.4%	33 7.3%	79 26.1%	73 31.2%
病気の時に助け合う	5 2.4%	18 4.0%	62 20.5%	54 23.1%
ほとんど付き合いはない	60 29.0%	78 17.3%	4 1.3%	5 2.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	2 0.9%



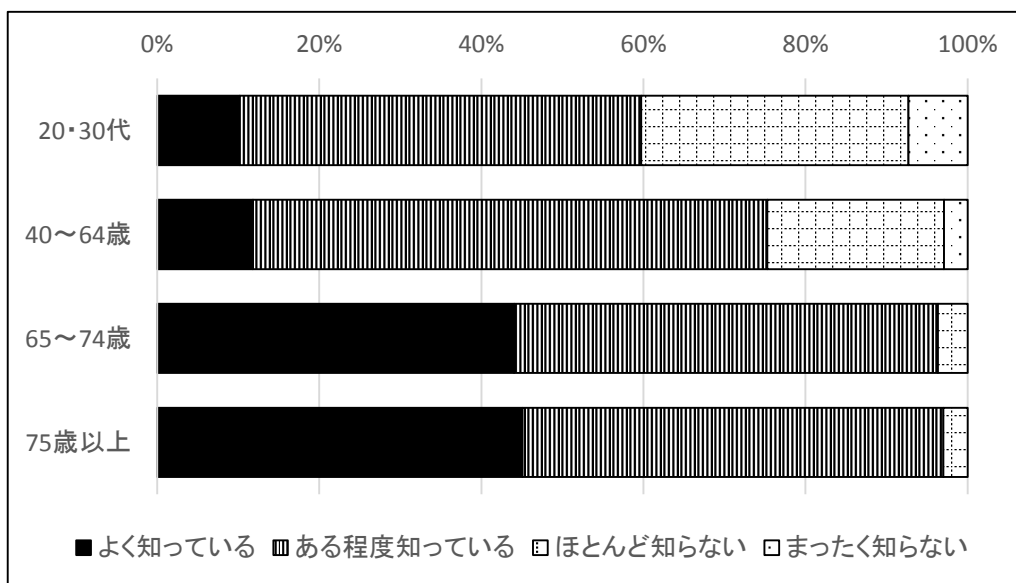
問8 隣近所の人の認知

	人数	パーセント
よく知っている	312	26.1%
ある程度知っている	666	55.7%
ほとんど知らない	184	15.4%
まったく知らない	28	2.3%
未記入	5	0.4%
合計	1195	100.0%



<年代別>

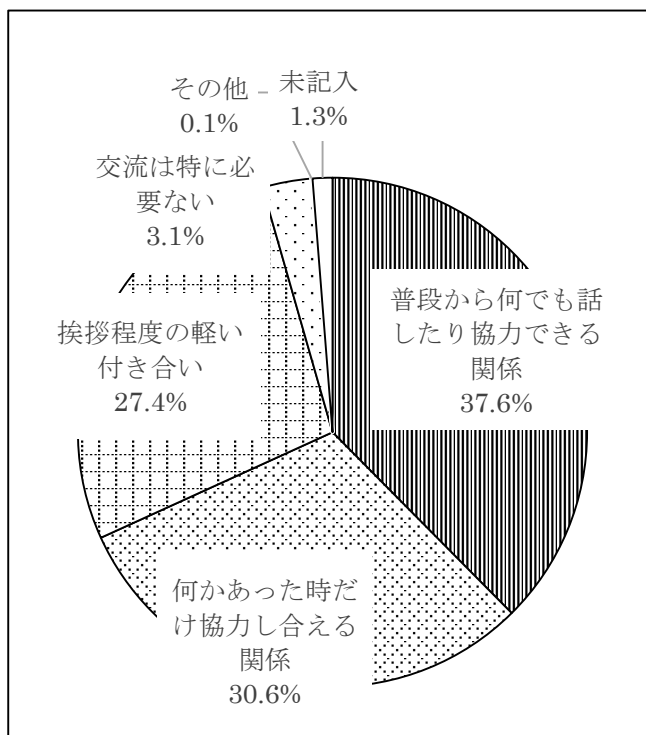
		隣近所の人の認知				合計
		よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	まったく知らない	
年代	20・30代	21 10.2%	102 49.5%	68 33.0%	15 7.3%	206 100.0%
	40～64歳	53 11.8%	285 63.5%	98 21.8%	13 2.9%	449 100.0%
	65～74歳	133 44.0%	158 52.3%	11 3.6%	0 0.0%	302 100.0%
	75歳以上	105 45.1%	121 51.9%	7 3.0%	0 0.0%	233 100.0%



問9 隣近所との付き合いで良いと思うもの

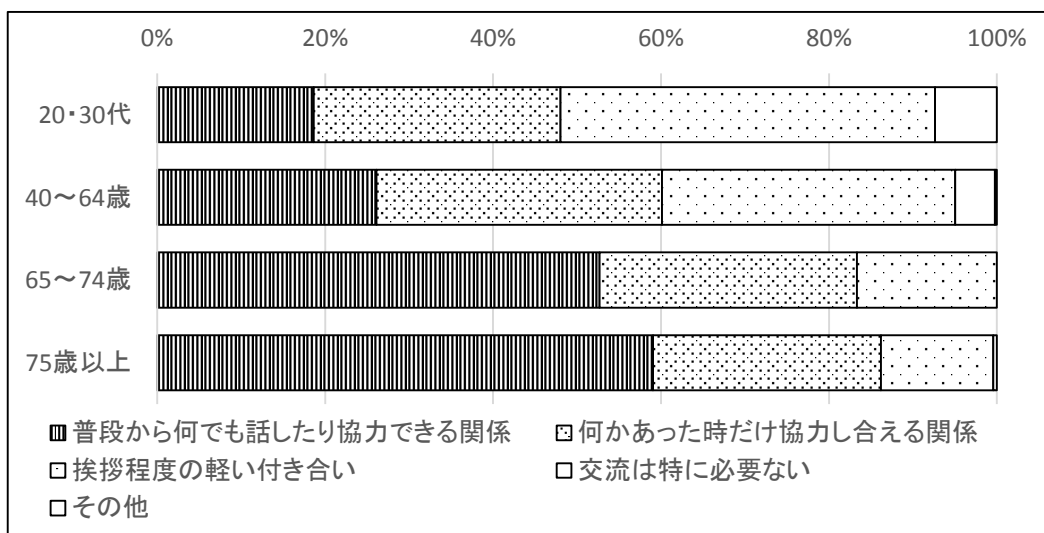
(1) 近所付き合いで良いとおもう関係

	人数	パーセント
普段から何でも話したり協力できる関係	449	37.6%
何かあった時だけ協力し合える関係	366	30.6%
挨拶程度の軽い付き合い	327	27.4%
交流は特に必要ない	37	3.1%
その他	1	0.1%
未記入	15	1.3%
合計	1195	100.0%



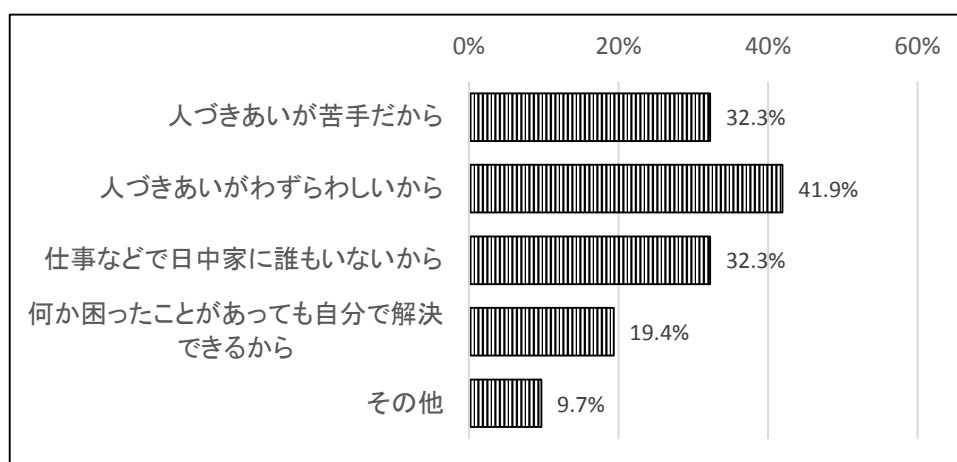
<年代別>

		隣近所との付き合いで良いとおもう関係					合計
		普段から何でも話したり協力できる関係	何かあった時だけ協力し合える関係	挨拶程度の軽い付き合い	交流は特に必要ない	その他	
年代	20・30代	38 18.6%	60 29.4%	91 44.6%	15 7.4%	0 0.0%	204 100.0%
	40～64歳	116 26.1%	151 34.0%	155 34.9%	21 4.7%	1 0.2%	444 100.0%
	65～74歳	158 52.7%	92 30.7%	50 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	300 100.0%
	75歳以上	137 59.1%	63 27.2%	31 13.4%	1 0.4%	0 0.0%	232 100.0%



(2) 「交流は特に必要ない」人の理由 (複数回答)

	人数	パーセント (n=31)
人づきあいが苦手だから	10	32.3%
人づきあいがわずらわしいから	13	41.9%
仕事などで日中家に誰もいないから	10	32.3%
何か困ったことがあっても自分で解決できるから	6	19.4%
その他	3	9.7%



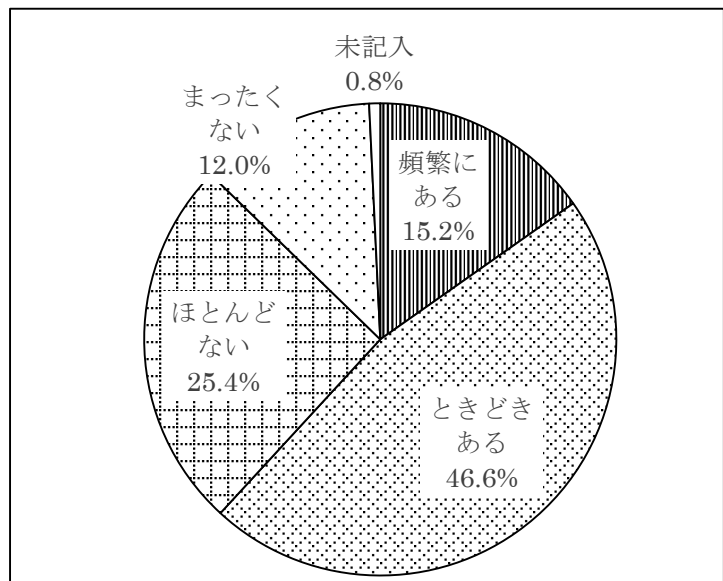
その他の主な回答例

以前、嫌な思いをしたから	1件
トラブルになりたくない	1件

3. 居住地域

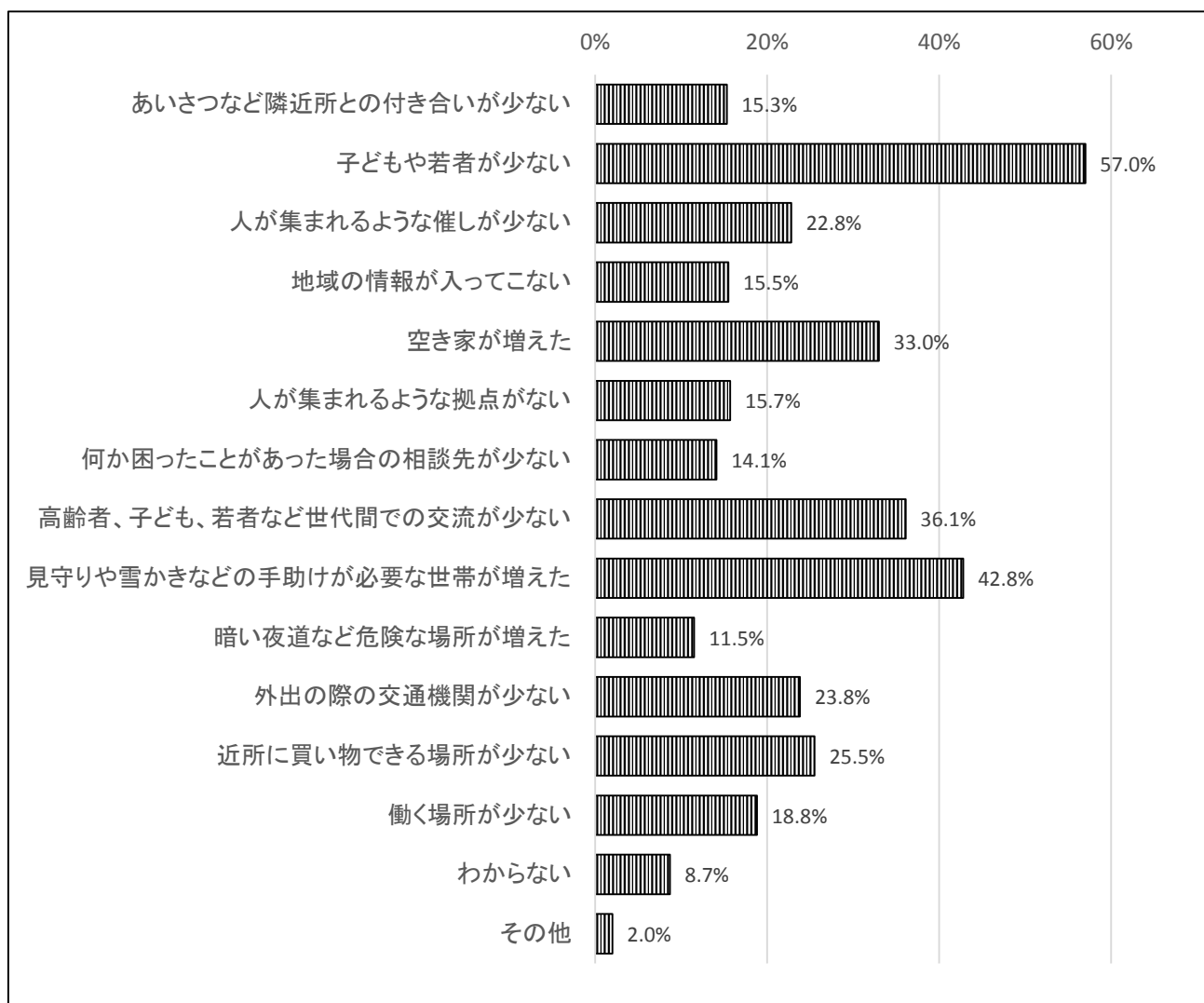
問10 違う世代との交流

	度数	パーセント
頻繁にある	182	15.2%
ときどきある	557	46.6%
ほとんどない	304	25.4%
まったくない	143	12.0%
未記入	9	0.8%
合計	1195	100.0%



問11 居住地域の生活課題 (複数回答)

	人数	パーセント (n=1195)
あいさつなど隣近所との付き合いが少ない	183	15.3%
子どもや若者が少ない	681	57.0%
人が集まれるような催しが少ない	272	22.8%
地域の情報が入ってこない	185	15.5%
空き家が増えた	394	33.0%
人が集まれるような拠点が少ない	188	15.7%
何か困ったことがあった場合の相談先が少ない	168	14.1%
高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない	431	36.1%
見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	512	42.8%
暗い夜道など危険な場所が増えた	138	11.5%
外出の際の交通機関が少ない	285	23.8%
近所に買い物できる場所が少ない	305	25.5%
働く場所が少ない	225	18.8%
わからない	104	8.7%
その他	24	2.0%

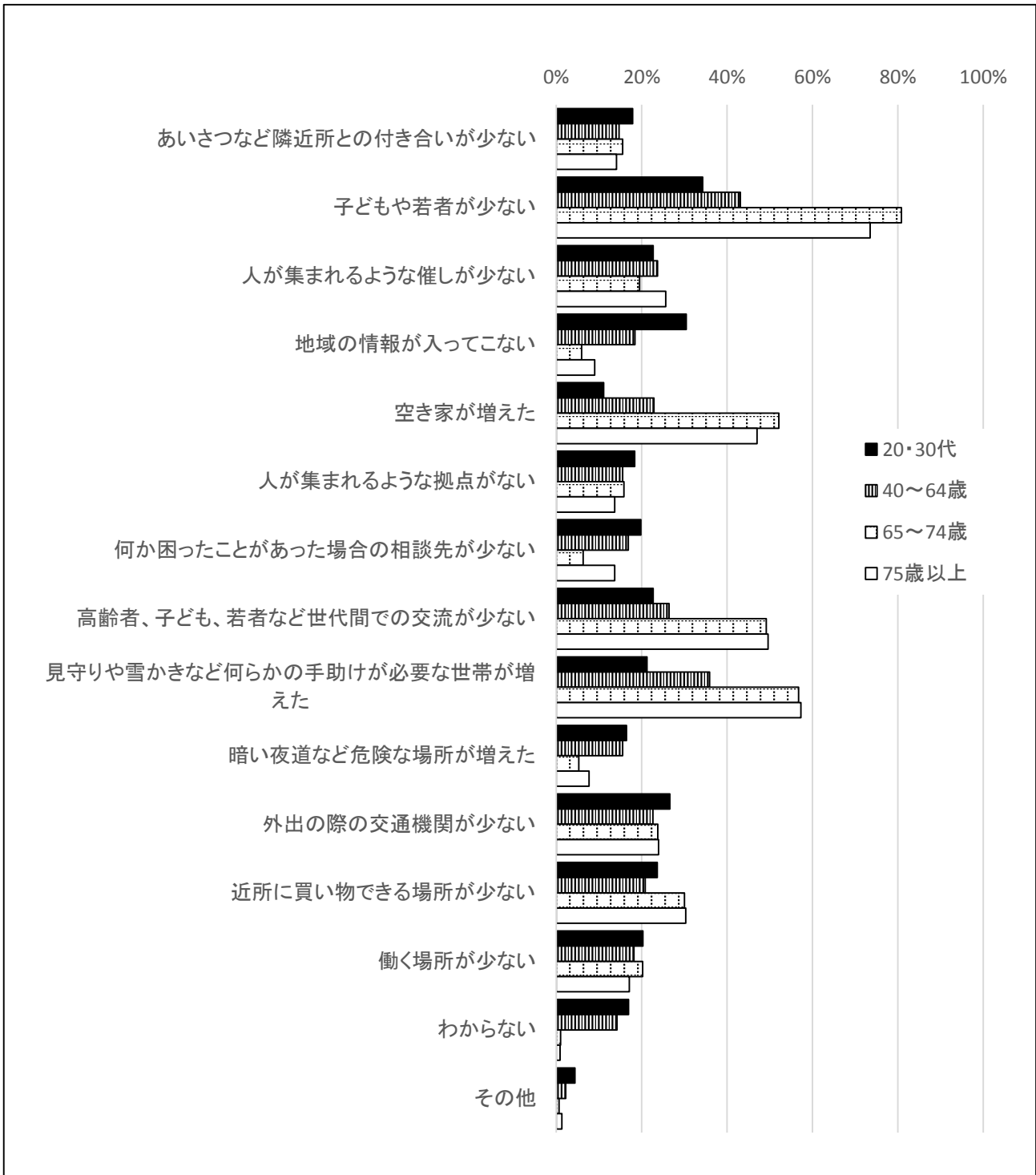


その他の主な回答例

バス停が遠い、バスの便数が少ない	2件
子どもの遊ぶ場がない	3件
自動車の交通マナーが悪い	2件

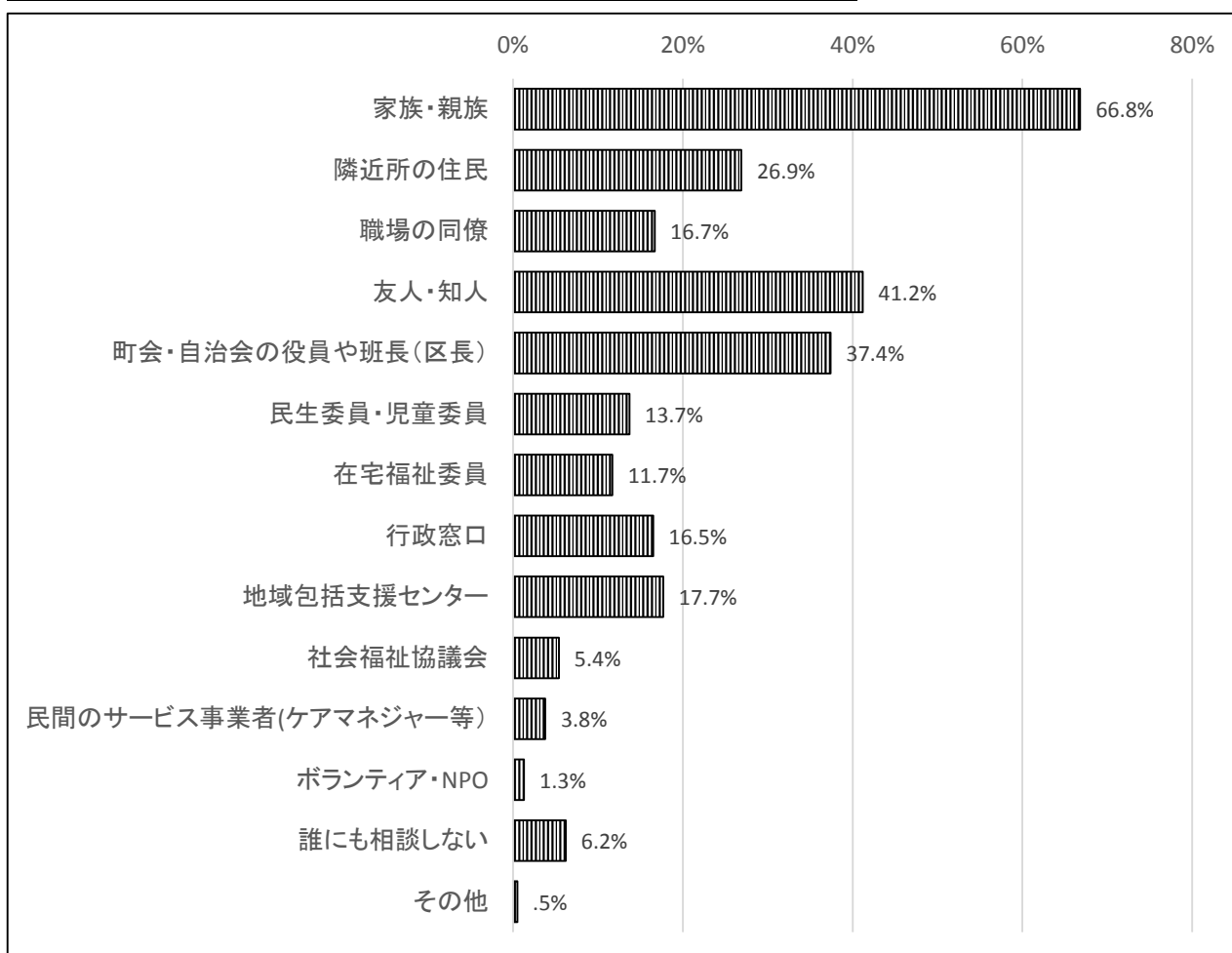
<年代別>

	年代			
	20・30代 (n=207)	40～64歳 (n=451)	65～74歳 (n=303)	75歳以上 (n=234)
あいさつなど隣近所との付き合いが少ない	37 17.9%	66 14.7%	47 15.5%	33 14.1%
子どもや若者が少ない	71 34.3%	194 43.1%	245 80.9%	172 73.5%
人が集まれるような催しが少ない	47 22.7%	107 23.7%	59 19.5%	60 25.6%
地域の情報が入ってこない	63 30.4%	83 18.4%	18 5.9%	21 9.0%
空き家が増えた	23 11.1%	103 22.9%	158 52.1%	110 47.0%
人が集まれるような拠点が少ない	38 18.4%	70 15.5%	48 15.8%	32 13.7%
何か困ったことがあった場合の相談先が少ない	41 19.8%	76 16.9%	19 6.3%	32 13.7%
高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない	47 22.7%	119 26.4%	149 49.2%	116 49.6%
見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	44 21.3%	162 35.9%	172 56.8%	134 57.3%
暗い夜道など危険な場所が増えた	34 16.4%	70 15.5%	16 5.3%	18 7.7%
外出の際の交通機関が少ない	55 26.6%	102 22.6%	72 23.8%	56 23.9%
近所に買い物できる場所が少ない	49 23.7%	94 20.8%	91 30.0%	71 30.3%
働く場所が少ない	42 20.3%	82 18.2%	61 20.2%	40 17.1%
わからない	35 16.9%	64 14.2%	3 1.0%	2 0.9%
その他	9 4.3%	10 2.2%	2 0.7%	3 1.3%



問1 2 居住地域の生活課題の相談先（複数回答）

	度数	パーセント (n=1195)
家族・親族	798	68.8%
隣近所の住民	322	26.9%
職場の同僚	199	16.7%
友人・知人	492	41.2%
町会・自治会の役員や班長（区長）	447	37.4%
民生委員・児童委員	164	13.7%
在宅福祉委員	140	11.7%
行政窓口	197	16.5%
地域包括支援センター	211	17.7%
社会福祉協議会	65	5.4%
民間のサービス事業者(ケアマネジャー等)	45	3.8%
ボランティア・NPO	16	1.3%
誰にも相談しない	74	6.2%
その他	6	0.5%

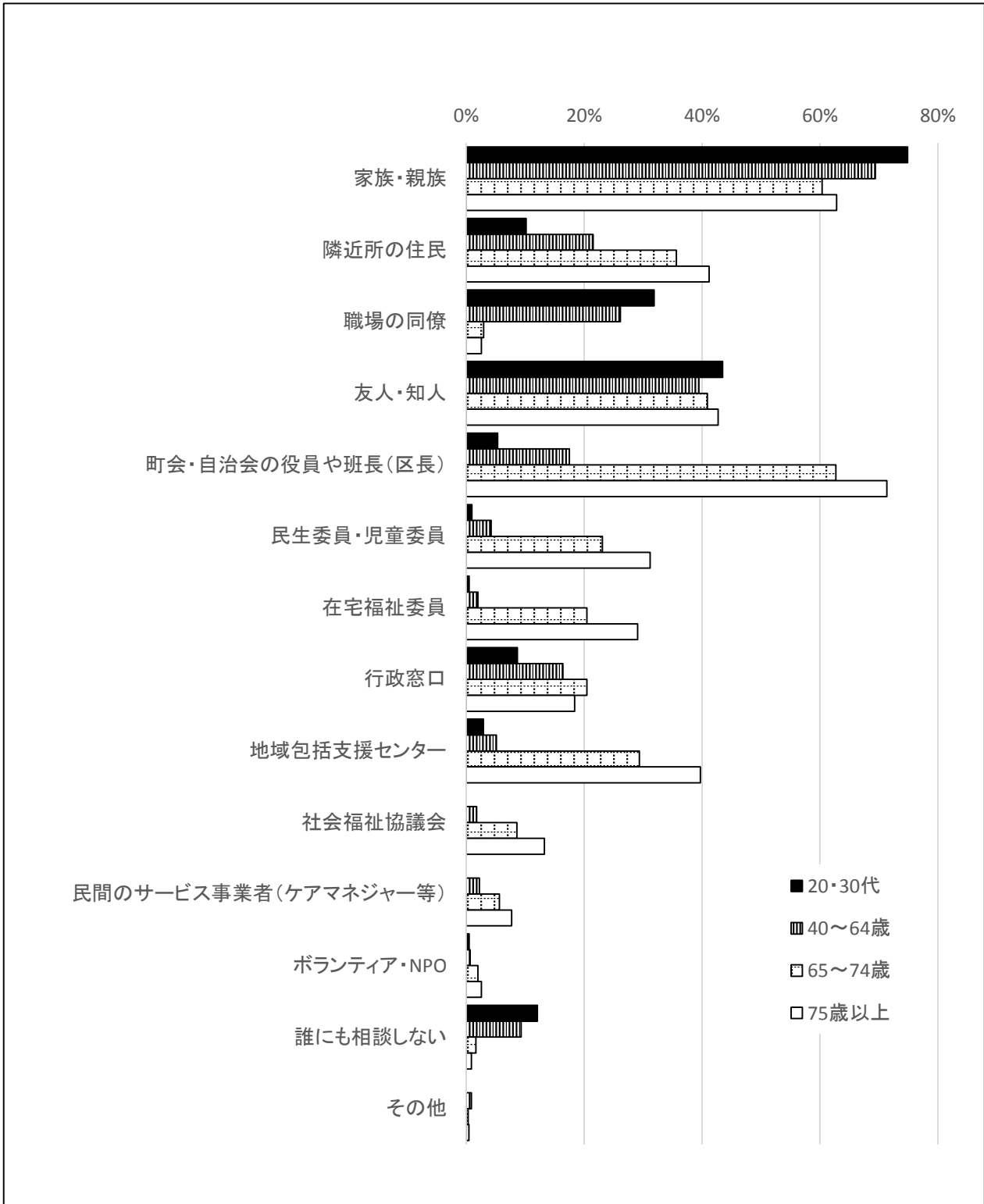


その他の主な回答例

インターネット	2件
病院	1件

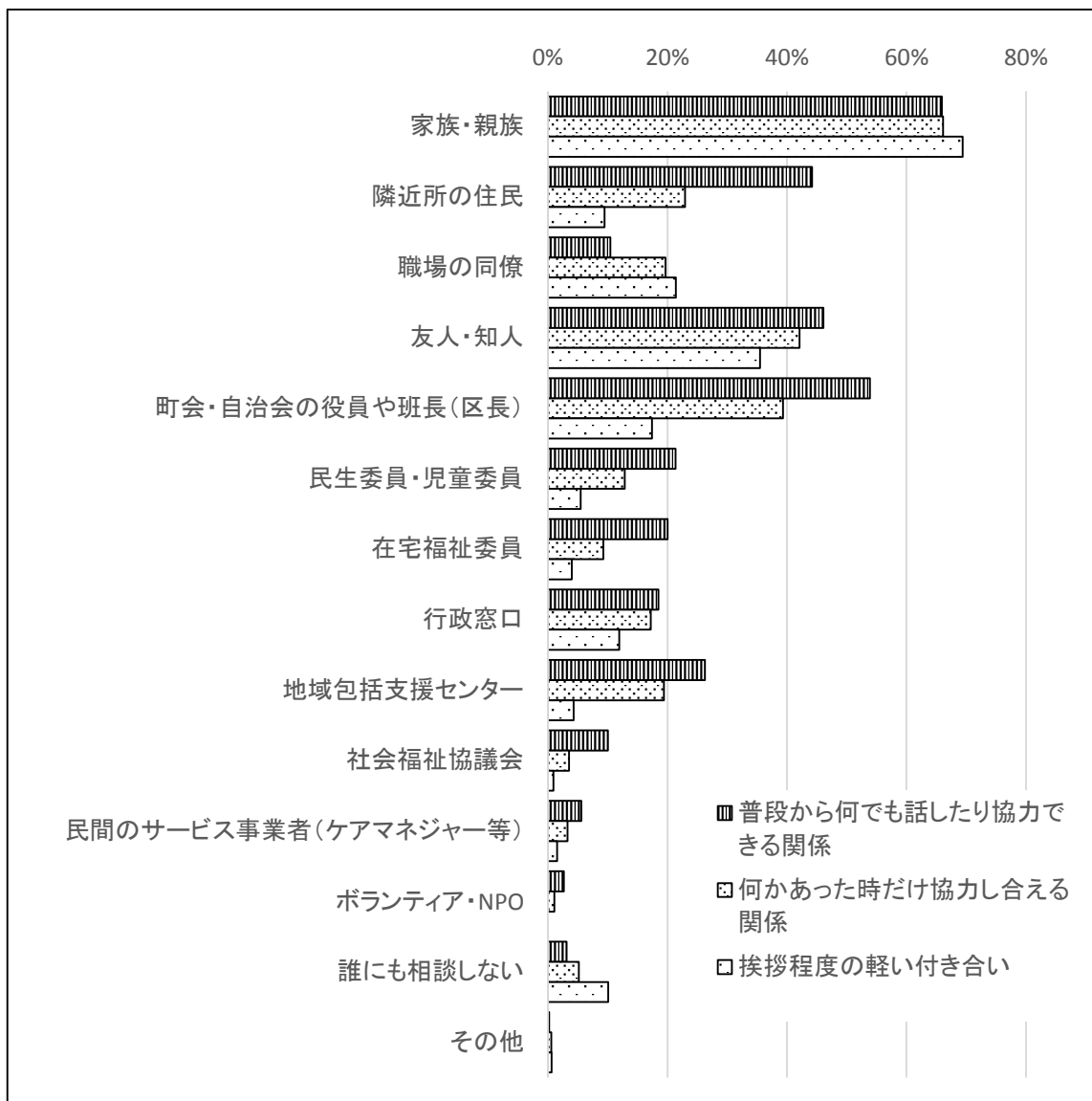
<年代別>

	年代			
	20・30代 (n=207)	40～64歳 (n=451)	65～74歳 (n=303)	75歳以上 (n=234)
家族・親族	155 74.9%	313 69.4%	183 60.4%	147 62.8%
隣近所の住民	21 10.1%	97 21.5%	108 35.6%	96 41.2%
職場の同僚	66 31.9%	118 26.2%	9 3.0%	6 2.6%
友人・知人	90 43.5%	178 39.5%	124 40.9%	100 42.7%
町会・自治会の役員や班長（区長）	11 5.3%	79 17.5%	190 62.7%	167 71.4%
民生委員・児童委員	2 1.0%	19 4.2%	70 23.1%	73 31.2%
在宅福祉委員	1 0.5%	9 2.0%	62 20.5%	68 29.1%
行政窓口	18 8.7%	74 16.4%	62 20.5%	43 18.4%
地域包括支援センター	6 2.9%	23 5.1%	89 29.4%	93 39.7%
社会福祉協議会	0 0.0%	8 1.8%	26 8.6%	31 13.2%
民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）	0 0.0%	10 2.2%	17 5.6%	18 7.7%
ボランティア・NPO	1 0.5%	3 0.7%	6 2.0%	6 2.6%
誰にも相談しない	25 12.1%	42 9.3%	5 1.7%	2 0.9%
その他	0 0.0%	4 0.9%	1 0.3%	1 0.4%



<隣近所との付き合いで良いとおもう関係 別>

	隣近所との付き合いで良いとおもう関係		
	普段から何でも話したり協力できる関係 (<i>n</i> =449)	何かあった時だけ協力し合える関係 (<i>n</i> =366)	挨拶程度の軽い付き合い (<i>n</i> =327)
家族・親族	296 65.9%	242 66.1%	227 69.4%
隣近所の住民	198 44.2%	84 23.0%	31 9.5%
職場の同僚	47 10.5%	72 19.7%	70 21.4%
友人・知人	207 46.1%	154 42.1%	116 35.5%
町会・自治会の役員や班長（区長）	242 53.9%	144 39.3%	57 17.4%
民生委員・児童委員	96 21.4%	47 12.8%	18 5.5%
在宅福祉委員	90 20.0%	34 9.3%	13 4.0%
行政窓口	83 18.5%	63 17.2%	39 11.9%
地域包括支援センター	118 26.3%	71 19.4%	14 4.3%
社会福祉協議会	45 10.0%	13 3.6%	3 0.9%
民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）	25 5.6%	12 3.3%	5 1.5%
ボランティア・NPO	12 2.7%	4 1.1%	0 0.0%
誰にも相談しない	14 3.1%	19 5.2%	33 10.1%
その他	1 0.2%	2 0.5%	2 0.6%

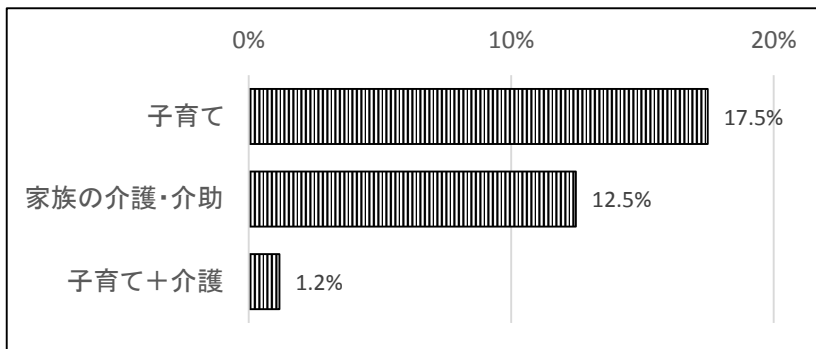


4. 生活状況

問13 子育てや家族の介護・介助で困ること

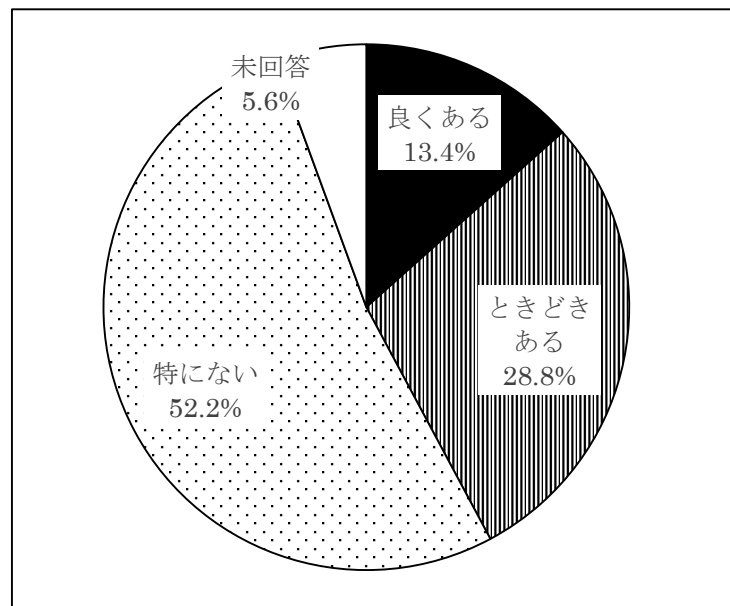
(1) 子育てや家族の介護・介助（複数回答）

	度数	パーセント (n=1195)
子育てをしている	209	17.5%
家族の介護・介助をしている	149	12.5%
子育て、家族の介護・介助の両方をしている	14	1.2%



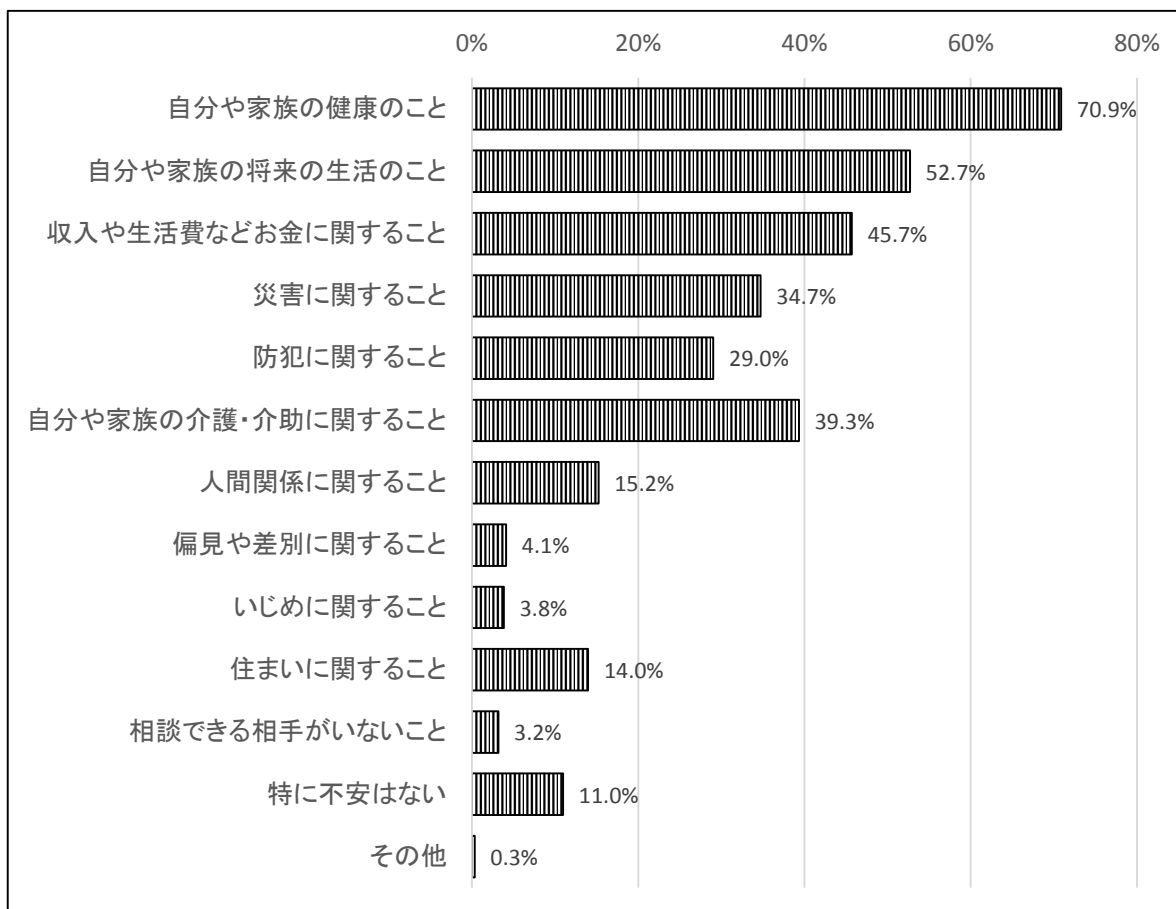
(2) 子育てや家族の介護・介助をしている人が外出時に困ったり不便に感じること

	人数	パーセント
良くある	48	13.4%
ときどきある	103	28.8%
特にない	187	52.2%
未回答	20	5.6%
合計	358	100.0%



問14 日常生活での不安〈複数回答〉

	人数	パーセント (n=1195)
自分や家族の健康のこと	847	70.9%
自分や家族の将来の生活のこと	630	52.7%
収入や生活費などお金に関すること	546	45.7%
災害に関すること	415	34.7%
防犯に関すること	347	29.0%
自分や家族の介護・介助に関すること	470	39.3%
人間関係に関すること(家族、友人、近隣、職場など)	182	15.2%
偏見や差別に関すること	49	4.1%
いじめに関すること	46	3.8%
住まいに関すること	167	14.0%
相談できる相手がいないこと	38	3.2%
特に不安はない	131	11.0%
その他	4	0.3%

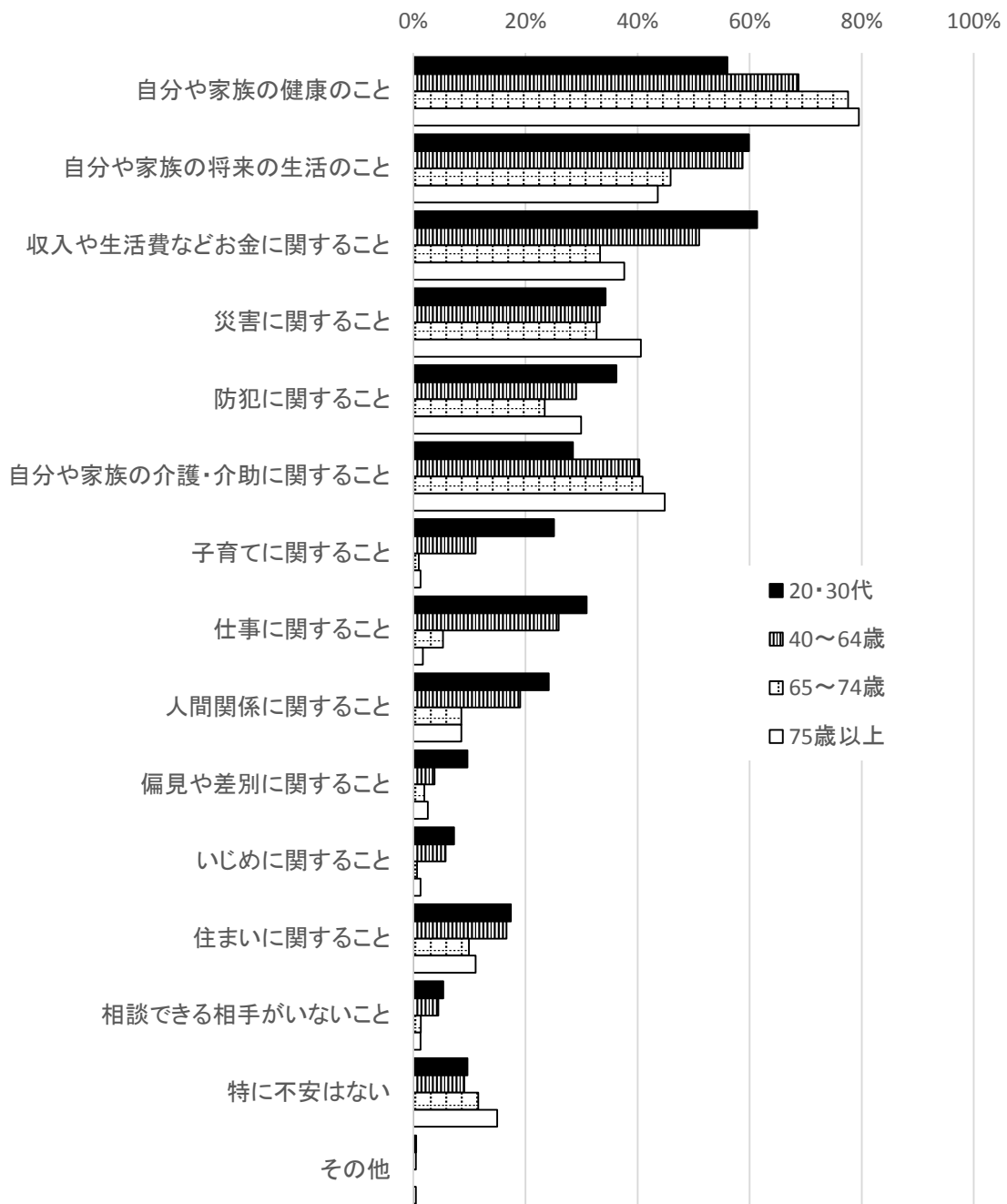


その他の回答例

交通機関	1件
除雪	2件

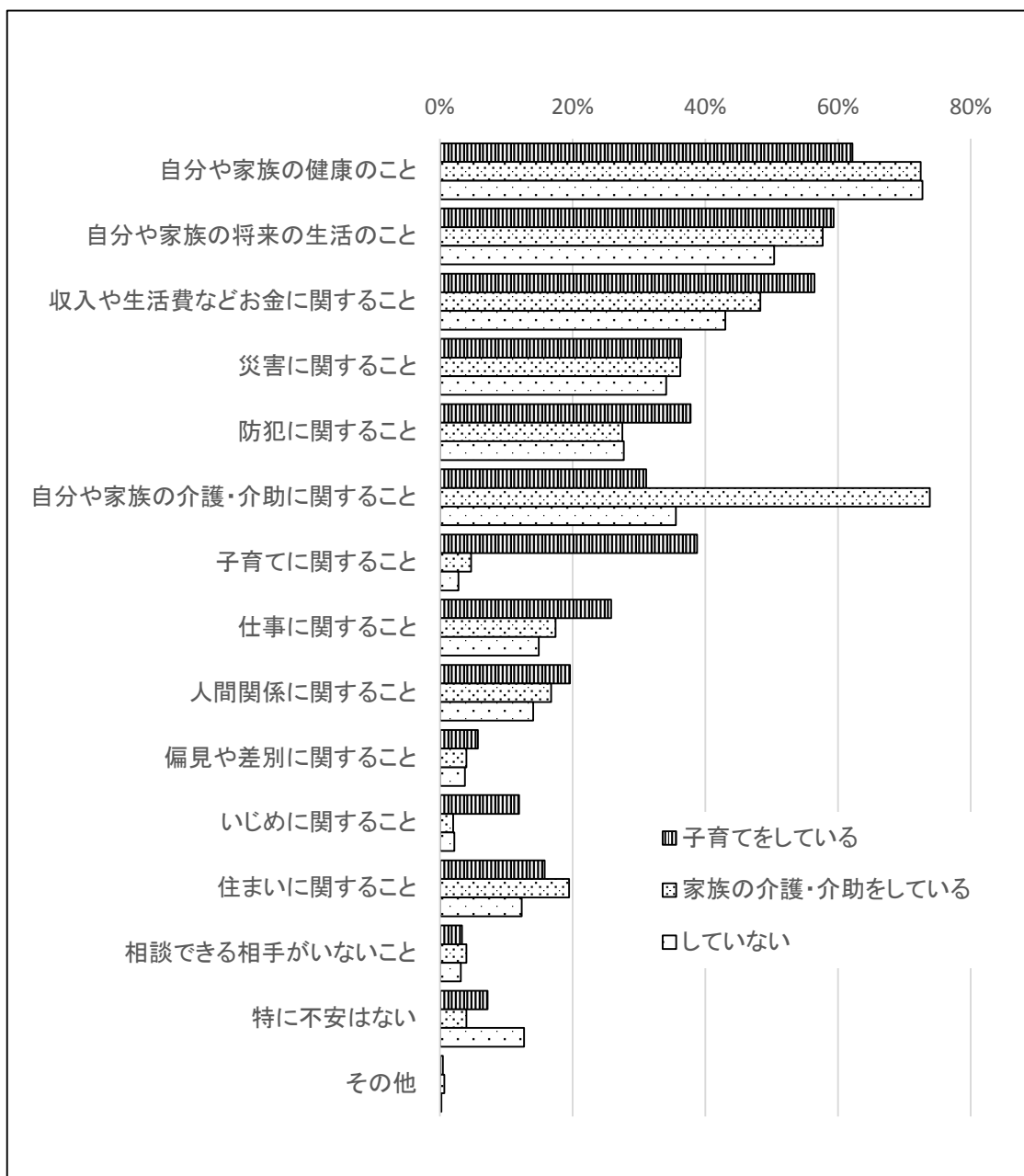
<年代別>

	年代			
	20・30代 (n=207)	40～64歳 (n=451)	65～74歳 (n=303)	75歳以上 (n=234)
自分や家族の健康のこと	116 56.0%	310 68.7%	235 77.6%	186 79.5%
自分や家族の将来の生活のこと	124 59.9%	265 58.8%	139 45.9%	102 43.6%
収入や生活費などお金に関すること	127 61.4%	230 51.0%	101 33.3%	88 37.6%
災害に関すること	71 34.3%	150 33.3%	99 32.7%	95 40.6%
防犯に関すること	75 36.2%	131 29.0%	71 23.4%	70 29.9%
自分や家族の介護・介助に関すること	59 28.5%	182 40.4%	124 40.9%	105 44.9%
子育てに関すること	52 25.1%	50 11.1%	3 1.0%	3 1.3%
仕事に関すること	64 30.9%	117 25.9%	16 5.3%	4 1.7%
人間関係に関すること（家族、友人、近隣、職場など）	50 24.2%	86 19.1%	26 8.6%	20 8.5%
偏見や差別に関すること	20 9.7%	17 3.8%	6 2.0%	6 2.6%
いじめに関すること	15 7.2%	26 5.8%	2 0.7%	3 1.3%
住まいに関すること	36 17.4%	75 16.6%	30 9.9%	26 11.1%
相談できる相手がいないこと	11 5.3%	20 4.4%	4 1.3%	3 1.3%
特に不安はない	20 9.7%	41 9.1%	35 11.6%	35 15.0%
その他	1 0.5%	2 0.4%	0 0.0%	1 0.4%



<子育てや家族の介護・介助 別>

	子育てや家族の介護・介助		
	子育てをし ている (n=209)	家族の介護・介 助をしている (n=149)	していない (n=818)
自分や家族の健康のこと	130 62.2%	108 72.5%	595 72.7%
自分や家族の将来の生活のこ と	124 59.3%	86 57.7%	412 50.4%
収入や生活費などお金に関す ること	118 56.5%	72 48.3%	352 43.0%
災害に関すること	76 36.4%	54 36.2%	279 34.1%
防犯に関すること	79 37.8%	41 27.5%	227 27.8%
自分や家族の介護・介助に関 すること	65 31.1%	110 73.8%	291 35.6%
子育てに関すること	81 38.8%	7 4.7%	23 2.8%
仕事に関すること	54 25.8%	26 17.4%	122 14.9%
人間関係に関すること（家 族、友人、近隣、職場など）	41 19.6%	25 16.8%	115 14.1%
偏見や差別に関すること	12 5.7%	6 4.0%	31 3.8%
いじめに関すること	25 12.0%	3 2.0%	18 2.2%
住まいに関すること	33 15.8%	29 19.5%	101 12.3%
相談できる相手がいないこと	7 3.3%	6 4.0%	26 3.2%
特に不安はない	15 7.2%	6 4.0%	104 12.7%
その他	1 0.5%	1 0.7%	2 0.2%

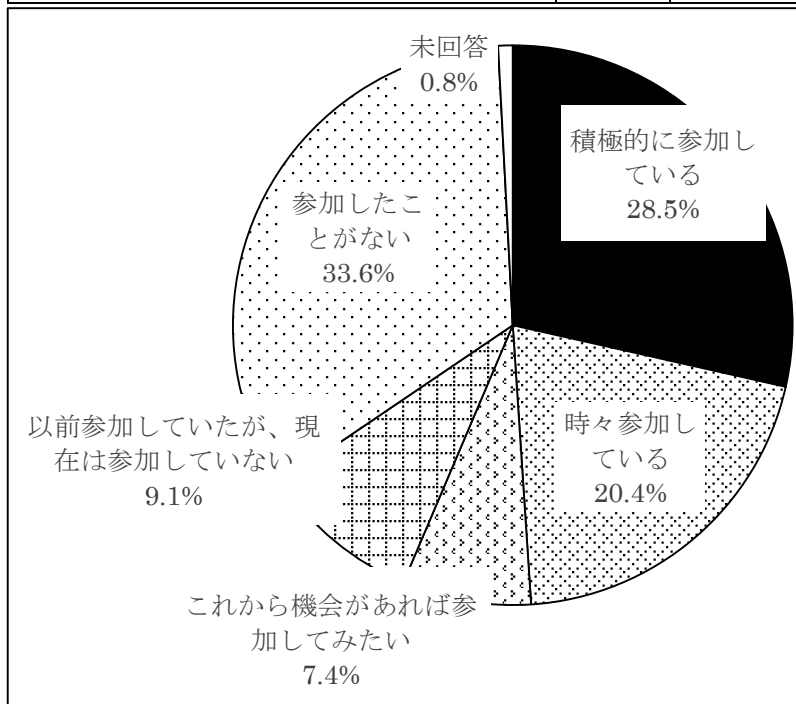


5. ボランティアや地域活動

問15 ボランティアや地域活動への参加

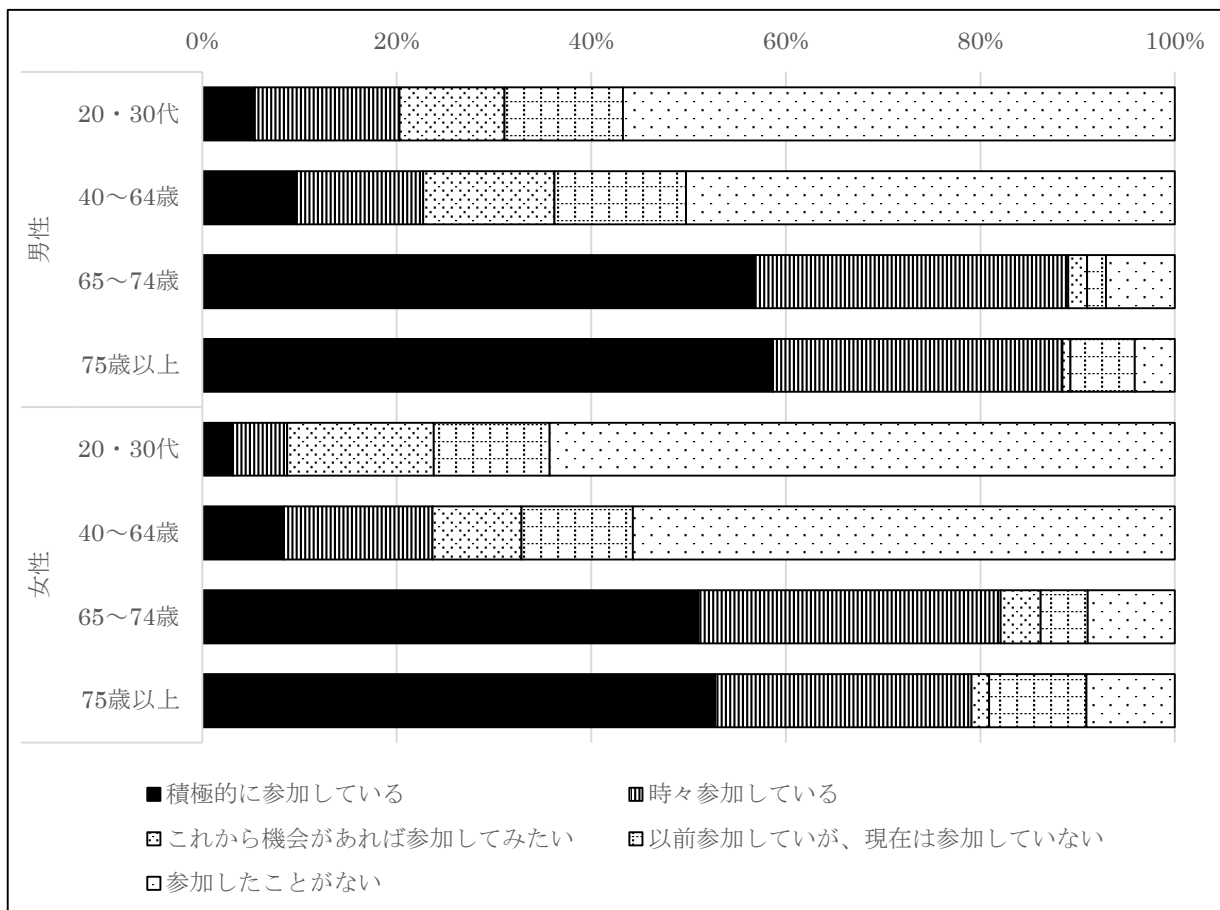
(1) ボランティアや地域活動への参加状況

	人数	パーセント
積極的に参加している	341	28.5%
時々参加している	244	20.4%
これから機会があれば参加してみたい	89	7.4%
以前参加していたが、現在は参加していない	109	9.1%
参加したことがない	402	33.6%
未回答	10	0.8%
合計	1195	100.0%



<性別・年代別>

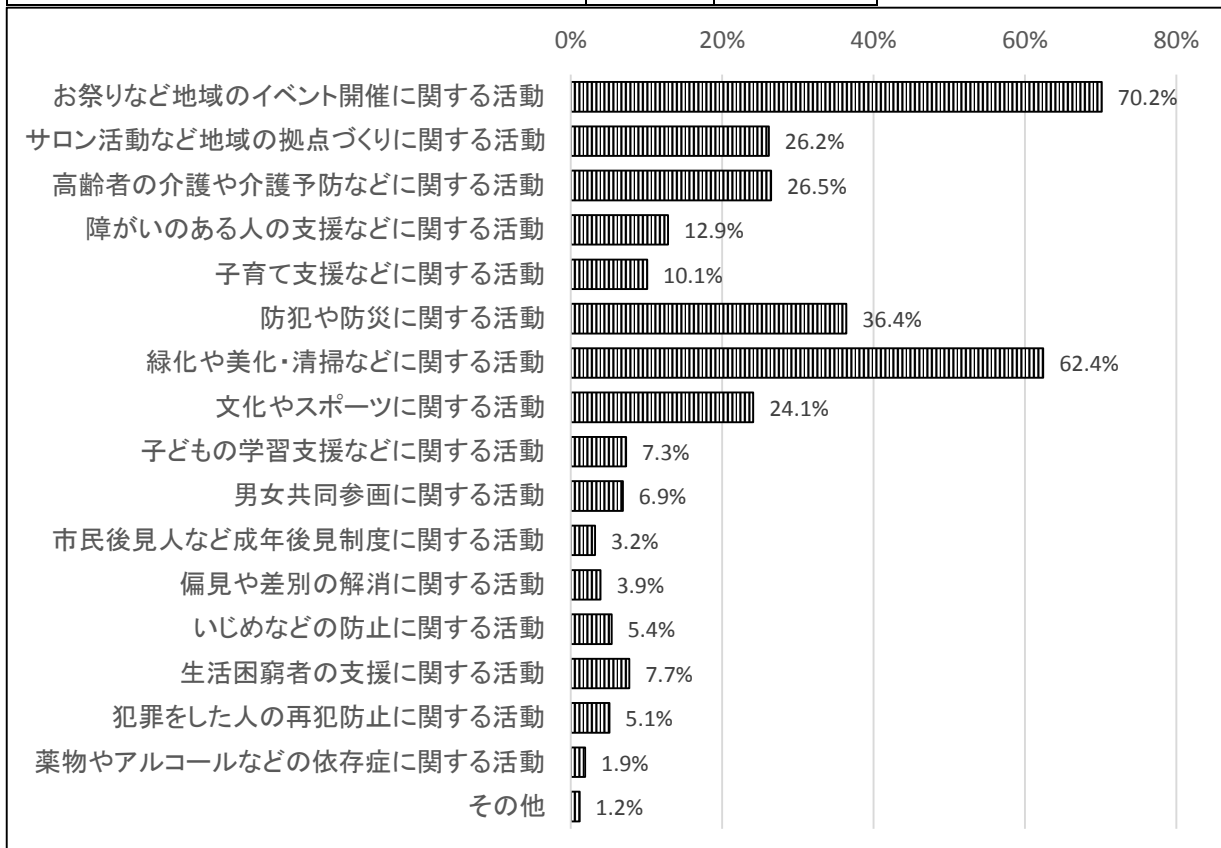
		ボランティアや地域活動への参加状況					合計
		積極的に参加している	時々参加している	これから機会があれば参加してみたい	以前参加していたが、現在は参加していない	参加したことがない	
男性	20・30代	4 5.4%	11 14.9%	8 10.8%	9 12.2%	42 56.8%	74 100.0%
	40～64歳	18 9.7%	24 13.0%	25 13.5%	25 13.5%	93 50.3%	185 100.0%
	65～74歳	88 56.8%	50 32.3%	3 1.9%	3 1.9%	11 7.1%	155 100.0%
	75歳以上	71 58.7%	36 29.8%	1 0.8%	8 6.6%	5 4.1%	121 100.0%
女性	20・30代	4 3.2%	7 5.6%	19 15.1%	15 11.9%	81 64.3%	126 100.0%
	40～64歳	22 8.4%	40 15.3%	24 9.2%	30 11.5%	146 55.7%	262 100.0%
	65～74歳	74 51.0%	45 31.0%	6 4.1%	7 4.8%	13 9.0%	145 100.0%
	75歳以上	58 52.7%	29 26.4%	2 1.8%	11 10.0%	10 9.1%	110 100.0%



(2) 「積極的に参加している」、「時々参加している」、「これから機会があれば参加してみたい」人の活動

〈複数回答〉

	人数	パーセント (n=684)
お祭りなど地域のイベント開催に関する活動	480	70.2%
サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動	179	26.2%
高齢者の介護や介護予防などに関する活動	181	26.5%
障がいのある人の支援などに関する活動	88	12.9%
子育て支援などに関する活動	69	10.1%
防犯や防災に関する活動	249	36.4%
緑化や美化・清掃などに関する活動	427	62.4%
文化やスポーツに関する活動	165	24.1%
子どもの学習支援などに関する活動	50	7.3%
男女共同参画に関する活動	47	6.9%
市民後見人など成年後見制度に関する活動	22	3.2%
偏見や差別の解消に関する活動	27	3.9%
いじめなどの防止に関する活動	37	5.4%
生活困窮者の支援に関する活動	53	7.7%
犯罪をした人の再犯防止に関する活動	35	5.1%
薬物やアルコールなどの依存症に関する活動	13	1.9%
その他	8	1.2%

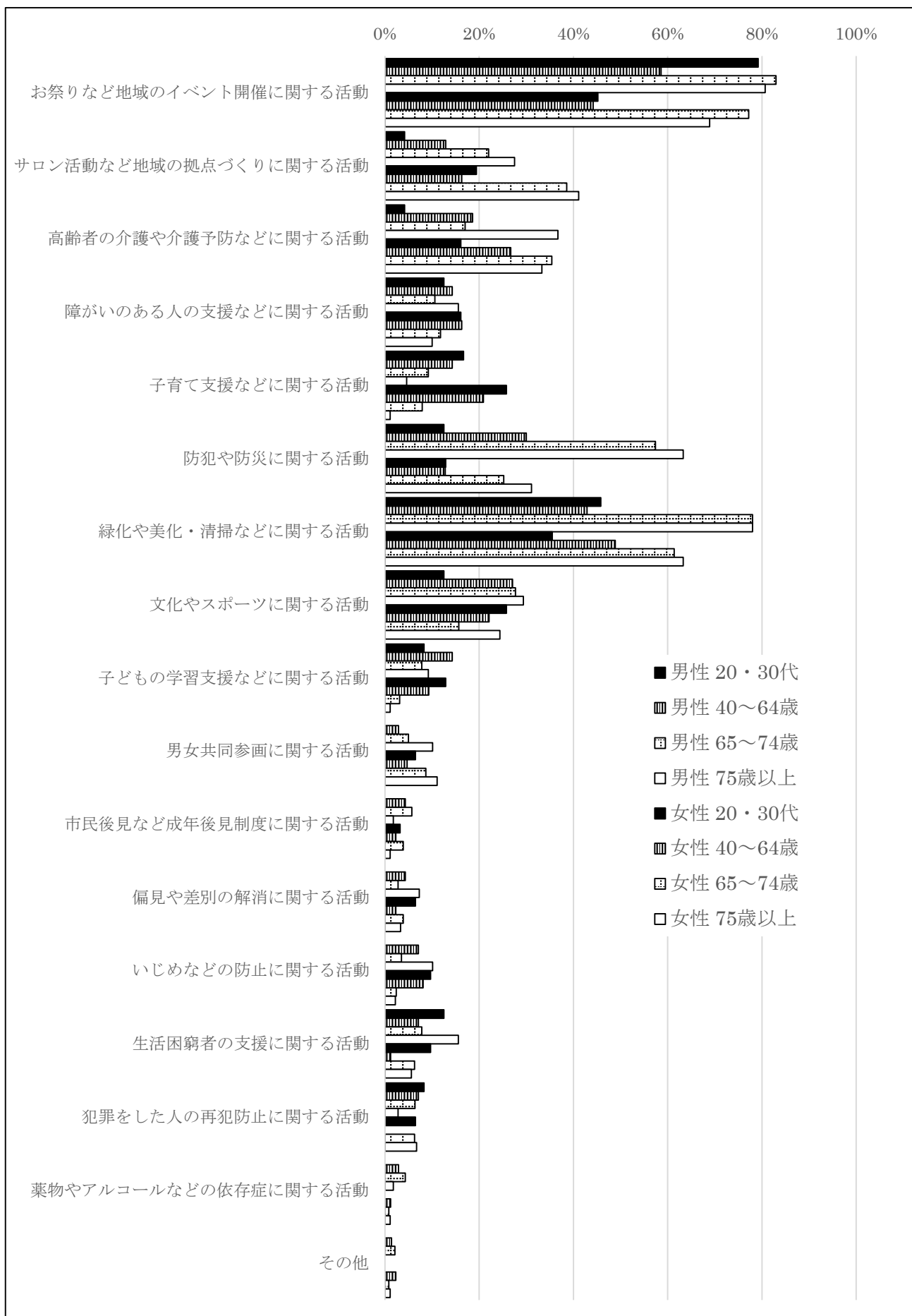


その他の回答例

保護猫の世話	1件
赤い羽根	1件

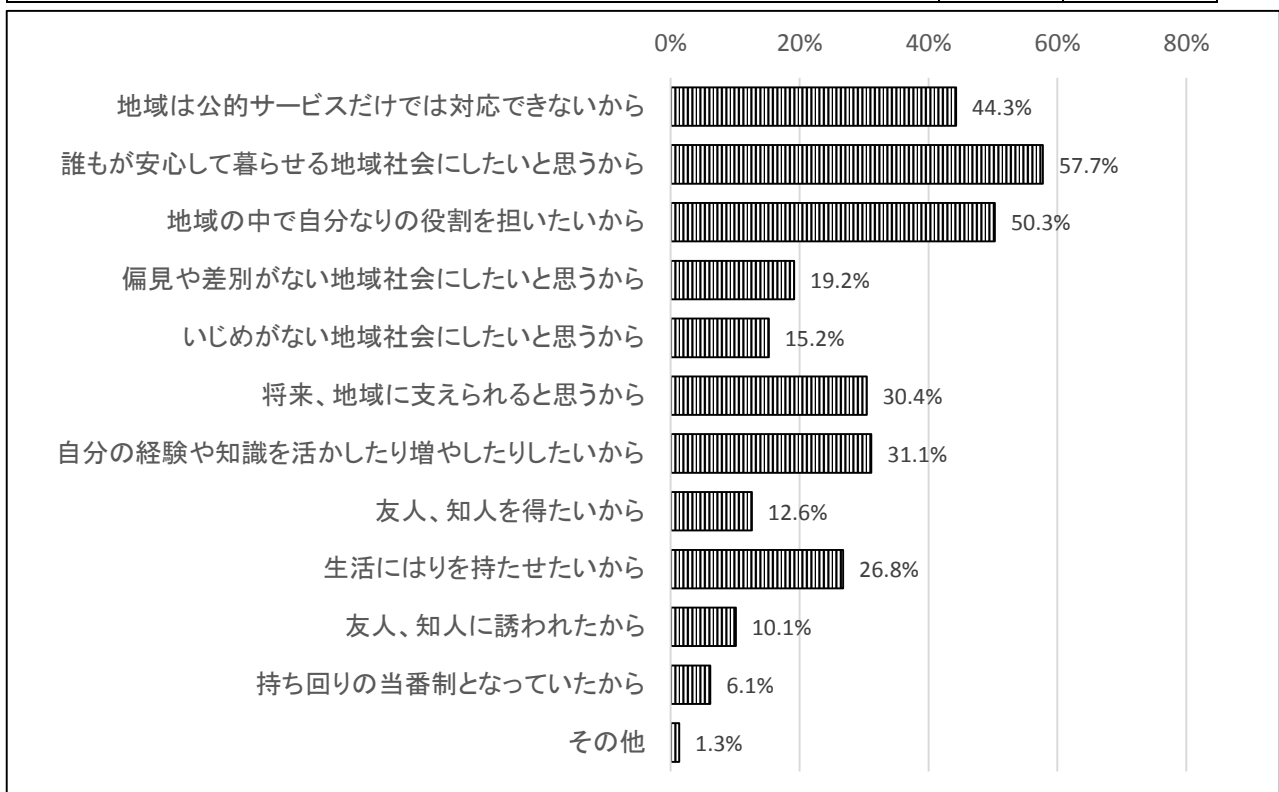
<性別・年代別>

	男性				女性			
	20・30代 (n=24)	40～59歳 (n=70)	60～74歳 (n=141)	75歳以上 (n=109)	20・30代 (n=31)	40～64歳 (n=86)	65～74歳 (n=127)	75歳以上 (n=90)
お祭りなど地域のイベント開催に関する活動	19 79.2%	41 58.6%	117 83.0%	88 80.7%	14 45.2%	38 44.2%	98 77.2%	62 68.9%
サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動	1 4.2%	9 12.9%	31 22.0%	30 27.5%	6 19.4%	14 16.3%	49 38.6%	37 41.1%
高齢者の介護や介護予防などに関する活動	1 4.2%	13 18.6%	24 17.0%	40 36.7%	5 16.1%	23 26.7%	45 35.4%	30 33.3%
障がいのある人の支援などに関する活動	3 12.5%	10 14.3%	15 10.6%	17 15.6%	5 16.1%	14 16.3%	15 11.8%	9 10.0%
子育て支援などに関する活動	4 16.7%	10 14.3%	13 9.2%	5 4.6%	8 25.8%	18 20.9%	10 7.9%	1 1.1%
防犯や防災に関する活動	3 12.5%	21 30.0%	81 57.4%	69 63.3%	4 12.9%	11 12.8%	32 25.2%	28 31.1%
緑化や美化・清掃などに関する活動	11 45.8%	30 42.9%	110 78.0%	85 78.0%	11 35.5%	42 48.9%	78 61.4%	57 63.3%
文化やスポーツに関する活動	3 12.5%	19 27.1%	39 27.7%	32 29.4%	8 25.8%	19 22.1%	20 15.7%	22 24.4%
子どもの学習支援などに関する活動	2 8.3%	10 14.3%	11 7.8%	10 9.2%	4 12.9%	8 9.3%	4 3.1%	1 1.1%
男女共同参画に関する活動	0 0.0%	2 2.9%	7 5.0%	11 10.1%	2 6.5%	4 4.7%	11 8.7%	10 11.1%
市民後見など成年後見制度に関する活動	0 0.0%	3 4.3%	8 5.7%	2 1.8%	1 3.2%	2 2.3%	5 3.9%	1 1.1%
偏見や差別の解消に関する活動	0 0.0%	3 4.3%	4 2.8%	8 7.3%	2 6.5%	2 2.3%	5 3.9%	3 3.3%
いじめなどの防止に関する活動	0 0.0%	5 7.1%	5 3.5%	11 10.1%	3 9.7%	7 8.1%	3 2.4%	2 2.2%
生活困窮者の支援に関する活動	3 12.5%	5 7.1%	11 7.8%	17 15.6%	3 9.7%	1 1.2%	8 6.3%	5 5.6%
犯罪をした人の再犯防止に関する活動	2 8.3%	5 7.1%	9 6.4%	3 2.8%	2 6.5%	0 0.0%	8 6.3%	6 6.7%
薬物やアルコールなどの依存症に関する活動	0 0.0%	2 2.9%	6 4.3%	2 1.8%	0 0.0%	1 1.2%	1 0.8%	1 1.1%
その他	0 0.0%	1 1.4%	3 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	1 0.8%	1 1.1%



(3) 「積極的に参加している」、「時々参加している」、「これから機会があれば参加してみたい」人のボランティアや地域活動に参加する理由（複数回答）

	人数	パーセント (n=684)
地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから	303	44.3%
誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから	395	57.7%
地域の中で自分なりの役割を担いたいから	344	50.3%
偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから	131	19.2%
いじめがない地域社会にしたいと思うから	104	15.2%
将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから	208	30.4%
自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから	213	31.1%
友人、知人を得たいから	86	12.6%
生活にはりを持たせたいから	183	26.8%
友人、知人に誘われたから	69	10.1%
持ち回りの当番制となっていたから	42	6.1%
その他	9	1.3%

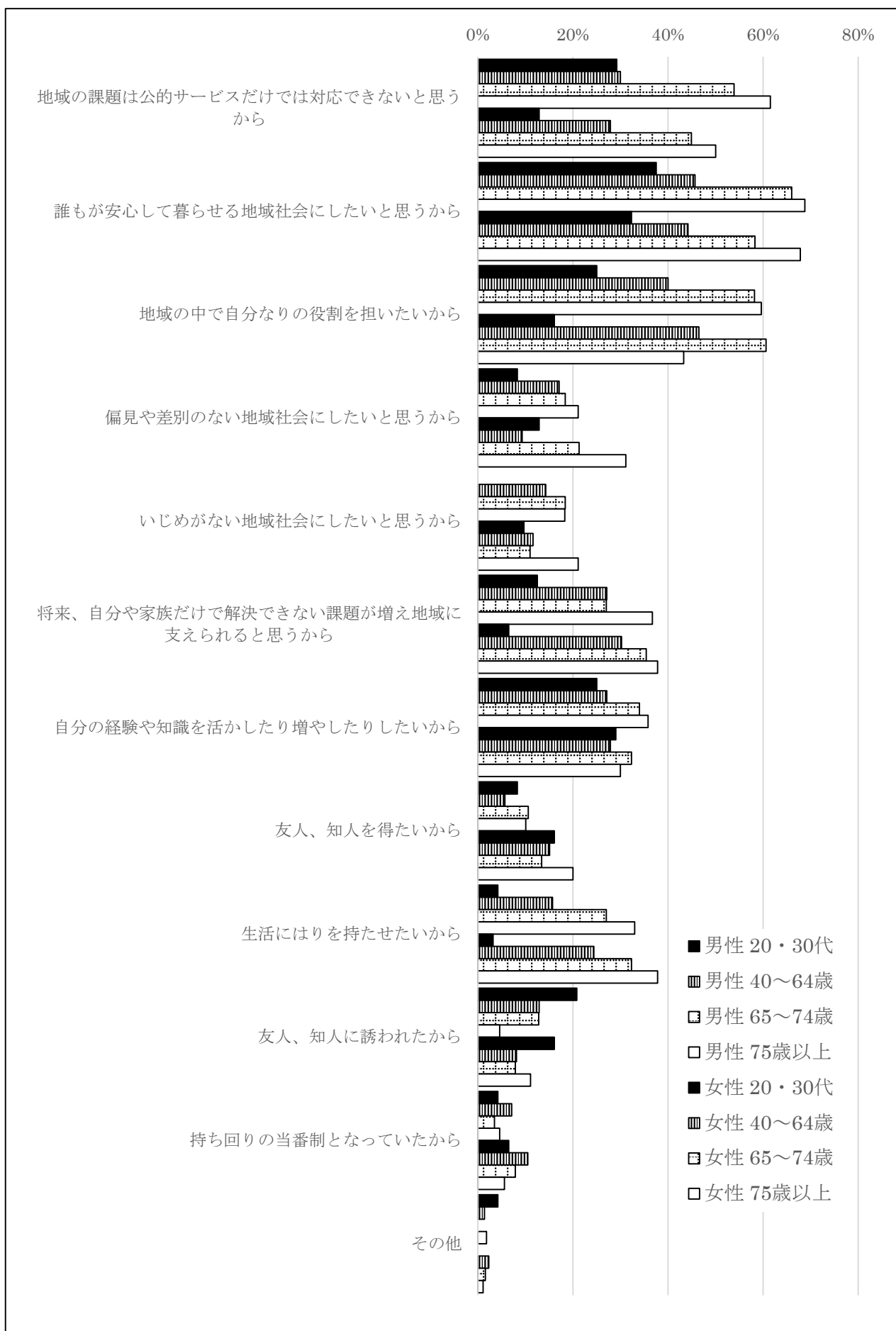


その他の回答例

子どもの教育のため	2件
他にする人がいないから	2件

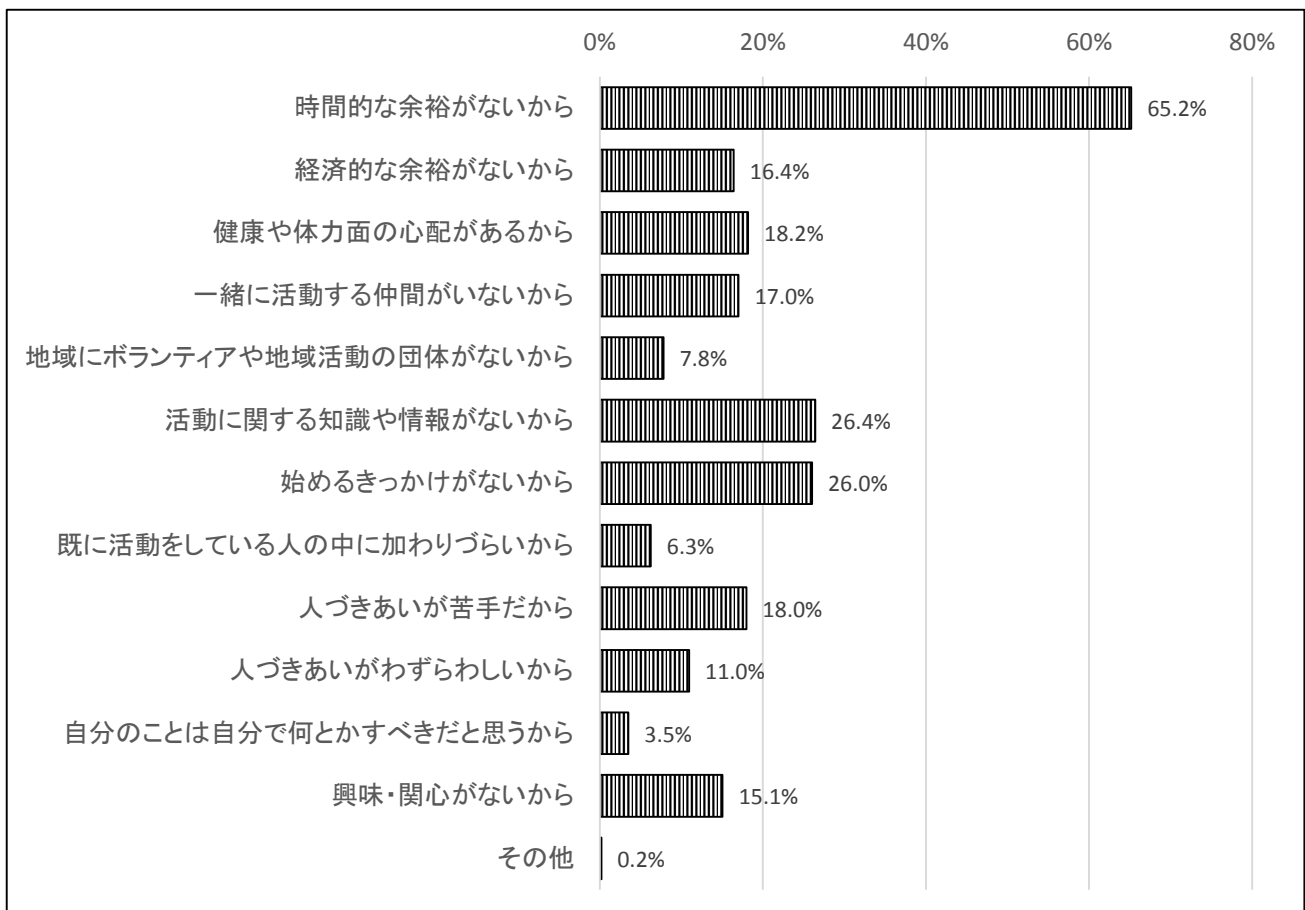
<性別・年代別>

	男性				女性			
	20・30代 (n=24)	40～64歳 (n=70)	65～74歳 (n=141)	75歳以上 (n=109)	20・30代 (n=31)	40～64歳 (n=86)	65～74歳 (n=127)	75歳以上 (n=90)
地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから	7 29.2%	21 30.0%	76 53.9%	67 61.5%	4 12.9%	24 27.9%	57 44.9%	45 50.0%
誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから	9 37.5%	32 45.7%	93 66.0%	75 68.8%	10 32.3%	38 44.2%	74 58.3%	61 67.8%
地域の中で自分なりの役割を担いたいから	6 25.0%	28 40.0%	82 58.2%	65 59.6%	5 16.1%	40 46.5%	77 60.6%	39 43.3%
偏見や差別のない地域社会にしたいと思うから	2 8.3%	12 17.1%	26 18.4%	23 21.1%	4 12.9%	8 9.3%	27 21.3%	28 31.1%
いじめがない地域社会にしたいと思うから	0 0.0%	10 14.3%	26 18.4%	20 18.3%	3 9.7%	10 11.6%	14 11.0%	19 21.1%
将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから	3 12.5%	19 27.1%	38 27.0%	40 36.7%	2 6.5%	26 30.2%	45 35.4%	34 37.8%
自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから	6 25.0%	19 27.1%	48 34.0%	39 35.8%	9 29.0%	24 27.9%	41 32.3%	27 30.0%
友人、知人を得たいから	2 8.3%	4 5.7%	15 10.6%	11 10.1%	5 16.1%	13 15.1%	17 13.4%	18 20.0%
生活にはりを持たせたいから	1 4.2%	11 15.7%	38 27.0%	36 33.0%	1 3.2%	21 24.4%	41 32.3%	34 37.8%
友人、知人に誘われたから	5 20.8%	9 12.9%	18 12.8%	5 4.6%	5 16.1%	7 8.1%	10 7.9%	10 11.1%
持ち回りの当番制となっていたから	1 4.2%	5 7.1%	5 3.5%	5 4.6%	2 6.5%	9 10.5%	10 7.9%	5 5.6%
その他	1 4.2%	1 1.4%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	2 2.3%	2 1.6%	1 1.1%



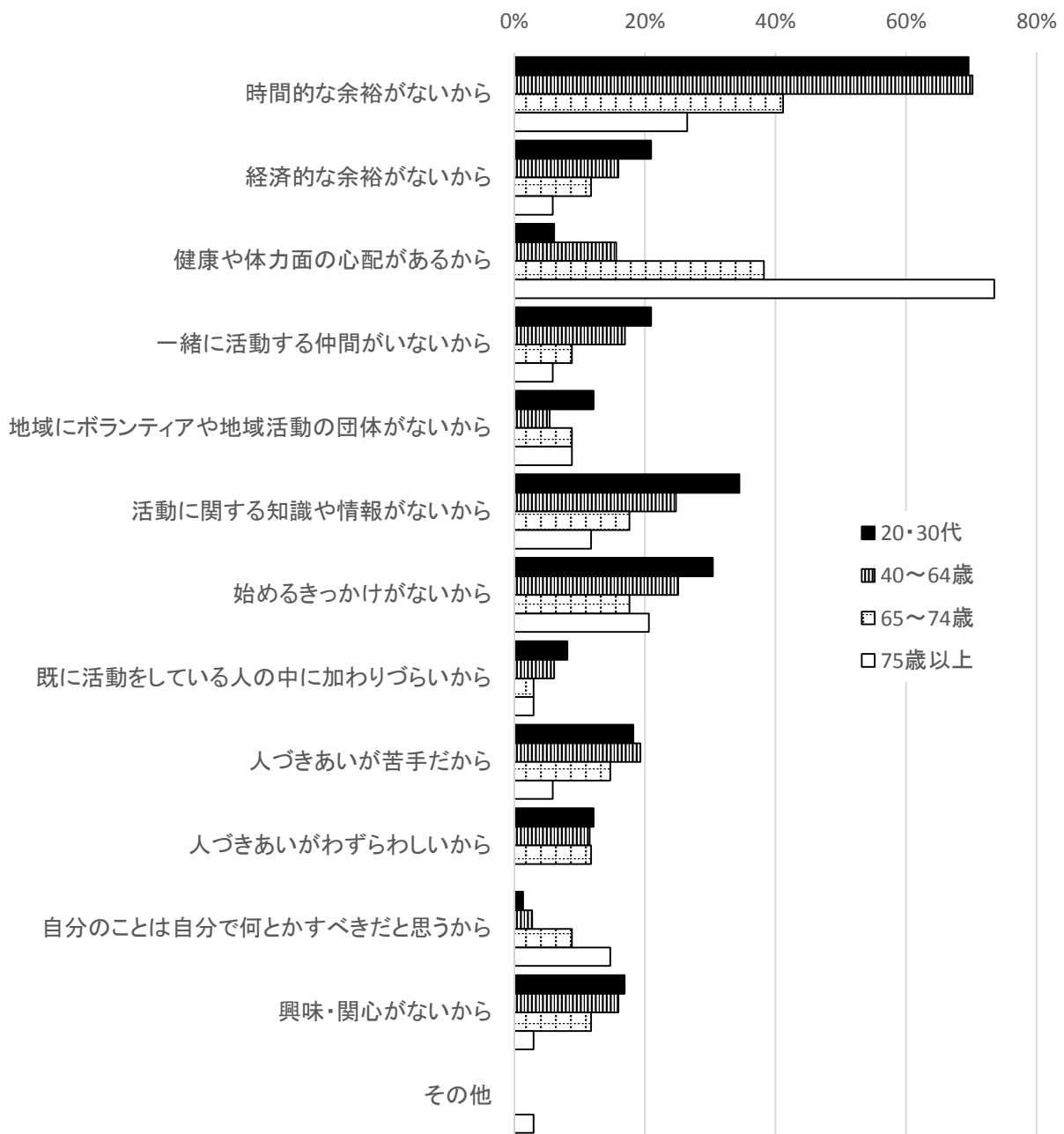
(4) 「以前参加していたが、現在は参加していない」、「参加したことがない」人の
ボランティアや地域活動に参加しない理由〈複数回答〉

	人数	パーセン ト (n=511)
時間的な余裕がないから	333	65.2%
経済的な余裕がないから	84	16.4%
健康や体力面の心配があるから	93	18.2%
一緒に活動する仲間がないから	87	17.0%
地域にボランティアや地域活動の団体がないから	40	7.8%
活動に関する知識や情報がないから	135	26.4%
始めるきっかけがないから	133	26.0%
既に活動をしている人の中に加わりづらいから	32	6.3%
人づきあいが苦手だから	92	18.0%
人づきあいがわずらわしいから	56	11.0%
自分のことは自分で何とかすべきだと思うから	18	3.5%
興味・関心がないから	77	15.1%
その他	1	0.2%



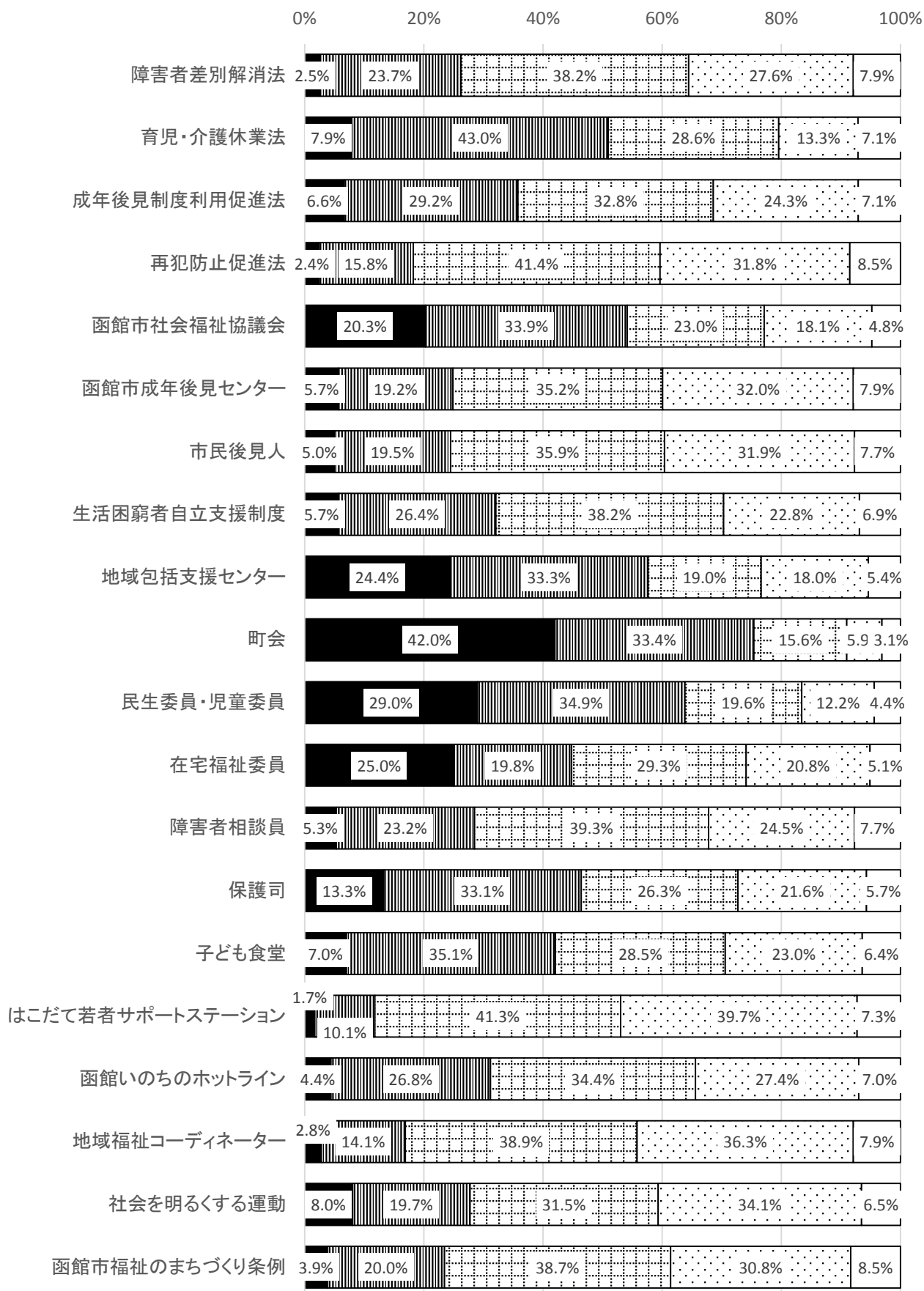
<年代別>

	年代			
	20・30代 (n=148)	40～64歳 (n=295)	65～74歳 (n=34)	75歳以上 (n=34)
時間的な余裕がないから	103 69.6%	207 70.2%	14 41.2%	9 26.5%
経済的な余裕がないから	31 20.9%	47 15.9%	4 11.8%	2 5.9%
健康や体力面の心配があるから	9 6.1%	46 15.6%	13 38.2%	25 73.5%
一緒に活動する仲間がないから	31 20.9%	50 16.9%	3 8.8%	2 5.9%
地域にボランティアや地域活動の団体がないから	18 12.2%	16 5.4%	3 8.8%	3 8.8%
活動に関する知識や情報がないから	51 34.5%	73 24.7%	6 17.6%	4 11.8%
始めるきっかけがないから	45 30.4%	74 25.1%	6 17.6%	7 20.6%
既に活動をしている人の中に加わりづらいから	12 8.1%	18 6.1%	1 2.9%	1 2.9%
人づきあいが苦手だから	27 18.2%	57 19.3%	5 14.7%	2 5.9%
人づきあいがわずらわしいから	18 12.2%	34 11.5%	4 11.8%	0 0.0%
自分のことは自分で何とかすべきだと思うから	2 1.4%	8 2.7%	3 8.8%	5 14.7%
興味・関心がないから	25 16.9%	47 15.9%	4 11.8%	1 2.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%



問16 法律・制度・条例や活動内容の認知

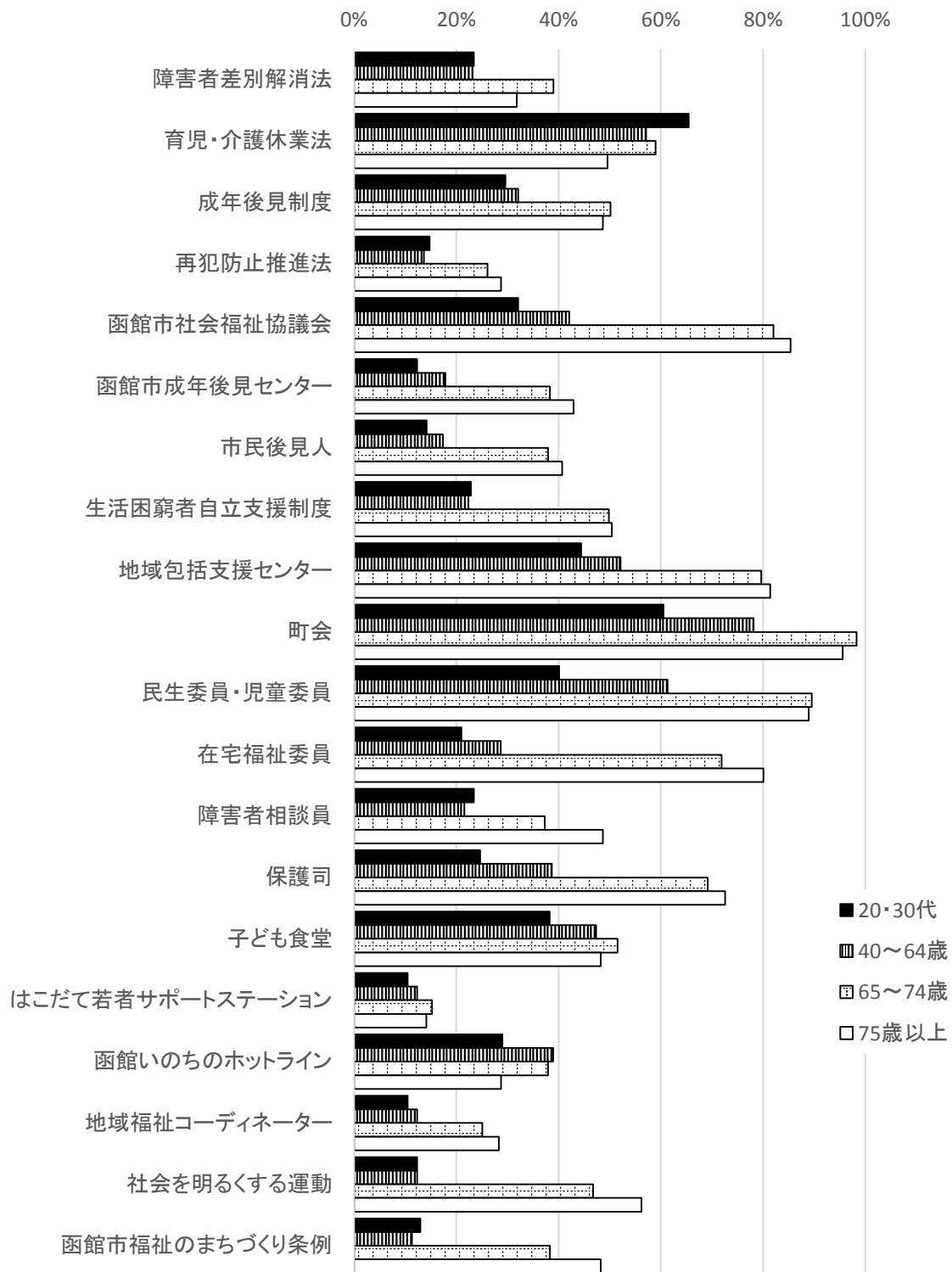
	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない	未記入
障害者差別解消法	30 2.5%	283 23.7%	457 38.2%	330 27.6%	95 7.9%
育児・介護休業法	95 7.9%	514 43.0%	342 28.6%	159 13.3%	85 7.1%
成年後見制度利用促進法	79 6.6%	349 29.2%	392 32.8%	290 24.3%	85 7.1%
再犯防止促進法	29 2.4%	189 15.8%	495 41.4%	380 31.8%	102 8.5%
函館市社会福祉協議会	242 20.3%	405 33.9%	275 23.0%	216 18.1%	57 4.8%
函館市成年後見センター	68 5.7%	230 19.2%	421 35.2%	382 32.0%	94 7.9%
市民後見人	60 5.0%	233 19.5%	429 35.9%	381 31.9%	92 7.7%
生活困窮者自立支援制度	68 5.7%	315 26.4%	457 38.2%	273 22.8%	82 6.9%
地域包括支援センター	291 24.4%	398 33.3%	227 19.0%	215 18.0%	64 5.4%
町会	502 42.0%	399 33.4%	186 15.6%	71 5.9%	37 3.1%
民生委員・児童委員	346 29.0%	417 34.9%	234 19.6%	146 12.2%	52 4.4%
在宅福祉委員	299 25.0%	237 19.8%	350 29.3%	248 20.8%	61 5.1%
障害者相談員	63 5.3%	277 23.2%	470 39.3%	293 24.5%	92 7.7%
保護司	159 13.3%	396 33.1%	314 26.3%	258 21.6%	68 5.7%
子ども食堂	84 7.0%	419 35.1%	341 28.5%	275 23.0%	76 6.4%
はこだて若者サポートステーション	20 1.7%	121 10.1%	493 41.3%	474 39.7%	87 7.3%
函館いのちのホットライン	52 4.4%	320 26.8%	411 34.4%	328 27.4%	84 7.0%
地域福祉コーディネーター	33 2.8%	169 14.1%	465 38.9%	434 36.3%	94 7.9%
社会を明るくする運動	96 8.0%	236 19.7%	377 31.5%	408 34.1%	78 6.5%
函館市福祉のまちづくり条例	47 3.9%	239 20.0%	463 38.7%	368 30.8%	78 8.5%



■よく知っている ■ある程度知っている □ほとんど知らない □全く知らない □未記入

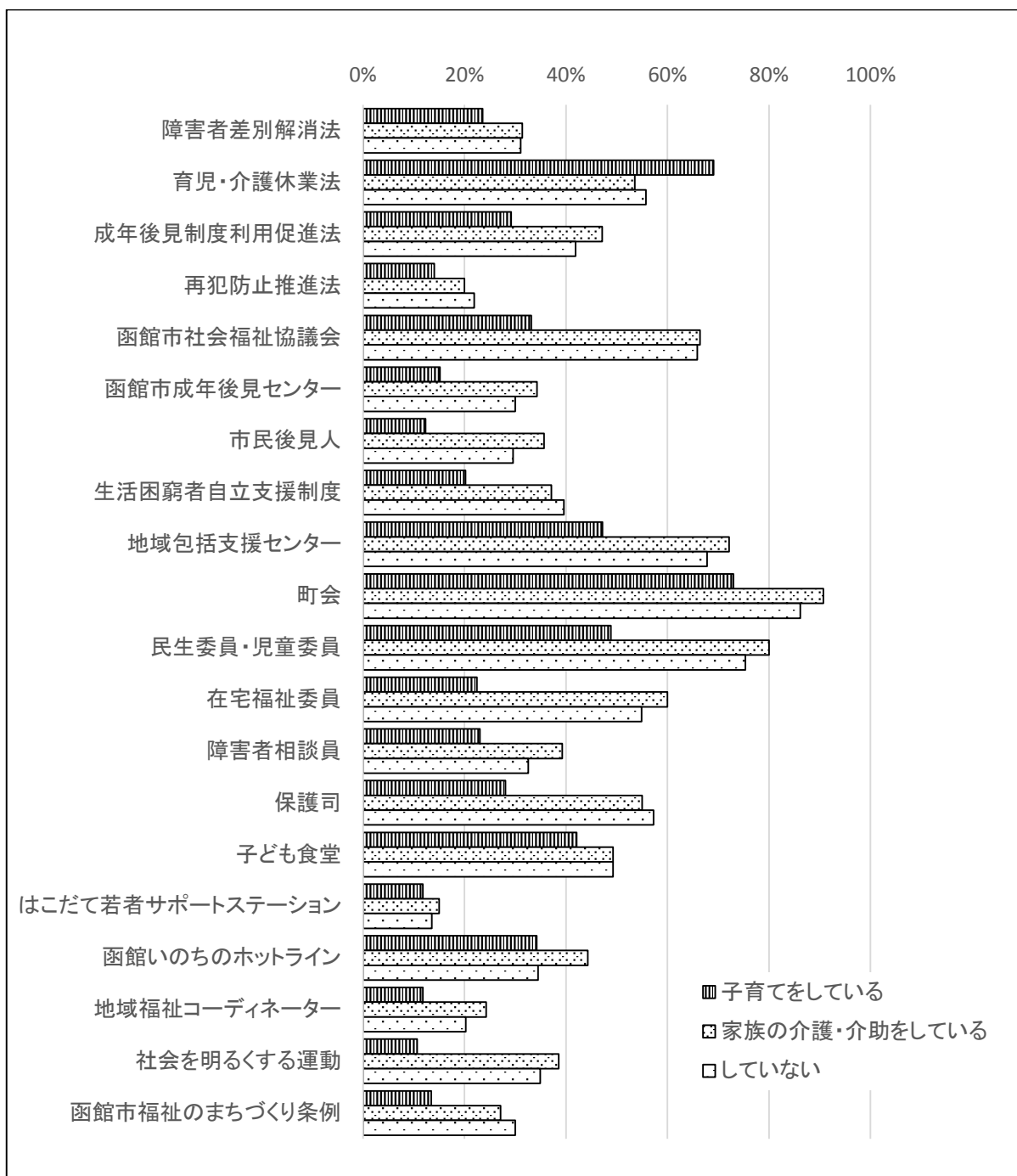
<年代別> 回答者のうち「よく知っている」「ある程度知っている」人の割合

	年代			
	20・30代 (n=162)	40～64歳 (n=380)	65～74歳 (n=295)	75歳以上 (n=226)
障害者差別解消法	38 23.5%	88 23.2%	115 39.0%	72 31.9%
育児・介護休業法	106 65.4%	217 57.1%	174 59.0%	112 49.6%
成年後見制度	48 29.6%	122 32.1%	148 50.2%	110 48.7%
再犯防止推進法	24 14.8%	52 13.7%	77 26.1%	65 28.8%
函館市社会福祉協議会	52 32.1%	160 42.1%	242 82.0%	193 85.4%
函館市成年後見センター	20 12.3%	68 17.9%	113 38.3%	97 42.9%
市民後見人	23 14.2%	66 17.4%	112 38.0%	92 40.7%
生活困窮者自立支援制度	37 22.8%	85 22.4%	147 49.8%	114 50.4%
地域包括支援センター	72 44.4%	198 52.1%	235 79.7%	184 81.4%
町会	98 60.5%	297 78.2%	290 98.3%	216 95.6%
民生委員・児童委員	65 40.1%	233 61.3%	264 89.5%	201 88.9%
在宅福祉委員	34 21.0%	109 28.7%	212 71.9%	181 80.1%
障害者相談員	38 23.5%	82 21.6%	110 37.3%	110 48.7%
保護司	40 24.7%	147 38.7%	204 69.2%	164 72.6%
子ども食堂	62 38.3%	180 47.4%	152 51.5%	109 48.2%
はこだて若者サポートステーション	17 10.5%	47 12.4%	45 15.3%	32 14.2%
函館いのちのホットライン	47 29.0%	148 38.9%	112 38.0%	65 28.8%
地域福祉コーディネーター	17 10.5%	47 12.4%	74 25.1%	64 28.3%
社会を明るくする運動	20 12.3%	47 12.4%	138 46.8%	127 56.2%
函館市福祉のまちづくり条例	21 13.0%	43 11.3%	113 38.3%	109 48.2%



<子育てや家族の介護・介助 別> 回答者のうち「よく知っている」「ある程度知っている」人の割合

	子育てや家族の介護・介助		
	子育て (n=178)	家族の介護・介助 (n=140)	していない (n=730)
障害者差別解消法	42 23.6%	44 31.4%	227 31.1%
育児・介護休業法	123 69.1%	75 53.6%	407 55.8%
成年後見制度利用促進法	52 29.2%	66 47.1%	306 41.9%
再犯防止推進法	25 14.0%	28 20.0%	160 21.9%
函館市社会福祉協議会	59 33.1%	93 66.4%	481 65.9%
函館市成年後見センター	27 15.2%	48 34.3%	219 30.0%
市民後見人	22 12.4%	50 35.7%	216 29.6%
生活困窮者自立支援制度	36 20.2%	52 37.1%	289 39.6%
地域包括支援センター	84 47.2%	101 72.1%	495 67.8%
町会	130 73.0%	127 90.7%	629 86.2%
民生委員・児童委員	87 48.9%	112 80.0%	550 75.3%
在宅福祉委員	40 22.5%	84 60.0%	401 54.9%
障害者相談員	41 23.0%	55 39.3%	238 32.6%
保護司	50 28.1%	77 55.0%	418 57.3%
子ども食堂	75 42.1%	69 49.3%	360 49.3%
はこだて若者サポートステーション	21 11.8%	21 15.0%	99 13.6%
函館いのちのホットライン	61 34.3%	62 44.3%	252 34.5%
地域福祉コーディネーター	21 11.8%	34 24.3%	148 20.3%
社会を明るくする運動	19 10.7%	54 38.6%	255 34.9%
函館市福祉のまちづくり条例	24 13.5%	38 27.1%	219 30.0%



地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事が「良くある」または「ときどきある」と回答した方の困ったり不便を感じる事例。【自由記述】	年齢	性別
1	道がジャリで足もと不安定。	50	女性
2	交通の便が少ない。	84	男性
3	交通機関（電車・バス）の本数が少なかったり、行きたい所までの路線が少ない。	47	女性
4	交通機関の乗り換えが多い。歩道の段差や路面のデコボコが多く歩きにくい。	未記入	男性
5	公共機関があまり充実してない。	40	女性
6	交通が不便。	52	男性
7	本人のわがまま。	54	女性
8	体の不自由な父でしたので、私が熱ある時など、伝染すると困るので、介護してくれる人や組織が（施設以外）知らずに困った。何でもお金がかかる。	58	女性
9	近くに徒歩で行ける公園や、子どもたちが走ったり自転車に乗ったりできる場所がない。親子で遊べる屋内遊具スペースなどが少ない。冬のバスは場所によっては30分以上待たされる事があり、子どもがいると遅れられると困ります。	35	女性
10	子供の遊び場が少ないと思う。	49	男性
11	2歳の息子の世話を妻がしているので、私が仕事のときは、妻が一人で用を足せない。一時あずかりの使用をすすめたが、お菓子をあげてテレビを見せるだけなので妻は嫌がる。私としては一時あずかりをもっと活用してくれれば・・・	30	男性
12	バスの乗降が大変。	71	女性
13	学校行事、学童の集まりがあり必ずしも子どもと一緒にいくとは限らない。18:00～の公的（半公的）な集会はやめてほしい。なぜ学校職員の負担軽減で家庭訪問がなくなる時代に父母会だけは旧態依然としているのか疑問。	41	女性
14	公共交通機関の不足。	47	女性
15	授乳スペースやおむつ替えの場所を考えて出かける場所を探す。買い物の際カート（子供用）がないと行くのをためらう。しかし最近は不便を感じることも少なくなってきました。	29	女性
16	足が不自由な母の車椅子が欲しい。※移動距離が大きいとき不便です。	59	男性
17	段差が多い。階段に手すりが不十分。	49	女性
18	雨など外遊びができないときに子どもを連れて行く場所が限られる。もっとたくさん選択肢があると良いです。（お金がかからないところ）	45	女性
19	子どもと一緒にだどゆっくりできない。	32	女性
20	階段や手すりがないと登れない。トイレ、障がい者用がない場所、障がいがあるため食事に出かけられる場所が少ない。	57	女性
21	高齢の義母を頻繁に送り迎えするため、自分の予定が立てられずお抱え運転手ようになってしまっている。	57	女性
22	子供が小学生、中学生になったときバス通学にしたいが交通機関（バス）の系統が1本しかないため、冬季の期間等車ではなくバスを使用したいが時間帯が合わないため不便を感じる。	34	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事が「良くある」または「ときどきある」と回答した方の困ったり不便を感じる事例。【自由記述】	年齢	性別
23	・授乳室やおむつを替える広いスペースのある店が少ない。 ・小さな子供でも気軽に入れる飲食店が少ない。 ・五稜郭まで行かないと交通手段がない為、子供を抱えながらは大変だ。	31	女性
24	子供がちょろちょろして車など危ない。	33	女性
25	幼児を連れてのトイレが専用トイレが少ないため困る。	38	男性
26	子供と出かける外出先がない。	41	男性
27	・バスはあるけど行ける場所が限られているので不便。 ・近くに室内で遊べる所が少ないので不便。 ・市内に水族館がないので海の生き物を目で見て教えてあげることが出来ない。 ・昔と違って自転車の交通ルールが違っているのが気軽に自転車で遊ばせてあげることが出来ない。	25	女性
28	子どもが楽しめる遊び場所が少ない。公園の遊具が少ない。駐車場が少ない。	43	女性
29	雨の日など室内で遊べる場所が近所がない。	41	女性
30	障がい者用駐車スペースが少ない。(スーパーなど)	43	男性
31	外出先で和式トイレしかなかったとき。	39	女性
32	除雪がされていない。坂が多く道が狭い。歩道が少ない。	38	男性
33	・乳児のおむつ交換台や電気ポット(ミルク用)があれば助かる。 ・授乳スペースが少なく、障がい者トイレを利用しています。 ・幼児等が安心して遊べる場所が少ない。(なるべく低価格～無料)	30	男性
34	・子どもが寝たときに子供用カートがないとき。 ・子どもをトイレに行った時に便座が大人用しかないとき。	31	女性
35	・バスの経路等がネットで見てもわかりづらい。 ・子どもと出かけても、遊んだり楽しめる施設が少なすぎる。 ・本屋・文具店が周囲にない。	46	男性
36	・レストランやカフェでゆっくり食事ができない。 ・近くにファミサポさんがいない。	41	女性
37	91歳の父が外出のとき目が悪いのでつまづく。	64	女性
38	ほとんどタクシーを利用するため料金がかさむ。	74	女性
39	外出時は車椅子で利用できるトイレがあるところに行きますが、トイレの介助を一人でできなくなったので、外出したいが難しくなりました。大人で介助できる家族が私以外いないので。	53	女性
40	歩けなくなりトイレも長い。	66	男性
41	親の介護をしています。自分で歩けないので抱きかかえたり支えたり体力がないので老々介護状態です。	68	女性
42	公園に駐車場がないところが多い。子どもが遊べる場所が少ない。(特に室内)子供用トイレがあまりない。	36	男性
43	自宅から近くのバスは1時間に1本。雪の季節を考えるとあきらかに少ない。これでは外出もままならない。	38	女性
44	飲食店に入るときスロープがないので入れない。歩道がデコボコしているので車椅子または杖の歩行があぶない。	53	女性
45	変質者情報がたまに入ると小学校へ通う女の子がいるので心配。	54	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事が「良くある」または「ときどきある」と回答した方の困ったり不便を感じる事例。【自由記述】	年齢	性別
46	バスの本数が少ない。バスの乗降が大変。店内に座れる場所が少ない。店が駐車場奥にあって遠い。トイレが狭い。	57	女性
47	車椅子専用スペースの駐車場に普通の人が止めている。バリアフリー施設を充実してほしい。妊婦さんなど色々なステッカーの意味を知らせて欲しい。	44	男性
48	公共交通機関が少ない。子どもの面倒を見てくれる人がいない。そのような事業所がない。	56	男性
49	長期の外出ができない。	68	男性
50	介護者を家に残しているかと心配。一緒に外出すると介助が必要なため、荷物の持ち運びにも苦慮。自分の息抜きができない。	54	女性
51	市電乗り場に行くとき信号がなく怖い。	33	女性
52	交通手段。	57	男性
53	介護食サービスなどが無い。	38	女性
54	外出時に面倒を見てくれる人が側にいない。	未記入	男性
55	地域的に眼科がないため、送迎が必要なので不便を感じている。	42	男性
56	子どもが大人しいタイプではないので、大きい声で騒いだり泣いたりして困る。特に静かにしなければいけない時に本当に困る。お葬式、スポーツ応援、病院、電車、学芸会、参観日、レストランなど。	37	女性
57	雨天時等、子どもを遊ばせる所が少ない。	43	女性
58	道路ががたがたしている所が多く、車に乗っていて乗り心地が悪い。夜道に街灯が少ない。	44	男性
59	おむつを替えたり授乳する場所がない。月齢の低い子が遊べる屋内パークみたいな場所がない。	21	女性
60	①歩行が不自由なので車椅子を使用したいこと。(本人が車椅子の使用を望まない、また置いている所が少ないと思われる) ②スーパーやデパートのトイレの手助けに同室できない。 ③トイレのドアは自動になれば良い。	82	男性
61	目や歩行の不自由な人や、車椅子の移動等に歩道がデコボコしていて危険が多い。	59	女性
62	公共交通機関に対してほとんど知識がない。	48	女性
63	バスなど公共交通機関の少なさ1時間に1本あるかないか。	44	男性
64	高齢の両親であるため、母を買い物に連れて行くと残した父が心配。	72	男性
65	車椅子での移動では道路の段差や少しの登り道等が多い。斜めになっているところも多い。	58	女性
66	車の乗り降りが1人だと大変。	30	女性
67	近所に狐がでて公園に行けなくなった。子どもを遊ばせる所が少ない。	32	女性
68	身体が不自由、車の乗り降り、お風呂が大変。	44	女性
69	子連れで行きやすいトイレが少ない。待ってられるスペースがない。	29	女性
70	スーパーが少ない。	29	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事が「良くある」または「ときどきある」と回答した方の困ったり不便を感じる事例。【自由記述】	年齢	性別
71	車椅子が備え付けられていないところがある。	24	女性
72	障がい者駐車場に健常者が駐めておりなかなか駐車できない。	79	男性
73	子育てで自分が仕事の時見てくれる人がいない。	48	女性
74	障がい者用トイレが無いと介助ができない。障がい者用駐車場が少ない、または健常者が駐車している。	54	男性
75	荷物が多いた時、雪道を歩くとき、整備されていない公園。	46	女性
76	バスの本数が少ない。	42	男性
77	夫婦とも高齢のため、介助や手助けしてくれる人がいて欲しいと思う。	79	女性
78	バリアフリーが少ない。障がい者駐車場の一般利用が多い。	61	女性
79	病院が近くにないため交通の不便がある。	41	男性
80	子どもと共用のトイレが少ない。外食先に子供用のイスがない。	35	男性
81	車椅子での段差が困った。	85	女性
82	子どもの預け先がない。	47	女性
83	母親の病院等の送迎。	50	男性
84	子どもが2人小さいため2人乗りのベビーカーがあればいい。駐車場も子どもがいる人専用の場所があれば便利。公園も高齢者と子どもと一緒に身体を動かせるようなスペースがあればいいと思う。	34	男性
85	バスが遅れるので時間通りにきてほしい。	91	女性
86	買い物がスムーズにできない。	41	女性
87	バスに乗るとき道路との段差があり困る。公園にトイレがない、また和式のため近くのスーパーまで行っている。ベンチやテーブルも汚くて使えない。公園に駐車場がない。	30	女性
88	親の通院のための冬道の運転が精神的につらい。	60	女性
89	施設の介護や介助をサポートする用具や設備不足。	48	男性
90	ベビーカーが市電の線路で引っかかるので、歩道部分だけでも直してほしい。1歳と小学生低学年の子どもがいるが、アリーナのキッズルームの小学生低学年も利用可能にしてほしい。親が一人で兄弟別に遊ばせられない。	38	女性
91	一人で3人を見なければならぬ。親も92歳なので大変。	70	女性
92	公共交通機関が少ない。近所にスーパー等が少ない。	81	女性
93	高齢の母と外出の際、車を取りに行くときなど誰か見ていてほしい。	54	女性
94	車での外出。	82	女性
95	急な外出の時に母を見てくれる人がいない。	74	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事が「良くある」または「ときどきある」と回答した方の困ったり不便を感じる事例。【自由記述】	年齢	性別
96	足が悪いため段差につまづく。市電やバスの乗り口が高いため困る。	68	女性
97	買い物や風呂のとき。	67	女性
98	公共交通機関が少ないので移動が大変。授乳室のある施設が少ない。	36	女性
99	子どもを遊ばせる場所が少ない。	37	女性
100	外出時、バスは使えないので、タクシー助成がほしい。	65	女性
101	公共交通機関が少ない。	53	女性
102	おむつ換えができる飲食店や施設がない。(最近はかなり改善された)子連れだと観光地でも飲食・休憩など不便は多い。	42	女性
103	乗り物。	86	男性
104	交通機関が少なすぎる。	83	女性
105	親の面倒と子育てで心の余裕がない。	50	男性
106	周囲との関係。子どもの声を煩わしく感じる人もいるし、子どもにもあまり窮屈にさせたくないので板挟みになる。	35	女性
107	子どもが病気で車椅子だが道路のデコボコが大変。	72	女性
108	授乳室が少ない。	23	女性
109	道路の段差、デコボコ。	53	女性
110	車が無いためバス利用だが本数が少なく不便。乗り継ぎも余裕が無い。	48	女性
111	休憩時のイスが少ない。	56	女性
112	交番が減ったし、警官不在が多い。公衆電話が少ない。子どもだけの外出時に気になる。	41	女性
113	勤務中の預け場所。	40	女性
114	子どもが遊ぶ場所が少ない。	45	男性
115	公共交通機関が少ない。	64	女性
116	子育てしていますが、おむつ替えの場所はあるが、授乳できる場所が少なく感じる。	70	女性
117	受診時待ち時間が長いので疲れてしまう。	54	女性
118	交通機関が少ない。坂が多いので歩きづらい。	53	女性
119	外出先に清潔なおむつ交換台か授乳場所が少ないと感じる。スーパーなどでベビーカートが少なく、わかりづらい場所にあることが多い。	28	男性
120	携帯電話を持っていないので外出時の連絡に困る。	80	男性
121	夫が病院に通院中のため色々あります。	77	女性
122	交通手段が少なく、行きたい場所へスムーズに行けない。バスの本数も少なくわかりづらい。	38	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事が「良くある」または「ときどきある」と回答した方の困ったり不便を感じる事例。【自由記述】	年齢	性別
123	<ul style="list-style-type: none"> ・下の子どもが入院した時の上の子どもの世話。病院には子どもは入れないことになっているし、夜、子どもを連れまわすのはよくない。結局一人で家で待たせることもあった。 ・自分が体調が悪い時。(受診) ・上の子どもの行事のとき。 ・買い物するとき。 ・仕事が夫婦共に遅くなった時の夕食。 ・色々な手続きなく、少し預かってくれるところがあれば本当に助かります。 ・地域に子ども食堂のようなところがあればとても助かります。 	38	女性
124	<p>駐車スペースが中々ない。車いす用。車いす用のスペースの上にコーンがおいてある。止めるなということか。</p>	49	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
1	町会費1ヵ月300円 ¥500にしてまともなことをしてほしい。	59	女性
2	転勤で来ましたがとても良い町ですね。	39	男性
3	地域での交流の場を増やしてほしい。	50	男性
4	小中学校を利用した、お年寄りの活動や児童との交流。場所。(お年寄り、定年退職者が定期的に活動できる)	53	女性
5	自治会、民生委員、在宅委員の方々、本当に働いていると思っています。	81	男性
6	地域福祉については、民生委員や在宅福祉委員の活動について、活動内容やまた活動しているかもわからない。こういうことであれば相談することは出来ないと思う。コーディネーターについては、デイサービスを行っている所に置いた方が相談しやすいところもあるのではないかな。	58	男性
7	デイサービスを利用できる以前の人に気軽に交流の場があると良いと思っています。	85	女性
8	自治会長をしておりますが、他の役員は全て後期高齢者ばかりで後継役員が見つからず、今後の自治会活動が先細り及び今後の存在意義について「大きな？」が有り大変不安に思っています。	63	男性
9	(問16)自分自身全く知らない事ばかりです。自分でも無関心で申し訳ない気持ちですが。行政の方面からも、ぜひアピール等していただきたく思います。	53	女性
10	各地域のことを函館市で管理等するのはむずかしいと思う。ただ、高齢者が多くなっているのでも小さな市道の除雪・排雪をもっとやってほしいです。あと、今回の調査に関係のないことですが、函館市役所、企業局に勤務している方は、函館市に住むことを義務にした方が良いと思います。(北斗市、七飯町に住んでいる方がいる様です。)	40	女性
11	前問で「殆ど知らない」項目が9つ。「全く知らない」が2つありました。自分の不勉強がその要因ですが、市政はこたてや道新販売所便りなど、いろいろな場面でのPRも必要ではないかと感じました。	80	男性
12	問16の法律・制度・条令が具体的で相談したい時の問合わせ先の周知。介護の家族が出た際に、仕事に支障が出る事が多く支援が必要。介護対象でなくても(程度)、実際は一人で行動させる事が出来なく、収入や生活に不安を感じる事があり、現役世代への支援も必要だと思えます。	未記入	男性
13	今は何も有りません。満足してます。	78	女性
14	精神障がい者にも、色々あると思うが、自分の場合、デイケアなどは、逆に人間関係のせいで病気が重くなるので参加は無理。一人でひっそりと静かな毎日を過ごすことが予防になっている。何でもかんでも外出支援ばかり押しつけるのはやめて欲しい。	未記入	男性
15	いろいろな主婦の方々と連携して地域包括ケアの構築を推進してゆきたい。	67	男性
16	子供は地域の宝です。犯罪者から守る為、登下校時に時間のある人は家の前の道路に出て、立っただけで良いのです。子どもを見守りましょう。いわゆる見守り隊です。	61	男性
17	日中は仕事で家にいません。引っ越してきて5年くらいになりますが、町内会の人に来てくかどうかともわからず、活動内容などもわかりません。アパートの住人が入れかわっても挨拶などありません。表札もないので、どんな人ともわかりませんが会えば挨拶をする程度です。広報とか見る程度で市内のイベントなどがあればたまに行きますが、ボランティアなどに参加する時間など取れないのが現状ですね。	50	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
18	地域福祉の推進については、地域住民自ら福祉の推進に協力するという気風が必要だが、現状は自分の生活に汲々として町会役員、分区長、班長はじめ、民生委員、在宅福祉委員になり手が少なく、地域福祉の推進に甚大なる支障となっている。これには、従来、市が地域福祉の推進に積極的でなかった、現在も改善されたが、新居住者に町会加入をお願いすると、市民部に聞いたら町会加入は強制ではなく住民の自由だと言われたから加入しないというようなことがしばしばあった。現在は町会に加入するよう奨めてくれているが、住民そのものが地域福祉の推進に関与するという気概がなく、要求だけ突きつけてくるという風潮を行政が積極的に改善指導する必要性を痛感している。	86	男性
19	障がい者の両親を持っていた時、介護をしてたりしてた事、民生委員さんは、よく把握してくれていた様ですが、困った時など、全く市の組織がわかりません。	58	女性
20	少子高齢化が進行し、末期症状レベル。新しい考え、行動もほとんどなく、生活困窮者が増え続けて行くだろう。市の施策レベルで大胆な移住政策（市内での住みかえなど）等で市民一人ひとりが、より良いところに住み、よりよい生活ができる環境を創意工夫してつくって行かなければ明るい未来（像）は全く見えない。しかし、暗闇の中でこそ月や星の輝きがわかるように、ピンチはチャンス、ブラックホールもあれば、ホワイトホールの政策も見いだせる可能性はゼロではないのでは？	45	男性
21	近い将来、みんなが安心して暮らせる福祉制度を希望する。	49	男性
22	今の民生委員は違うが、前の民生委員は人のうわさばかりしており、とてもではないが相談する気にはならず。	47	男性
23	町会も少子高齢者が多くなりました。子供さん方々が函館で仕事する所が無いのでしょうか、解りませんが。昔の様に二世帯がおりません。冬の雪かきは苦勞です。自分が健康の中は良いのですが、体が弱くなった時（雪かき）心配です。	80	女性
24	資金面である程度のサポートがあればと思ったりもしています。	25	女性
25	堀川町では、年間通して様々なイベントや祭り、子育て世代に向けて取り組んでくれており大変満足しています。今後も同じく活動して欲しいと思います。	25	女性
26	障がい者が安心して暮らせる社会のために考えてほしいと思います。	56	女性
27	何事も個人の意識がきちんとならなければ広まらないし定着しない。	52	女性
28	・自宅近くにスーパーがないと買い物が不便で困る。 ・若いときは考えていなかったこと（親の身体のことや年金、車の運転など）が年を取ると「こんなにも大変になってくるんだ」と現実的になって将来が不安だ。 ・町に若者や子どもが少ないと活気もなくなるし、町が成り立たなくなる危機感がある。	40	女性
29	離婚した時、仕事も見つからず生活に不安を感じ市役所に相談に行きました。その時の担当の人が不親切で扶養手当など医療費受給者証が使えるのを大分たって引っ越ししたときの住所変更時に市役所に行ったときに知りました。なかなか相談しづらく行きたくない自分で何とかすると思います。担当の人により対応が違いすぎる。	42	女性
30	自分の住んでいる町会で老人達の楽しむような事を年2度位でもあれば良いと思っている。	80	女性
31	世代間で色々な考えはあると思いますが、老人世帯も子育て世帯も共に協力できる福祉環境があると良いと思います。地域的に異世代間の交流はある方だと思いますが、より細かな交流が必要になってくると思います。	47	女性
32	若い世代（中学生など）に地域福祉の大切さを授業などで教えて若い人にも興味を持ってもらった方が良いのでは。	47	男性
33	地域の中でも収入や時間に余裕がないと福祉の仕事・ボランティアはできないと思います。子育て・介護・仕事をしながらそれぞれが活躍できるよう頭数を増やしてお互いが助け合う町にできればと思います。	49	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
34	この意識調査を十分に生かして地域福祉の向上を目指してください。よろしくお願いします。	43	男性
35	親と同居なので介護について知りたいです。	57	男性
36	このアンケートで何をするのか？また今まで何を展開してきたのか？このアンケートに意味があるのか？アンケート調査にかかる予算を別な用途に使用しては。	59	男性
37	バスの本数が少ない。(特に夕方～終バスまでの時間帯)	20	女性
38	子供やお年寄りが共に集まり共に活動出来る場をもってほしい。編み物やコマ、お手玉など昔の遊びをもっともっと子達に伝えていきたいので。	33	女性
39	町会に入りたいと思うが時間的に余裕がなく、また訪問してくれているかも知れないが共働きのためお会いしたことがない。町会費だけでも良いのであれば払いたいと思うがその機会もない。とても残念です。	40	女性
40	タクシーの運転手をしていますが、道路の穴、デコボコがひどいので何とかならないものかと思えます。町会に言うとお対処してくれますがパンクしたり穴にはまったりしないと誰も連絡しません。定期的に町会がチェックできないものでしょうか？	58	男性
41	若い人が高齢者や不自由な方をいつでも助けられるような環境づくり、ボランティア活動などを行って欲しいと思えます。(コミュニケーションや簡単な遊びなど)	未記入	男性
42	現在、NPO法人にお世話になっていますが、介護度が進むとお年寄りと同じデイサービスへ移るようになります。諦めてはいますが、同年代の集まっているデイサービスでもあればと思えます。	57	女性
43	現在、高齢者人口はどんどん増え続けてます。そして利用施設も多種出来て有り難い限りですが、誰にでも利用しやすい金額の老人施設を増やしてほしいものです。「老人うば捨て山」にならないように！	70	女性
44	どこの町会も同じでしょうが後期高齢者が多く私も役員何十年も携わっています。昨年78歳の奥さんが近所で亡くなり本当にショックでした。しばらく顔を見ないと近所でお互いに声をかけあっております。また空き家が多く子供さんがどこにいるかもわからずごく不用心です。	75	女性
45	町内会に入る人と入らない人があって不公平に感じる。雪かきも市の車でのがほとんど入らない。左右1本向こうの道は頻繁にはいるのに。	58	男性
46	知らないことが多いので色々な周知をもっと推し進めるのも良いのかも知れません。例えば地元のコミュニティラジオFMいるかを使うなど事あるごとに市の考えを多くの市民にしつこいくらい繰り返し伝え、訴えていくのも良いと考えます。	50	男性
47	町会役員、在宅福祉委員を担っておりますが、ボランティア活動の役員のなり手、後継者不足で困っております。少子化、高齢者が多くなり若い人は共働き家庭が多いのが原因かと思えます。函館、地域の活性化を望みます。	77	女性
48	子育て環境のさらなる推進を期待しています。	33	女性
49	経済的に余裕がない家庭の子供達は塾に行けなかったりするので、ボランティア等で勉強を教えてくれる人、場所が函館には少ないので増やして欲しいです。	46	女性
50	町会、包括支援センター等が企画する行事に参加させていただいております。年々出来ない動作が出てきますが外に出て人とつながっていきたく思います。	79	女性
51	町会加入が少なくなっています。町会内にいる人がみんな町会に加入してもらいたい。	66	女性
52	法律で決まった事ではありますが、介護保険制度そのものに大きな疑問をもっております。	83	女性
53	各町会の役員不足が問題になっていると思うが、なにかしら力を貸したいと思っている人がいると思う。後継者をつくるための取り組み(引継ぎをした後のサポートなど)や工夫が必要です。	43	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
54	町会を新しい体制のコミュニティに再開発してほしい。このままでは老人のためだけの運営になり益々弱小化する。町会費の内訳に街灯費とあるが、これは函館市で出して欲しい。防犯上必ず使わないとならないものなのに町会が半分出しているのは不自然のように思われる。または町会費を払うのを市民の義務化にしてほしい。そして各家庭で振り込みにして班長の集金はやめてほしい。10戸中2戸しか班長を引き受けないため、1年おきに班長をしなくてはならずとてもストレスを感じます。ボランティアの気持ちをもありやっているが、今時ナンセンス。せつかくある町会を新しいかたちにしてほしい。	54	女性
55	ボランティアの種類やもっと身近に詳しく情報があれば手伝える事を考える機会も増えると思います。	49	女性
56	高齢者や子ども、子育て世代へのサポートに関する情報等はよく見聞きますが、障がいを持つ方や引きこもりになっている成人以降の人へのサポート体制など少なく感じます。家族に引きこもり中々社会生活に足を踏み出せずにいる35歳の男性がいますが、この先その両親のサポートを得られなくなった場合に備え、一刻も早く1人の人間として社会生活を送ることができるよう地域からの働きかけも必要だと強く感じております。 家族としてできる限りの働きかけをしている現状ですが、中々難しく家族としての対応には既に限界を感じています。引きこもり特に生産年齢人口にあたる人々の引きこもりが最近になり社会問題化されていますが、高齢化社会を支えるこれらの人々を支えていけるよう社会復帰を促すことこそ高齢者サポートにつながるのではないのでしょうか。目に見えている問題ばかりではなく、なかなか表に出てこれられない人々へスポットをあてたサポート体制を充実して頂けることを心からお願いしたいと思います。	35	女性
57	災害時、自分が住む地域のどう行動するかという具体的なマニュアルはあるのかわからない。防災においては、ハード面ではなくソフト面のレベルを上げることが何より重要であると考えてるので、災害時各地域においてどのような行動を取るべきか具体的なものを提示すると思う。(避難場所、経路等、それらを回覧板で定期的に知らせる等)	41	女性
58	一人で暮らしていても何事も心配なく生活できる世の中であってほしい。	76	男性
59	ほとんど近所でもあいさつ程度の付き合いになっている。近所にはお年寄りも住んで(一人で)いるが、もう少しキチンと見守りの出来る様な事があると良いと思う。デイサービスに行っていない年寄りもいるので、1日一杯孤独な人も近くにいる。車も手放し、バス・タクシー等しか移動手段が無い。冬(今年は特に)の雪(屋根等の雪)の除雪等。交通の不便さがあるので陣川町近辺は今後年寄りは大変です。	52	男性
60	「誰でもどうぞ」というスタンスで子ども食堂や子育てサロン、高齢者サロンなどがあり、最初の一步を踏み出しやすいと地域の人も集まりやすいと思う。集まる場所があると世代間交流や地域の課題が自然と出てくる、見えてくることもあると思います。また、その課題を町会や行政に伝えてくれる役割の人もいるといいなと思います。	39	女性
61	新聞で自殺の報道を目にすると心が痛みます。ここ何年かは減少傾向が続いているようですが、まだまだ多くの方が亡くなっているのが現実です。電話相談でも人手不足で対応できない状況があるなど防止するのが難しいという記事を読んだことがあります。辛抱強く活動を続けられ歯止めとられることを願っています。	68	男性
62	孤独死が一向に絶えない。	31	女性
63	市の財政が厳しい状況だということは良く耳にします。函館市の生活保護の対象者が多いのも良く聞きます。なんとか不正や無駄を省いてほしいです。	46	男性
64	高齢者の方の相談窓口があることも大切だと思いますが、障がいのある方の相談窓口や入所施設なども充実させていただきたいと思います。また、ヘルパー不足も目立ってきているため、人材不足も解消できるような政策もお願いしたいと思っています。よろしく申し上げます。	24	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
65	将来、自分の経験をいかし住民の為、差別のない社会のためにつくしたい。	76	男性
66	函館での人口減少の中、地域社会での交わり方が希薄になっている中で、高齢者の増加で若者の減少と逆三角ピラミッドの型に対して行政と住民の在り方(又何をやるか出来るか)を徹底して議論をしてもらいたい。	59	男性
67	私は障がい3級で要支援です。昨年9月より特定目的住宅に移りとても良い環境で安心しておりましたが、冬の雪かき除雪には大変苦労しました。今のところは老人が多く私などは年が若いので当然のように思われております。お願いです高齢住宅特定目的に入居しているのは身体の具合、歩行困難者が多いのです。市の方で除雪をして頂けないでしょうかよろしくお願いします。今まで腰を3回手術してこの冬で悪くなり4回目の手術になりそうです。	63	女性
68	個人情報保護法が近所の住民に対する支援活動の妨げになっていると思われる。	69	男性
69	函館に居住して10年にも満たないため、当該意識調査の趣旨に適うか分かりませんが、住んで感じる事はずいぶん朽ちた木造の空き家が多い印象です。防災上危険であり、また野良猫が住みついたり不衛生を感じています。毎冬思う事ですが、雪の多少にかかわらず、除雪より排雪を積極的に実施していただきたいと強く願います。(予算の問題というならば予算の仕組みを抜本的に変える考えも必要では?)よく除雪作業があった時に横断歩道を塞ぐように氷塊雪がおかれている状況を目にします。大変危険ですので作業を委託する施工業者には丁寧な仕事をお願いしていただきたい。	59	男性
70	函館市が住民のために、何をしているのかわかりません。生活の上でインフラ等不満です。このアンケートだって役に立つのでしょうか?もっと目に見える住民が相談しやすい開かれた窓口を作ってください。	51	未記入
71	町内に住んでいる災害時などに支援等が必要な人を各町会で把握し、いざという時に手助けができる方法を考える。各障がい別や認知症について知識を住民が学べる機会や方法を考える。	53	女性
72	取り組みとして非常に良いと思いますが、高齢者が増えていく中で函館市内の町の中で考えると格差が生まれてくるのかなと思います。人口が減り、若者が北斗市等北よりに推移していく中で先に若者も住みやすい町づくり市づくりをしてみてもは?	34	男性
73	ボランティアなど興味はあるのですが、どうやって参加したらいいのかとやり方がわからない。自分の出来る範囲で町内の役とか引き受けてやっていますが、これから自分が受ける立場になると思うのでどういう場があるのかを知りたいと思います。人生長生きになってきているので、元気ならばお役に立てると良いなと思っています。	69	女性
74	高齢化社会において行政の果たす役割は大きいと思う。身近に助けを求めやすい環境作りの為には、地域の横のつながりと縦のつながりが重要である。横のつながりをスムーズにすることによって住みやすい地域社会になるのではないかと。一人一人が自分にできることで社会に貢献していければ良いと思う。	66	女性
75	近所の皆さんはほとんど老人世帯です。冬の雪かき家の周りの片付け、体力を使う仕事はついつい後回しになっています。私の住んでいる地域も空き地が増え防犯など心配です。	68	女性
76	町会館・公民館等、広い集会場が地域に必要と感じる。子どもから大人まで一緒に集まりスポーツ、読書、習い事ができれば。	69	男性
77	町会について、近所で何軒か入会拒否している家があり、街灯設置の可否などの問題があるようです。働いている世代は班長すら担当するのが仕事との兼ね合いで困難なことが多く町会を実際に運営している人たちはかなり高齢化しているようです。	52	男性
78	函館の広報誌を見ているはずなのになかなか欲しい情報はなかったりする。WEBページを充実させて家にも情報が見られるといいなと思いました。子育て世代としては、子どもと安心して遊べる場所(駅前のキッズプラザのような)が増えることを、病院保育の施設が増えること、ファミリーサポートの充実を願っています。	38	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
79	誰もが気軽に参加できるもの、行事があればいいと思います。	60	女性
80	私の家の周りは観光地です。家の隣にホテルの駐車場があり、ホテルの従業員は清掃しないのでゴミがありいつも汚いです。観光地なのに恥ずかしいと思っています。また、道路の生け垣には観光客の捨てたゴミがよくあります。朝人力車のお兄さんが清掃していますが、もっと何か出来ないかと思っています。西部地区の住民に手伝ってもらってきれいな地域にしてはどうでしょうか。	57	女性
81	広報誌等、地域福祉の推進に関する情報の発信はしていると思いますが、一目見ただけで何に関するものなのかもっと見やすい編集にして欲しいです。(HP含め)ご年配の方や未成年の方でも手に取ってみようと思う、読もうと思うものにしなければ労力ばかりかかり、地域福祉の推進にならないと思います。	33	女性
82	予算等の制約もあるので行政に過度な期待も出来ないが、函館に限らず市行政は腰が重い、対応がスピーディでない印象。たらい回し、ある職員には特権意識持っている者もいて公費としての意識が希薄です。とにかく情報発信が少ない。仕事をしていない者が多い。	53	男性
83	大分良くなったけど弱者に良くない世の中です。少しでも改善をしてほしい。	44	男性
84	隣近所との交流が大事なのですが、それがなかなか出来ない人が多くなってる。自分が良ければという人が多くなってきて町会にも入らない人が多くなっている。	74	男性
85	函館市民の為によりしくお願いします。より良い福祉社会となるよう活動してください。	55	女性
86	函館の大学を卒業し、就職活動を行いましたけどほとんどの企業の初任給が14~17万程度。現在は英語教師として留学のキャリアを生かし教育活動を行っておりますが、特に函館の教育熱は低いと感じています。良い仕事が見つからずに若い世代が他の地域に引っ越してしまう現状があると思います。また音楽活動においても函館市は他の地域に比べあまり温かい目で見てもらえません。青森のように「祭」を大切にする地域は生き生きとしています。函館市の祭りやパレードは衰退気味と感じます。重労働の介護士の給料も低く地域社会に必要な福祉が整っていないと感じています。	29	女性
87	地域が地域としての形を消滅しつつある。あと数年もしたら超高齢者しか住んでいない町になる。町の再生を考慮したまちづくりをしなかった結果である。いずれ函館は函館として成り立たなくなると感じている。	68	男性
88	義務と権利両方を植えると良い。生活保護を受けたら労働を義務化する。一人一人できる労働を見極める必要があります。税金からでる費用であれば義務と権利は同等で与えられるべき。地域の高齢者のお世話をするという仕事を分担できれば互いに豊か。	54	女性
89	町内会に入ろうと思っていたが、連絡も通知もなくよく分からない。	33	女性
90	害虫、害鳥駆除。段ボール回収。転入前は市で行っていたので不便だと感じることもある。	29	女性
91	町会の仕事が面倒くさいという理由で隣近所は誰も加入していない。最近、区長さんだったお宅がいつの間にか取り壊され更地になっていた。今の区長が誰なのかわからない。町会に入っている意義がわからなくなる。	47	女性
92	年々高齢化が進み、担当している委員も高齢化となっており、他から移動してきた人が町会に加入するような条例を制定すべきである。	未記入	男性
93	最も不幸な地域とは人との関わりがない地域だと思います。お節介でもイベントや行事などに連れて行く(連れ出す)ことが必要と思いますが、その行事が少なかったり、周知されていないのが問題です。町内会まかせも良くないですし、市まかせも良くない、個人まかせも良くない。その仕掛けを作る仕組みが今大切ではないでしょうか。	40	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
94	①日吉町在住ですが、美原・赤川方面で色々な催事なりが多数あるようですが、参加するにしてもバス停の便が不便。五稜郭や市中心部のバスが余計に多い。時間帯の設定等にも不便さがあります。 ②地域福祉にしても今のところ町会をただ利用している様にも見受けられ、函館市としての宣伝力が不足か投げっぱなしのような事業が多く見受けられます。 ③上記同様ボランティアに参加するにしても内容がわからず受付の場所も不明。それと手続きがややこしく面倒くさいという話しも良く聞く。なお当調査を貯め込む事なく一般市民にも必ず発表してください。	77	男性
95	民生委員の知り合いが仕事や役割が多く大変と言っていました。	42	男性
96	七飯みたいに合同で入れる墓を作りたい。函館市民が安心して金額も安い合同墓がほしい。ぜひ作ってください。	57	女性
97	自分は第26方面民生・児童委員を7年ぐらい委託されているので大体福祉のことは勉強させてもらっています。	64	男性
98	函館市の超高齢化社会どう手を打っていくのでしょうか？安心して年を重ねることができる街は夢物語か。近い将来が不安だらけな人々が多いのではないのでしょうか？さてどうしますか	54	女性
99	福祉委員等や町会の推進は地域の協力や市や社会福祉協議会のバックアップが必要。	78	男性
100	各相談員（特に民生委員）の自覚の欠如で相談者の内容書類を他言することが多く相談できない。相談は専門職を利用する、もしくは相談せず泣き寝入りする。	45	男性
101	自宅新築のため、今の町に住み始めました。子どもも中学生での転校でありましたし、自分もフルタイムでの仕事を始めたため、周りとの付き合いがほとんどありません。しかし、これからは夫婦2人暮らしですので地域福祉に関心を向けなければ考えております。自分自身に関係しないと関心を持たないということに反省しています	59	女性
102	昔、生保世帯について生活費は振り込みではなく役所で手渡ししていた。本人の生活態度等しっかり見て欲しい。ギャンブルやアルコール依存の方達には税金を使って欲しくない。毎年1回役所に行き、申告の手続きをするようにしたらどうでしょう。	74	女性
103	民生委員をされていて一步を踏み込めない事があるのでもどかしい。	67	女性
104	児童、若者、高齢者の三代が集結する機会を数多く設け、今の問題に取り組み、またレクリエーション等によってより親近感を持ってもらう。特に児童や若い人は学校、職場で時間を取りづらいつとるを市として職場や学校に時間を積極的にいただく。三代に意味があるように思う。児童も若い人も各町会で義務で参加してもらおうシステムを作ってはどうか。	65	女性
105	介護保険金の個人負担は現行より少なくならないものでしょうか？（現在の生活を続ける者の要望です。個人負担が多くなると生活が苦しいです。）	82	男性
106	世代を超えて助け合える社会になったら良いと思う。	68	女性
107	今は皆賢くなり、お節介な人情派の方々がいなくなりました。私も若いときはちょっと迷惑だなと思っていましたがそんな方が必要かとも思い直しています。見守るだけでは内情はわかりません。地域の民生委員は良い人でなく迷惑な人情派を目指しても良いのかなと思います。心が折れることもあるかと思いますが、それが役割と思ってください。利用しにくい成年後見制度は必要ありません。制度を作っても本人を知りません。財産も食べられるだけです。他人に食べられるなら身内に取られても納得します。	64	女性
108	委員活動が長年続く場合はマンネリ化を防ぐために同一町内の民生委員間において受持担当地区を交換させる等の方法をとるべきと思う。	78	男性
109	身近なところから自分ができる事から協力していこうと思っています。	59	女性
110	地域住民が高齢化して各地域（町会）単位の事業が難しくなっている。若者が参加できるような対策および実施の支援を考えてほしい。	79	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
111	地域福祉は行政は無論のこと地域住民がその地域の特徴や状況を把握しておりその拠点が町会や自治会であると思う。しかし、現状高齢化が進む一方役員の担い手が不足して活動が限定的になり活発な行動に繋がっていないのでこの辺を改革する必要があります。地域福祉は居住地の住民にとって最も大切なことですから。	72	男性
112	この地域に住んで69年に、生まれた時から住んでいます。函館山の麓、西部地区は本当に素晴らしい地域です。高齢者が増えましたが皆心温かい人が多いです。また生まれ変わるならこの地域が良い。自分の地域を愛せることが幸福です。ギブアンドテイクではなく自分は人のために何をやっていけるかそういう人間でありたいと思います。	69	男性
113	時間があれば地域の活動に今後参加してみたいと思います。	49	女性
114	IT化の時代になり子どもが外で遊んでいるのをあまり見かけません。自分が子どもの頃は毎日ほとんど親の見守りもなく近所の公園で遊んでいました。伸び伸びと育ったと思います。「地域で子どもを育てる」というのがとても必要ではないでしょうか？町内会でなにか遠足をやり、親が来られない子はボランティアが付くとか。その中で自然のあり方や大切さ世代の違う人との付き合い方等学べる機会があれば良いのだと思います。	52	女性
115	函館市各町会にも市職員が多数住んでいると思います。町会の行事やボランティア活動にほとんど参加者がいません。市としても参加する事を個人の意思ではなく呼びかけを願います。	80	男性
116	民生委員をやっています。手にあまること不安な事があると包括支援センターの方にSOSを出しては何か乗り越える事が出来る事も。身近にそういう頼る事のできる方や場所があることが色々な活動をしていくうえでとても有り難い事だと思っています。今後もっとそういう機関があってくれればと願っています。	70	女性
117	除雪をもう少しちゃんとしてほしい	30	女性
118	ボランティアとは有料、無料関係なく活動する気持ちの問題だと思います。最近特に民生委員の行動が気にかかります。一部の町会かも知れませんが地域の方から嫌がられる委員であってはならないと思います。	77	女性
119	若い人は仕事で留守、高齢者はあまり出歩かない。プライバシーの問題もあるので中々近所の様子がわかりにくくお世話をしたくても各家庭の内情がわからない、はがゆい所です。	76	女性
120	地域福祉に関しては若いときに関心がないので分からない事が多い。親の介護が必要な時にどこに相談し、市からどのような援助が受けられるかもっと分かりやすくSNS等を活用し広めて欲しい。近所付き合いも無くなっているので1人で抱え込んでしまい追い込まれてしまう可能性があると思う。そのような事件が最近見かけるようになってきているので函館ではそんな悲しい思いをさせる市民を増やしたくない。	36	女性
121	少子高齢化が進む若松町は市の中心であり観光事業は具現化しやすいが地域に住む住民は活動を担う人が不在で支えづらい。行政にも限界があると思うが、市民全体で支える仕組みがあると良いと思う。	58	男性
122	高齢者の方はぎりぎりまで自力で生活すると良く耳にする。介護が必要になる前に何かしらの手当が必要ではないか。高齢者の健康寿命を大事にして欲しいと思う。	45	女性
123	夏場以外にお祭りなど子どもが参加できるイベントを増やして欲しい。そのようなときのボランティアの募集などもわかりやすく告知してもらえれば良いと思う。	32	女性
124	行政や公的な施策では対応できない事が増えている。解決についての地域の役割が重要な場面が増えている。	71	男性
125	地域福祉に関してはあまり認識がないが、除雪の件ではボランティアの派遣等を考えてみても良いのでは。	30	女性
126	町会の役員が長くなりすぎて運営に支障がある。	79	男性
127	ボランティアをしているが対象者ばかりでなく自分自身も元気をもらっています。	76	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
128	行政と地域の関係をもっと強化する必要がある。町会も高齢化が進み活発な運営が困難になっている。	81	男性
129	町会運営に協力してくれる若い人がいない。ボランティア活動も高齢者が多いので大変です。	76	女性
130	町会の運営が高齢化で厳しくなっている。	73	女性
131	地域の人がお互いに尊重し若い世代にも興味を持ってもらえたら嬉しいと思う。	61	女性
132	自分は最近発達障がいだとわかったがそれでも大丈夫だと思えるような地域になってほしい。	59	女性
133	町会加入者を増やしサポートを必要とする方に寄り添う。	75	女性
134	市の職員の採用について市内在住を条件にする。	80	男性
135	幸福度の高い海外の制度を見習い行政、住民、企業の連携を図る。	67	男性
136	民生委員は各町内にいるのは知っているが、もっと増員しても良いのではないか。	78	女性
137	設問が難しいので疲れた。	80	男性
138	高齢者は地域福祉の必要性を理解しているが知識がほとんど無いので将来地域福祉に理解のある人がいなくなり地域福祉が成り立たない。学校教育の一環として福祉の必要性や知識を付与すべき。	65	男性
139	札幌市では町会加入条例を推進しているという記事がありました。函館市も検討してはどうか。	65	男性
140	屋内で無料で遊べる施設がほしいです。どんな季節でも子連れで行ける場所がほしい。	29	女性
141	町内に気軽に利用できるサロンのような相談所が欲しい。以前市役所に相談したが、家族のことで悩みがあり解決に至っていない。	56	女性
142	近所の交流よりも近所の苦情に対する取り組みも必要ではないか。	40	女性
143	地域の課題は、民生委員、在宅福祉委員、町会などから包括支援センターに相談され行政でも集約しているはず。	30	男性
144	観光地として駅周辺に空き家が多い。市内中心部に住めるよう計画すべきでは。	40	男性
145	365日間問合せ出来るようにしては。日中仕事の人には今の体制では問合せ出来ない。	47	男性
146	情報を取るのには全てネットなので知る機会がない。SNSなどで情報伝達すると若い人も関心を持ちやすいと思う。	83	女性
147	地域包括支援センターと民生委員の活動がダブっていると思う。個人情報の問題があり踏み込めない部分もあるがおせっかいは今の世の中必要では。	77	男性
148	ボランティアポイント事業に参加しているが、施設の職員や入所者と触れあうとこちらも癒やされているので良い制度だと思う。	75	女性
149	高齢者が多くなり若者が町会への関心が全くないのが心配である。	76	男性
150	少子高齢化が進み、町会の維持も大変で手立てがないのが現状である。	62	男性
151	最近はプライバシーのため、民生委員の訪問が減っている。身近で相談できるのは民生委員だと思っているのだが今は名前もわからない。	86	女性
152	観光だけでは先が見えているので若い世代が定住できるようなまちづくりが必要。	54	男性
153	町会加入者に若い世代がいないため、活動が困難になっている。	72	男性
154	色々な制度があり知らない事が多かった。市政はこだて等で内容や活動状況を知らせて欲しい。	81	男性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
155	地域での助け合いやボランティアなどは大事だと思うが、今は地域でも自分の事で精一杯の人が増えている。みんなが広い気持ちで協力していけば暮らしやすくなると思う。	46	女性
156	民生委員の選出方法が不透明であるため、もう少し検討した方がいい。	79	女性
157	町会事務所へ勤務して5年くらいになるが、もっと在宅福祉のこととかを覚えたいと思う。	72	男性
158	町会からの脱会者が増えている。	59	男性
159	直接意見交換した方が具体的な結論が出ると思う。	78	女性
160	近所同士で安否確認、イベントへの積極的な参加、介護に関する意識啓発などが増えると良いと思う。	71	男性
161	自分は地域にお世話になっているという意識、地域の中で自分の出来る事を見つけて積極的に取り組むこと。	82	男性
162	実際に関わらないと分からない事が多いと思う。	57	女性
163	最近是不審者が多く子どもの通学が不安。街灯の色を青色にして犯罪率を下げる等の対策が必要。	35	男性
164	地域福祉の推進には公的機関の活動にも限界がある。身近な問題等については、町会活動が有効と思うが高齢化の問題で活動の幅が狭まっている。地域ではまだ担い手になりたいと考える人は多いはずでお手伝いするなどの形で工夫するなど考えるべきと思う。	76	男性
165	介護する側とされる側のコミュニケーションの場をもっと広げて欲しい。	39	女性
166	単身高齢者、空き家、子どもの安全通学等問題が多いが情報が少ない。広報誌等もわかりやすい工夫をしてほしい。	73	男性
167	地域福祉に関わる人の中でも適切な対応が難しい。人によっては良いことでも別な人には迷惑な場合がある。	50	女性
168	今は65歳以上が高齢者と呼んでいるが、体力的にも今後は70歳以上からでもいいのでは。	83	女性
169	個人情報のしぼりがきつくて福祉活動が難しくなっている。町会も役員等が高齢化や後継者がいなく少数の人に負担がかかっている。町会のあり方を根本的に考える時期に来ているのでは。	71	女性
170	地域福祉について今まで考えたことも聞いた事も無い。ただ最近が高齢者の単身世帯が増えているように思う。自分も夜中に具合が悪くなったときに不安になる。	52	女性
171	子育ての環境が悪く子どもを持つ家庭が減っていて子どもがいないのが当たり前になってしまっている。地域皆で育てるような広い心でいてほしい。	34	男性
172	人口減少のため、町会活動に支障がでている。役員のなり手もないため1人で二役、三役もやっていてボランティアの域を超えている。行政で立案したものも町会に流すだけでなく住民を動かすまで考えてしてほしい。	75	男性
173	ひとり暮らしが多く、また空き家も多いため強風が吹けば怖いです。	75	女性
174	働く世代にもっとやさしい社会にしてほしい。自分達の生活が安定しないと地域福祉など考えられない。	47	女性
175	自分が健康であることで地域活動に参加できる。仲間や他の団体と協力して安心安全な生活を送りたい。	80	女性
176	福祉活動は多大な労力と時間が必要です。また高齢者ばかりが参加している現状を何とかしないといけない。市の職員が毎年200～300人位ボランティア活動に参加するなど積極的な姿勢を見せてほしい。	75	男性
177	先日ある町会の活動を知りすばらしいと思った。他町の人や町会未加入でもいいので誰でも参加できる行事を行っているのはすばらしいと思った。	78	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
178	市政はこだてや行政の案内を見ると専門用語が多く内容が分かりづらいので興味が持てない。協力もしたいが独身や親子2人という理由で協力できないこともあり何とか見直ししてほしい。	42	女性
179	子どもや高齢者に優しくないので未来がない。近隣市町の方が暮らしやすいのでは。観光ばかりでなく市民を大切にしてほしい。	30	女性
180	転勤の多い職場なので地域福祉に関わることがない。	48	男性
181	町会や民生委員の若返りが課題。在宅福祉委員も兼ねているので一般市民が参加しづらい閉鎖的である。	77	男性
182	福祉活動はどこまで生活の中に立ち入れれば良いか難しい。個人では出来ないことも多いですが頑張ります。	73	男性
183	自分の町は街灯が少なく防犯上からももう少し明るい町になればいいなと感じています。	45	男性
184	町会は財政的に苦しいので学校の統廃合なので余った備品は優先的に回して欲しい。	68	男性
185	若い人が生活できる仕事があれば良い。個人情報保護が交流についての大きなネックとなっている。個人の情報がわからなければ何も手が打てなくなる。	70	男性
186	地域福祉の推進には町会・自治会は絶対に必要です。行政は組織の充実に取り組んでください。	78	男性
187	中嶋廉売という良い場所があるのに活気がない。色々なイベントをしてほしい	46	女性
188	町会役員のみならず手不足や会員の減少で今のままでは成り立たない。市の金銭的な助成だけでは維持できない。	81	男性
189	子どもが外で安心して遊ぶ場がない。大人もあまり外に出ない。	70	女性
190	町会の会合でも、清掃活動や役員会ぐらいでもっと市からの行事等の情報提供があれば良いと思う。	80	男性
191	町会の会合に、年に何回かでも市や福祉関係の人が参加して話しをしてくれる機会がほしい。市から住民に伝えるためにはそのように具体化してほしい	81	女性
192	色々な立場の人がいるが、福祉を受けるばかりでなく自分の出来ることを少しでも役立てるよう1人ひとりが心がけていくような社会になってほしい。	66	女性
193	自分の地域は子どもや高齢者が多く、夜間は人気なくなる。夜中に仕事から帰るとき不安だ。また街灯が少なく路地裏は真っ暗になっていて心細い。地域の見守りを強化してほしい。	28	女性
194	もっと市が一般市民に広く福祉等の事を知らせる努力が必要。相談窓口等がどこにあるのか分かりやすいものをもっとあって良いと思う。相手を待つのではなく市からも出掛けはどうか	74	女性
195	この地域は、高齢者は外に出たがらないしあまり知らない人と話をしたくないと言われる。煩わしいこともあるだろうが一日中誰とも話さないのは良くないと思う。	63	女性
196	町会活動で公園の除草を行っているが、年々高齢者が多くなり大変な作業になっている。何か良い方法がないだろうか？	73	女性
197	近所に嫌がらせをする人がいるので、そのような相談窓口があったら良いと思う。あと、近所に引きこもり姉妹がいたり高齢者に雪かきをさせたりしている人がいるが、お礼はしているらしいがそういう話しじゃないと思う。そのような相談窓口もあれば良い	47	女性
198	この地域は高齢者が多く自分が一番の年下(71歳)。町会への参加者も減り組織を続けて行くことが困難になってきている。ひとり暮らしも多く防災・防犯に不安を感じる。	71	男性
199	ここ2~3年くらい町会に携わっているが、色々分かることで楽しく思っている。これからも皆と話しをしていきたいと思っている。	69	未記入
200	町会の高齢化が進んでいる。市役所等公的機関に勤務している人の町会活動への参加を望みます。	70	男性
201	函館空港まで市電を繋げて欲しい。	23	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
202	市全体で買い物や社会福祉施設が一部の地域に偏っているので施設等の分散を希望します。自分の地域ではコンビニまで歩いて10分かかる。これでは高齢者等の外出が制限されてしまう。	66	男性
203	地域福祉について興味がなかったが、今回のアンケートを機会に興味を持った。	21	男性
204	日吉町は道路工事などで歩行者には生活しづらい。	41	女性
205	法律・制度・条例など聞いた事もないものが多いので、もう少し認識しやすくしてほしい。	66	女性
206	計画は諮問のためだが、市民に丸投げではなく行政が積極的に関わっていくべきでは。その姿勢が見えない。	66	女性
207	昔は祝日時に町会に日の丸の旗を掲揚していて住民が何となく日本を愛する気持ちになって助け合っていたので、それをまた始めてはどうか。	74	男性
208	地域だけでは思うように行かないこともあるので、もう少し行政の助けが細やかになれば市民も手伝いしやすいと思う。若い人が少ない町会では特に感じる。	72	女性
209	どんなに立派な計画でも実践するのは人です。「市民健康づくり推進員」を委嘱されても一方的に負担になっているようなので廃止するとされた。このようなことにならないようにしてほしい。	88	男性
210	地域福祉の範囲は広いので計画ばかりの作成ではなく実践できるしくみが大事だと思う。福祉は誰でも関わっているものだが認識がなく、特別と思っている人が大部分であるため、そのギャップを埋める努力を市民も行政もするべき。	未記入	男性
211	北斗市のように子どもの医療費を無料にしてほしい。	38	女性
212	自分も在宅福祉委員や民生委員をやっているが、任期が長い人がいるが担い手がいないので仕方ないかも知れないが、年齢層も高く自分もずっとやらなければならないのか疑問に思っている。	72	女性
213	引っ越ししてきたが地域イベントなどどこで情報を得られるのかよく分からない。	39	女性
214	少子高齢化により高齢者を高齢者が見守る地域が増えている。地域や民間に手伝ってもらうのは幻想でしかないと思う。ある程度の報酬、予算を確保しなければ物事は進まない。	71	男性
215	少子高齢化が進んでいる中では、安否確認などは町会役員、在宅福祉委員、民生委員だけでは無理があると思う。何か良い方法はないかと考えてしまう。	58	女性
216	高齢者が多く若者が少ないため、高齢者の住みやすい環境ではなくなっている。町会やボランティア活動に若い人の参加が必要。	77	男性
217	思っているよりも誰でも実践できるものではないので、まずは自分の健康。行政が町会と協力できる体制をつくること。福祉は助け合いの精神がなければ成り立たない。	77	男性
218	高齢者が気軽に出入りする所があると良い。単身高齢者がたまに安い弁当でも食べられたら良いと安心です。たまには高齢者同士で楽しい時間ができるような地域になってほしい。	67	女性
219	子ども食堂について協力できることがあればと思っている。次世代を担う子どもが明るく元気に育つ世の中になってほしい。	70	男性
220	隣近所ともっと会話をする機会があれば良いと思う。町内会は子ども対象の行事がないので、もっと増やしてほしい。その為にも若い人の意見を取り入れて欲しい。	36	女性
221	子どもを遊ばせようとするが、不審者が時々でるので安心して遊ばせられない。	37	女性
222	法律や制度など詳しい冊子等があれば良い。どこに相談して良いのか分からない人もいると思うのでなるべく詳しい冊子がほしい。	42	女性
223	福祉に関する条例やサービスなど詳しく知る機会がほしい。	42	女性
224	介護系の仕事をしているが、福祉についてはよく分かっていない。情報公開は大事だがそれだけでは本人達に情報は入って行かない。開かせることが大事だと思う。	24	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
225	地域で高齢者が増えている状況で町会活動など無理にやらなくても良いと思う。お祭りや回覧板など大変になってきている。	45	女性
226	高齢化で地域力はあてにならない。健康寿命を延ばし自立力を考える政策を。	86	男性
227	町会役員に公務員OBが積極的に関わってほしい。	82	男性
228	保育園を増やしてほしい。北斗市のように子どもの医療助成を無料にしてほしい。	28	女性
229	地域包括支援センターが身近にあるので助かっている。	80	女性
230	活動している内容や連絡先など分かりやすくして欲しい。	76	女性
231	高齢者は家に閉じこもりがちなので、活動の場があったり、一泊旅行などで仲間ができたり生活に張りがあるので。	63	女性
232	子どもの通学路に歩道やカーブミラーがないため心配です。	50	男性
233	高齢者や生活保護の医療費見直しなどを行って若い人の負担を考えないとますます若い人が函館からいなくなってしまう。身体が元気な生活保護の人にはボランティアをさせてみては。	54	女性
234	町会加入率の低下と隣近所との交流の希薄により安否確認等が困難になってきている。	76	女性
235	行政の宣伝が足りないのでは。法令などあまりわからない。自分は元気な内はボランティアでも何でもしている。人とつながることが生きる意味だと思っている。	73	男性
236	現在身体障がい者(3級)交通費の支援は有り難いです。地域包括支援センターを知らない人がいるので案内して喜んでもらっている。	83	女性
237	見守りの観点から高齢者のスキルを活かしてシルバー人材センター的な社会参加を促進して孤立化を防げないか。他者とのつながりを作って元気な高齢者を増やすと良い。地域と人に関わることでいじめなどの防止にもなり得るかも。高齢者に現代社会を再認識してもらおう機会。	65	女性
238	自分の地域は多くが漁協などの団体、何らかの委員をしていないと活動の幅が少なく感じる。興味があっても参加できるものが限られたものだけになってしまう。後援会等の勉強の場も少ない。住民が福祉に関わるには同じ人が委員を兼ねるのでは無く広く探して欲しい。	68	女性
239	町会単位の活動も近い将来難しくなってくるのでは。	43	男性
240	今は在宅や老人クラブで声かけや見守りをやっている所以民生委員は必要がないのでは。	75	女性
241	日吉コミュニティエリアは全てにおいて不安しかない。こうしたアンケートが活かされている気がしない。目に見えるものを示して欲しい。	30	女性
242	アパートやマンションが多くなり子どもも増えているが町会に未加入のためイベントを行おうとしても中々人が集まらない。	77	男性
243	地域包括支援センターは活動状況は伝えてくれるがこちらが提供したことは結果報告がないため状況がわからない。	66	女性
244	道路で街路灯が切れてしまうことがありLEDに替えてほしい。小・中学校の活用を考えてほしい。	82	男性
245	出来ることは手伝いたいですが、個人情報や邪魔になり思うように手助けできない。また情報もあまり入ってこないのでは今はまだできるが、これからさらに高齢になると出来なくなると思うと寂しい。	85	男性
246	近所では心配事があると地域包括支援センターに相談する。すぐ対応してくれて安心して生活ができています。	75	女性
247	福祉のまちづくり条例全文を一度市の広報誌に掲載して欲しい。自分はまだ一度も読んだことがない。	66	女性
248	近所で声かけできたり高齢者が安心して暮らせる環境や子どもが伸び伸び安心して遊べる場所が少しでも増えて欲しい。	69	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
249	市の職員は地域福祉の活動に参加していますか？市民の意見を集めるのも大切だがまずは自分達一人一人がどのように取り組めるか考え、行動してはどうか。企業にも活動参加の義務、ボランティア休暇創設の義務など社会全体が動けるような個人の力ではどうしようもないところを動かしてほしい。	47	女性
250	公共交通機関の増便。(時間によってバスがない)	44	女性
251	ボランティアをあてにしてはいけない。ボランティアに頼る制度は絶対うまくいかない。	50	男性
252	町会も老人クラブも同じような問題を抱えているが何とか協力して解決していきたい。	76	男性
253	地域福祉の推進は行政だけでは十分に対応できない事は理解できるが地域の力を引き出す努力が足りないと思う。地域に眠っているパワーの掘り起こしが重要で学生や若い人、高齢者、企業などから少しずつパワーを引き出して大きな力にするためのリーダーシップを担っていただきたい。	73	男性
254	公共交通機関をもっと充実させて欲しい。高齢者の事故が増えているが、車を手放せない気持ちもわかる。	41	女性
255	若い人と話す機会がほとんどないので良く意見を聞いて世代間ギャップを無くし良い方向へ進めて欲しい。	49	男性
256	催し物の告知を気づかないで終わってから知ることがたくさんある。終わってから新聞テレビで見ることが多い。	31	男性
257	北斗や七飯のように子どもの医療費助成。	51	女性
258	働かない人には手当があるが、働かないとならない人から取り過ぎ。手当も出ないし困窮してます。	40	女性
259	電車のカードが以前の方が割安感が大きいので損した感じがする。	79	女性
260	高齢者世帯がほとんどで若者が少ない。病院や買い物にバスが無く不便。現在は自家用車だが障がい者がいるので今後が不安。	74	女性
261	市民が共に支え合い、誰もが住みやすい地域社会をつくるためには函館市の職員は全員市内に居住するべきではないでしょうか。	46	女性
262	除雪体制の見直しをしてほしい。	64	女性
263	市や包括の職員も自分の地域で町会役員等手伝うと本当の地域の課題が理解できると思います。頑張ってください。	54	女性
264	色々な情報をもっと身近でわかりやすければいいと思う。函館の広報誌も届いているが見づらい(目が悪いので)のでつい読まずにいます。また、仕事が忙しく読んでいる暇もありません。親の介護と仕事で精一杯です。他の人に親切にしたいと願っていますが、中々そのようにはいきません。今は笑顔で挨拶して声がけするので精一杯です。自分の地域は若い人が少ないし働きに出ているので助け手が少ないのが現状です。	53	女性
265	特にありませんが、今年初め除雪について、不便でした。これから2～3年後、近所の人達が行っているが、車が出せなくなる事が多くなる気がします。	54	男性
266	自分が他人にしてもらうのがあたりまえ、自分からしてやるという思いがない。	74	男性
267	私本人も身体障害者の身であり、近所も徐々に高齢者が増えてきてます。お互い声をかけて仲良くしていきたい。近くに大きな商店もなく、足も不自由になり今後ますます不安であります。冬場の雪投げにも苦勞しています。一度で良いから除雪車が入って欲しいです。	80	女性
268	高齢者が気軽に集まって、日中の時間を過ごせる場所を増やしてみても考えます。外出する「目的」を作ると活動量の増大につながるのでは。	28	男性
269	町会の活動を活性化していきたい。	78	男性
270	私たちの町会も役員の年齢が70歳～80歳の人ほとんどです。そのため、お祭り、イベントなど体力的についていけなく大変です。でも頑張ってます。皆様の喜ぶ顔が嬉しくて。	77	女性

地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
271	町会活動の中で、高齢一人暮らしのお宅を訪問していますが、介護制度を利用していない人がいるのが心配。また、逆に必要以上に介護保険を利用しているのも不満。介護サービスの無駄使いをチェックしてほしい。	74	女性
272	高齢者一人暮らしの生活にもっと力を入れてほしい。私は団地生活ですので、身寄りのない方が倒れた場合は病院やなんやら付き添ってあげなければならないので、高齢者入室をなんとかしてほしい。お金のある方は施設に入ることができるでしょうが、ない方のことをもう少し考えて欲しい。	75	男性
273	異業種交流など町会単位で開催し、友好関係の構築など考えていくことで、犯罪などを軽減できるものと思います。	68	男性
274	町会活動や民生委員の活動も、ほとんどが60歳以上の方々が多く、なる人も少なく、これからの活動に不安を感じます。もっと若い人が少しずつこのような活動の中に入って、地域の中で活動していけるような町づくりができれば…と思いますが、現実には本当に大変で、地域福祉も推進していくことが困難になってきています。	65	女性
275	後継者不足である。	71	女性
276	町内会費もお支払いしていますが、子育て世代に還元がほとんどされていません。回覧を見ても、お年寄り向けのイベントばかりで、子どもが参加できるものは、ほぼありません。富岡町はお年寄りも多いですが、昭和小、亀田小があり、子どももたくさんいます。夏祭りをするだとか、お年寄りだけのお楽しみの場を増やすのではなく、たくさんの世代間交流ができる町を強く望んでいます。どうぞよろしくお願いします。(子育て世代の親同士でも上記のことをよく話しています)	38	女性
277	町民が日頃あらゆる知恵を出し合い生きている中で、「大間原発問題」が流動的なのが心配です。函館そのものの存続にも関わる重大問題で何かあってしまったら元も子もなく福祉の前に全てが「無」の状態になる。これは、あってはならない事。これまで以上に反対アピール強固に続けて欲しい。函館の街をなくさないでね。	70	女性

地域福祉に関する意識調査結果【企業用】

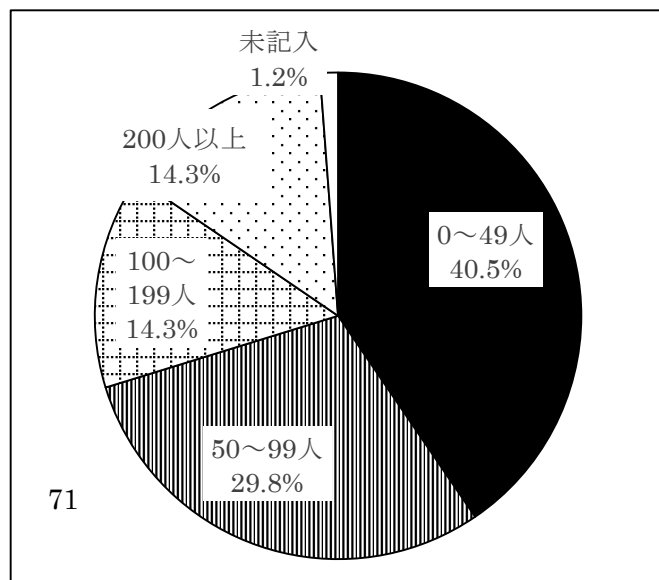
1. 回答者基本属性

問1 業種

	企業数	パーセント
農業	1	1.2%
漁業	0	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
建設業	13	15.5%
製造業	12	14.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2.4%
情報通信業	2	2.4%
運輸業、郵便業	6	7.1%
卸売業、小売業	17	20.2%
金融業、保険業	6	7.1%
不動産業、物品賃貸業	3	3.6%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	5	6.0%
生活関連サービス業、娯楽業	1	1.2%
教育、学習支援業	2	2.4%
医療・福祉	6	7.1%
複合サービス業	0	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	5	6.0%
公務	0	0.0%
その他	2	2.4%
未記入	1	1.2%
合計	84	100.0%

問2 従業員数（市内の従事者数）

	企業数	パーセント
0～49人	34	40.5%
50～99人	25	29.8%
100～199人	12	14.3%
200人以上	12	14.3%
未記入	1	1.2%
合計	84	100.0%

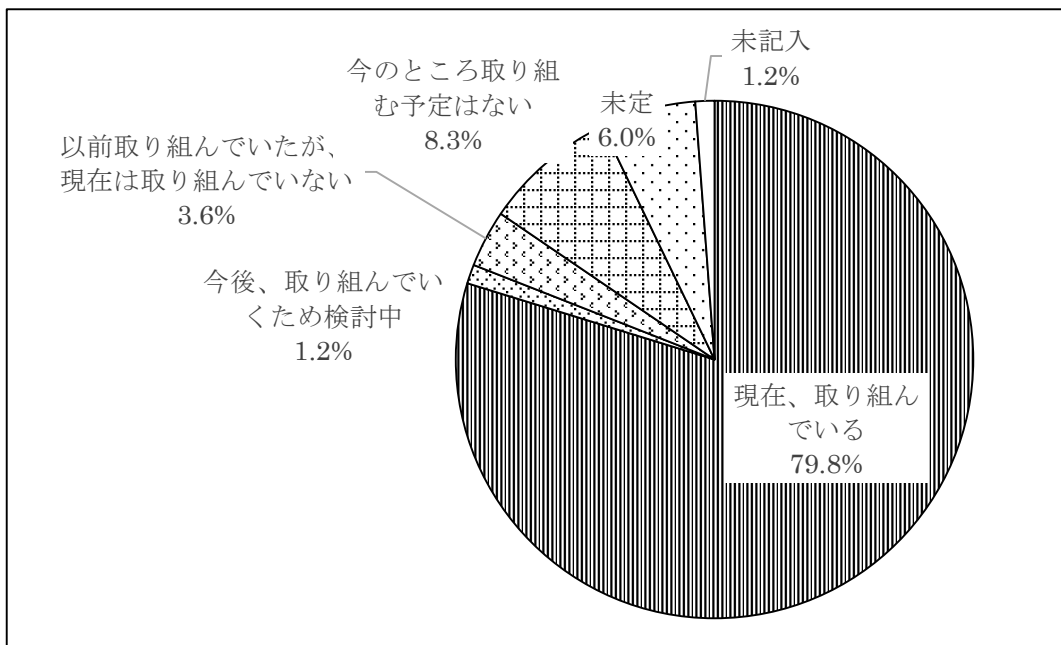


2. 地域貢献活動

問3 地域貢献活動の現状

(1) 地域貢献活動の実施状況

	人数	パーセント
現在、取り組んでいる	67	79.8%
今後、取り組んでいくため検討中	1	1.2%
以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	3	3.6%
今のところ取り組む予定はない	7	8.3%
未定	5	6.0%
未記入	1	1.2%
合計	84	100.0%



(2) 「現在、取り組んでいる」、「今後、取り組んでいくため検討中」の企業の
地域貢献の活動内容

		企業数	パーセント (n=84)
地域文化の継承等に関わる活動	地域イベントの開催や支援	48	57.1%
	地域文化やスポーツの支援	31	36.9%
	その他	1	1.2%
地域の環境保護等に関わる活動	地域の美化や清掃活動	43	51.2%
	地域の緑化活動	12	14.3%
	公共交通機関の利用促進	4	4.8%
	その他	1	1.2%
地域の防災・防犯等に関わる活動	防犯活動	12	14.3%
	交通安全活動	28	33.3%
	防火・防災活動	15	17.9%
	その他	3	3.6%
その他の取り組み	建物やサービスでの高齢者・障がい者・子育て支援への配慮(※1)	18	21.4%
	地域の活動団体への支援(※2)	26	31.0%
	従業員の個人的なボランティアに対する支援(※3)	5	6.0%
	その他	2	2.4%

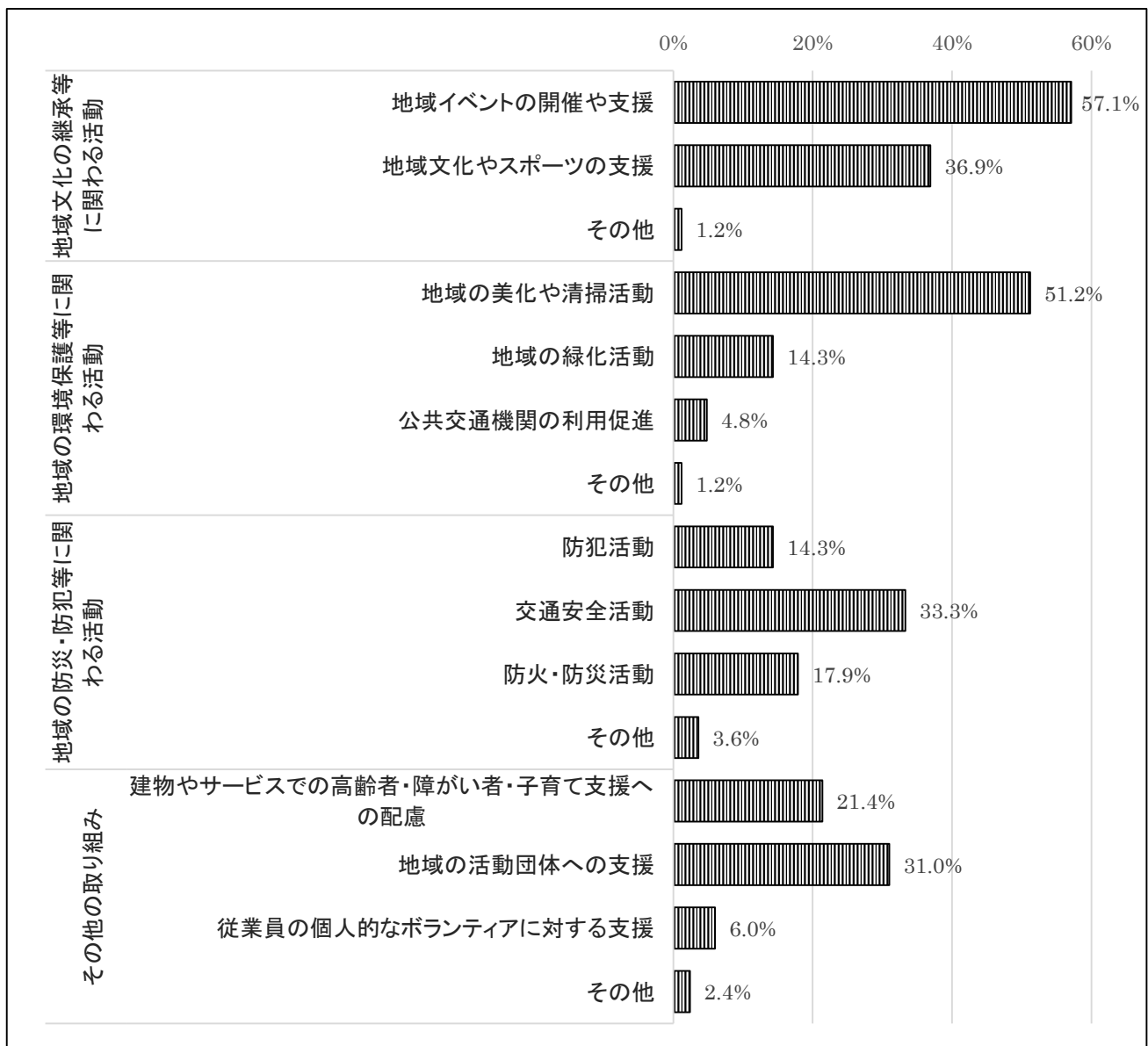
(※1) 例 多目的トイレやスロープ、手すりの設置、段差の解消、出入口の自動ドア化、カウンター等に老眼鏡を備付、従業員のサポートなど

(※2) 例 団体への資金的な援助、従業員の参加、活動場所の提供など

(※3) 例 ボランティア休暇の導入など

その他の回答例

地域の環境保護等に関わる活動	小中学校等のグラウンド整備	1件
地域の防災・防犯等に関わる活動	高齢者の安否確認	2件
その他の取り組み	工場見学受け入れ	2件

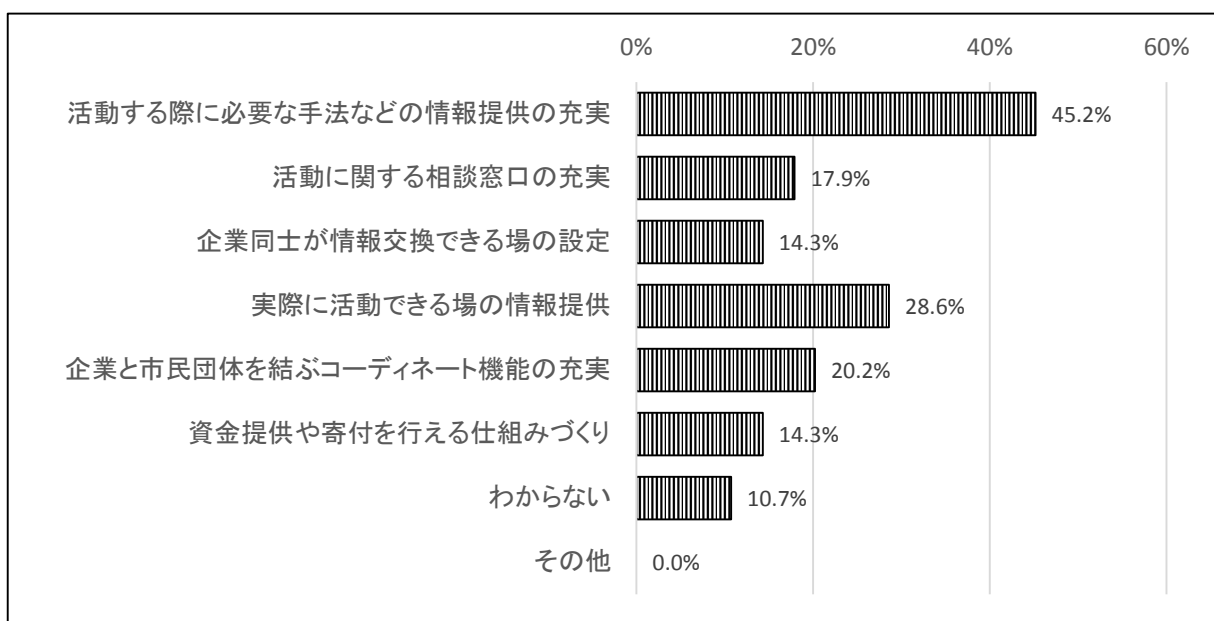


その他の取り組みの具体的な例

建物やサービスでの高齢者・障がい者・子育て世帯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗のバリアフリー化 ・授乳室の設置、お湯等の提供 ・車イス、ベビーカーの貸し出し ・多目的トイレ設置 ・案内カウンターでの筆談ボード ・老眼鏡、携帯保障期の設置
地域の活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・函館マラソン、環境フェスティバル協賛金 ・函館野外劇、五稜郭の夢、箱館五稜郭祭り、港まつりのボランティア ・広告協賛 ・町内会活動への参加 ・交通遺児への応援 ・地域活動団体に場所を提供
従業員の個人的なボランティアに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動参加による特別休暇制度 ・ボランティア休暇

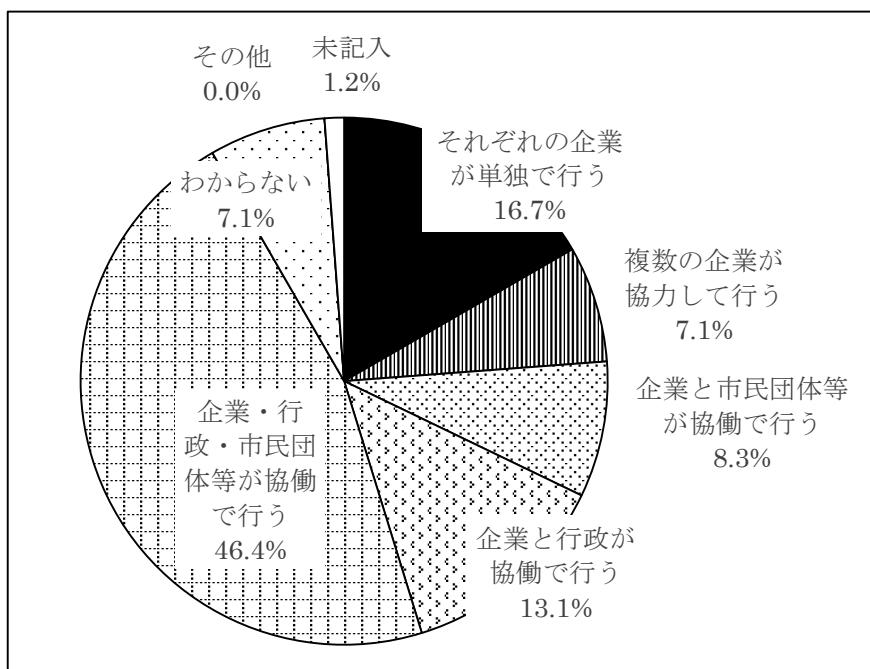
問4 地域貢献活動に必要な方策（複数回答）

	企業数	パーセント (n=84)
活動する際に必要な手法などの情報提供の充実	38	45.2%
活動に関する相談窓口の充実	15	17.9%
企業同士が情報交換できる場の設定	12	14.3%
実際に活動できる場の情報提供	24	28.6%
企業と市民団体を結ぶコーディネート機能の充実	17	20.2%
資金提供や寄付を行える仕組みづくり	12	14.3%
わからない	9	10.7%
その他	0	0.0%



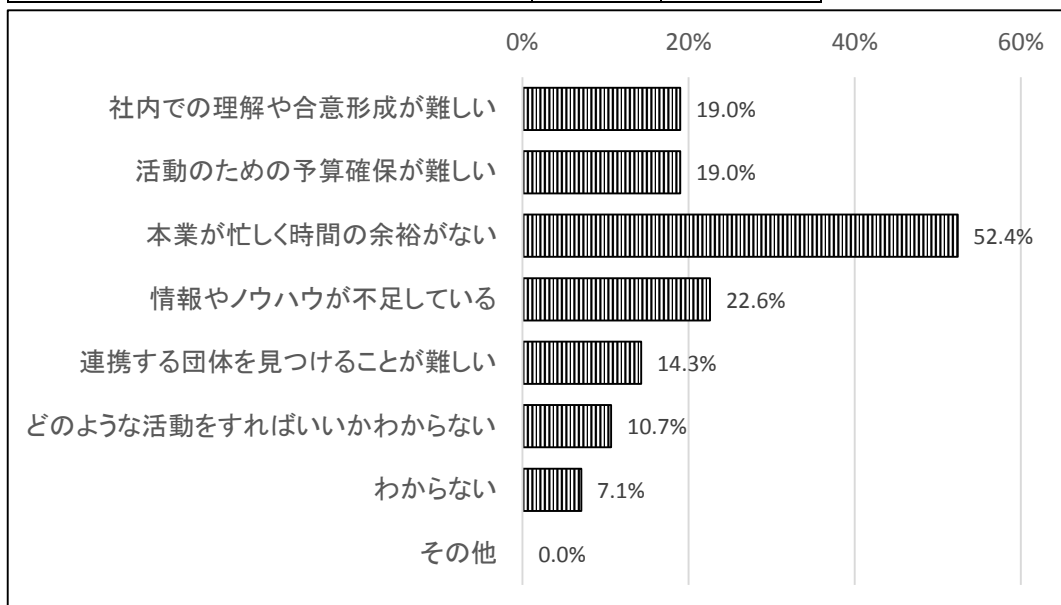
問5 地域貢献活動の望ましい形態

	企業数	パーセント
それぞれの企業が単独で行う	14	16.7%
複数の企業が協力して行う	6	7.1%
企業と市民団体等が協働で行う	7	8.3%
企業と行政が協働で行う	11	13.1%
企業・行政・市民団体等が協働で行う	39	46.4%
わからない	6	7.1%
その他	0	0.0%
未記入	1	1.2%
合計	84	100.0%



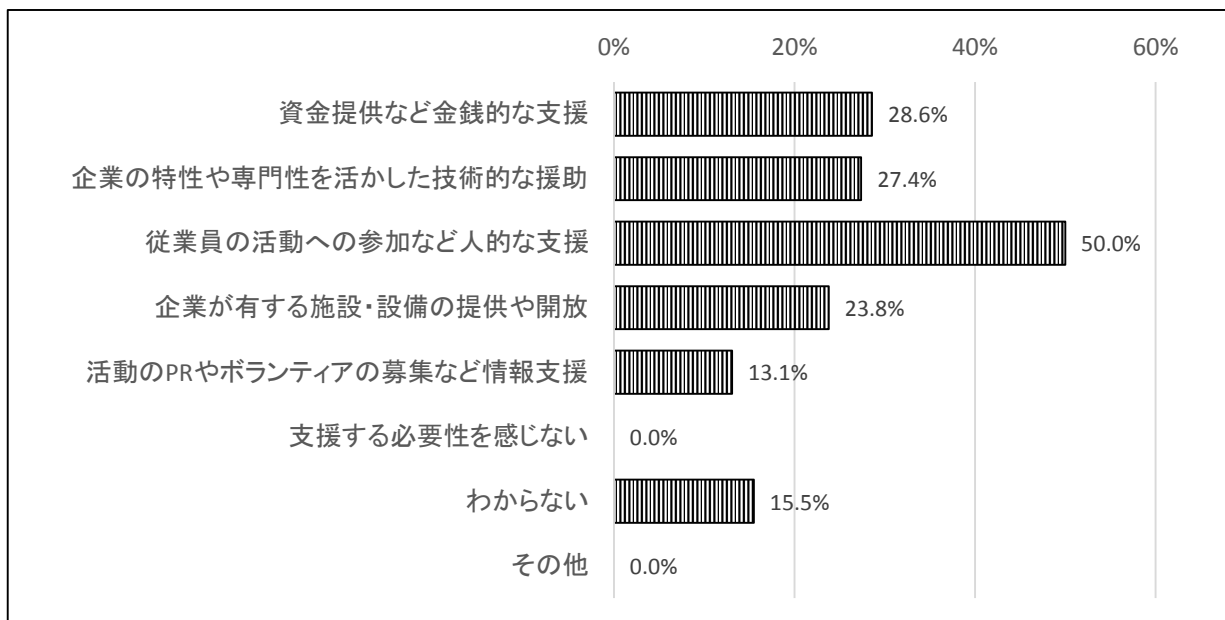
問6 地域貢献活動に取り組むための問題点（複数回答）

	企業数	パーセント (n=84)
社内での理解や合意形成が難しい	16	19.0%
活動のための予算確保が難しい	16	19.0%
本業が忙しく時間の余裕がない	44	52.4%
情報やノウハウが不足している	19	22.6%
連携する団体を見つけることが難しい	12	14.3%
どのような活動をすればいいかわからない	9	10.7%
わからない	6	7.1%
その他	0	0.0%



問7 ボランティアや地域活動への可能な支援（複数回答）

	企業数	パーセント (n=84)
資金提供など金銭的な支援	24	28.6%
企業の特性や専門性を活かした技術的な援助	23	27.4%
従業員の活動への参加など人的な支援	42	50.0%
企業が有する施設・設備の提供や開放	20	23.8%
一般市民に対する活動のPRやボランティアの募集など情報支援	11	13.1%
支援する必要性を感じない	0	0.0%
わからない	13	15.5%
その他	0	0.0%



地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問8 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】
1	地域福祉の取組は、企業・団体内での人材確保がどのくらい出来ているかで取組具合が変わると感じる。人材不足の中でも地域福祉への取組を前向きに捉えることが出来る動機付けや手法を行政で強く発信する必要があるのではないのでしょうか。

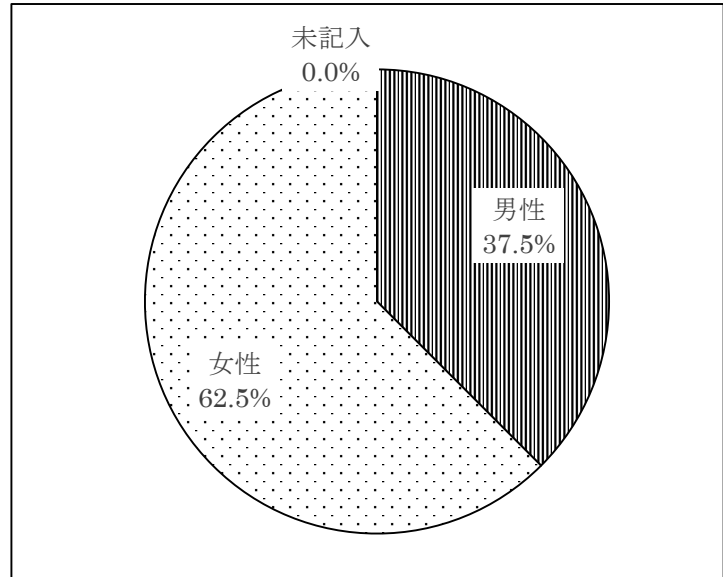
地域福祉に関する意識調査結果【学生用】

1. 回答者の基本属性

問1 性別・年齢

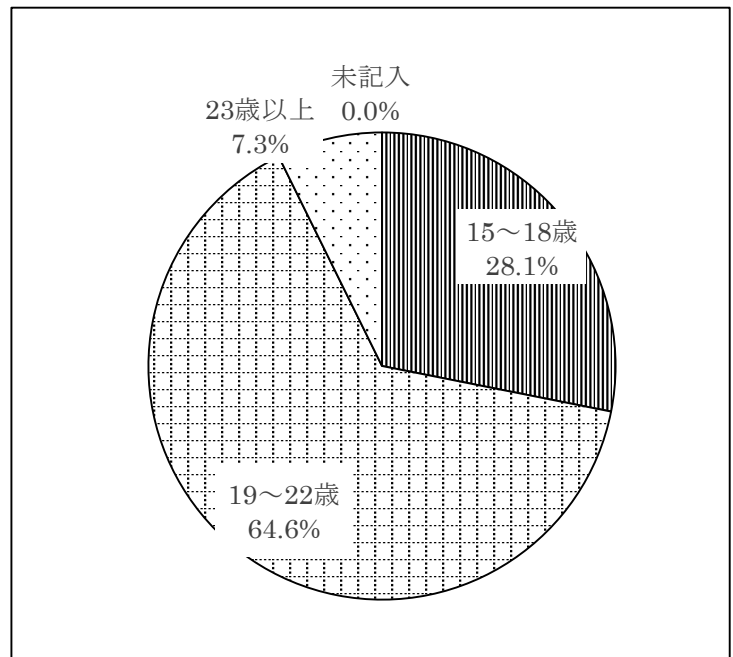
(1) 性別

	人数	パーセント
男性	36	37.5%
女性	60	62.5%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



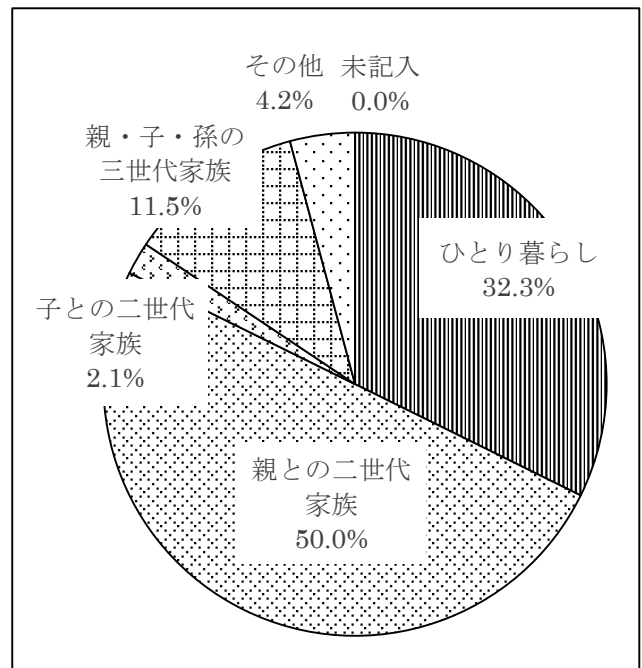
(2) 年齢

	人数	パーセント
15～18歳	27	28.1%
19～22歳	62	64.6%
23歳以上	7	7.3%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



問2 家族構成

	人数	パーセント
ひとり暮らし	31	32.3%
親との二世世代家族	48	50.0%
子との二世世代家族	2	2.1%
親・子・孫の三世世代家族	11	11.5%
その他	4	4.2%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



その他の回答例

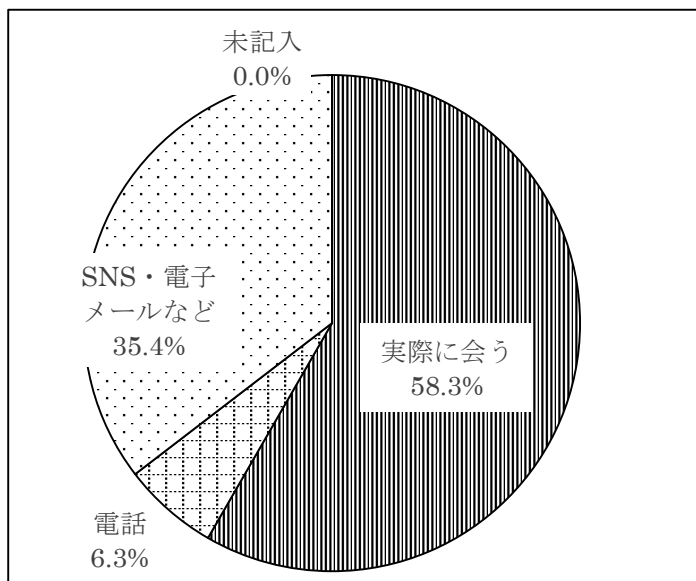
夫婦のみ	1件
兄弟と同居	2件

問3 日頃交流がある人との交流方法

(多い順から1～3の番号)

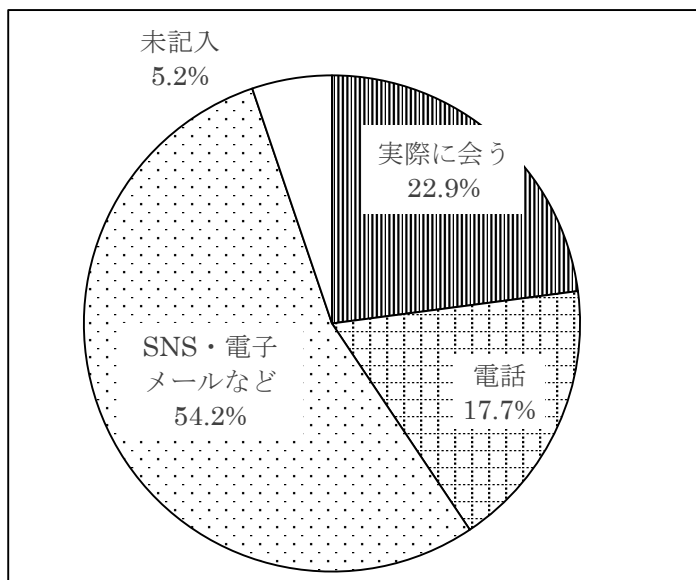
1番多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	56	58.3%
電話	6	6.3%
SNS・電子メールなど	34	35.4%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



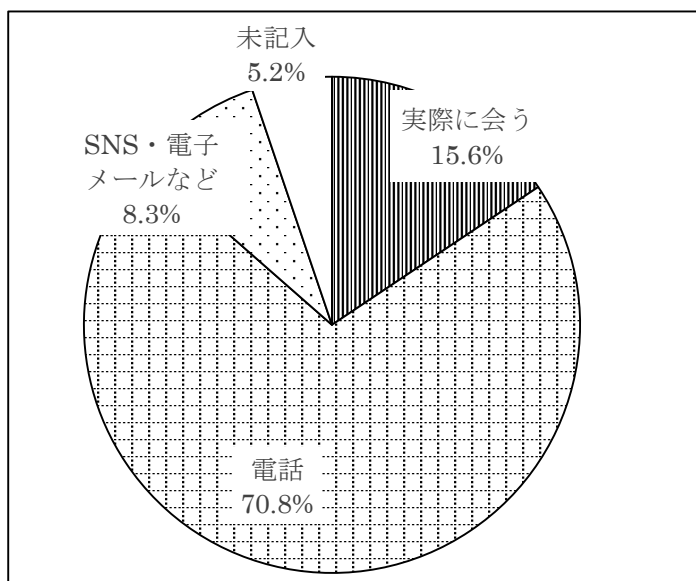
2番目に多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	22	22.9%
電話	17	17.7%
SNS・電子メールなど	52	54.2%
未記入	5	5.2%
合計	96	100.0%



3番目に多いもの

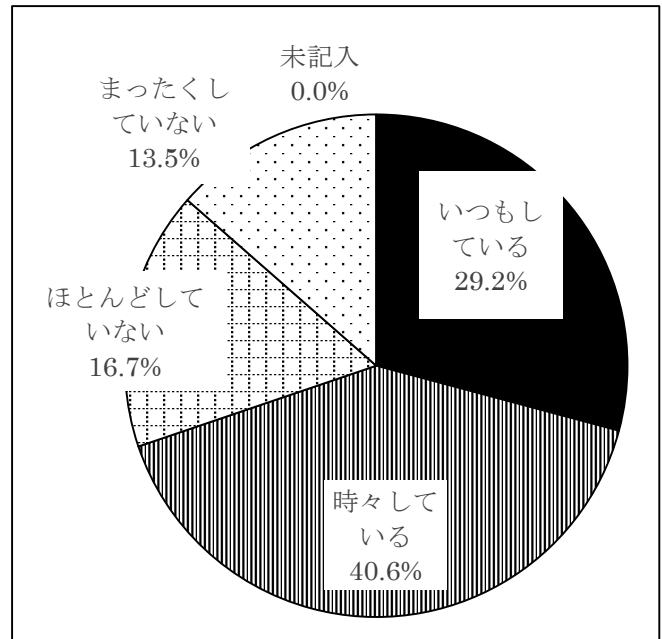
	人数	パーセント
実際に会う	15	15.6%
電話	68	70.8%
SNS・電子メールなど	8	8.3%
未記入	5	5.2%
合計	96	100.0%



2. 隣近所との付き合い

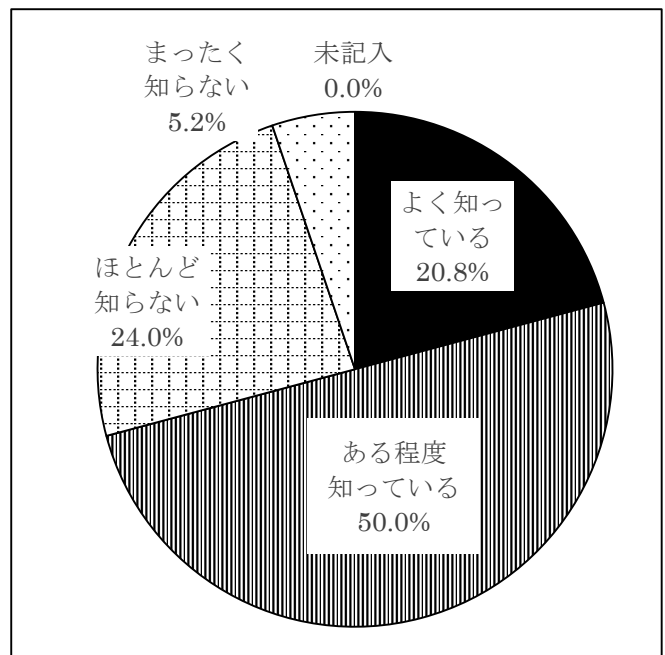
問4 隣近所との付き合い

	人数	パーセント
いつもしている	28	29.2%
時々している	39	40.6%
ほとんどしていない	16	16.7%
まったくしていない	13	13.5%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



問5 隣近所の人の認知

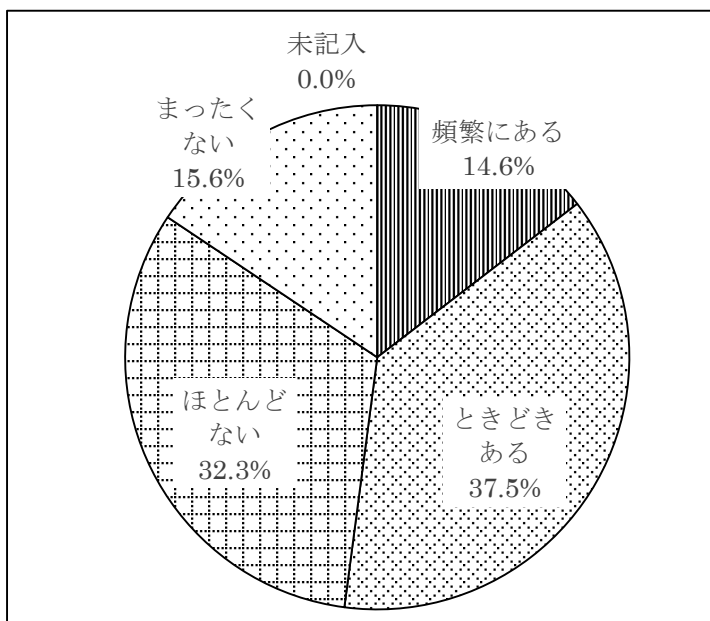
	人数	パーセント
よく知っている	20	20.8%
ある程度知っている	48	50.0%
ほとんど知らない	23	24.0%
まったく知らない	5	5.2%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



3. 居住地域

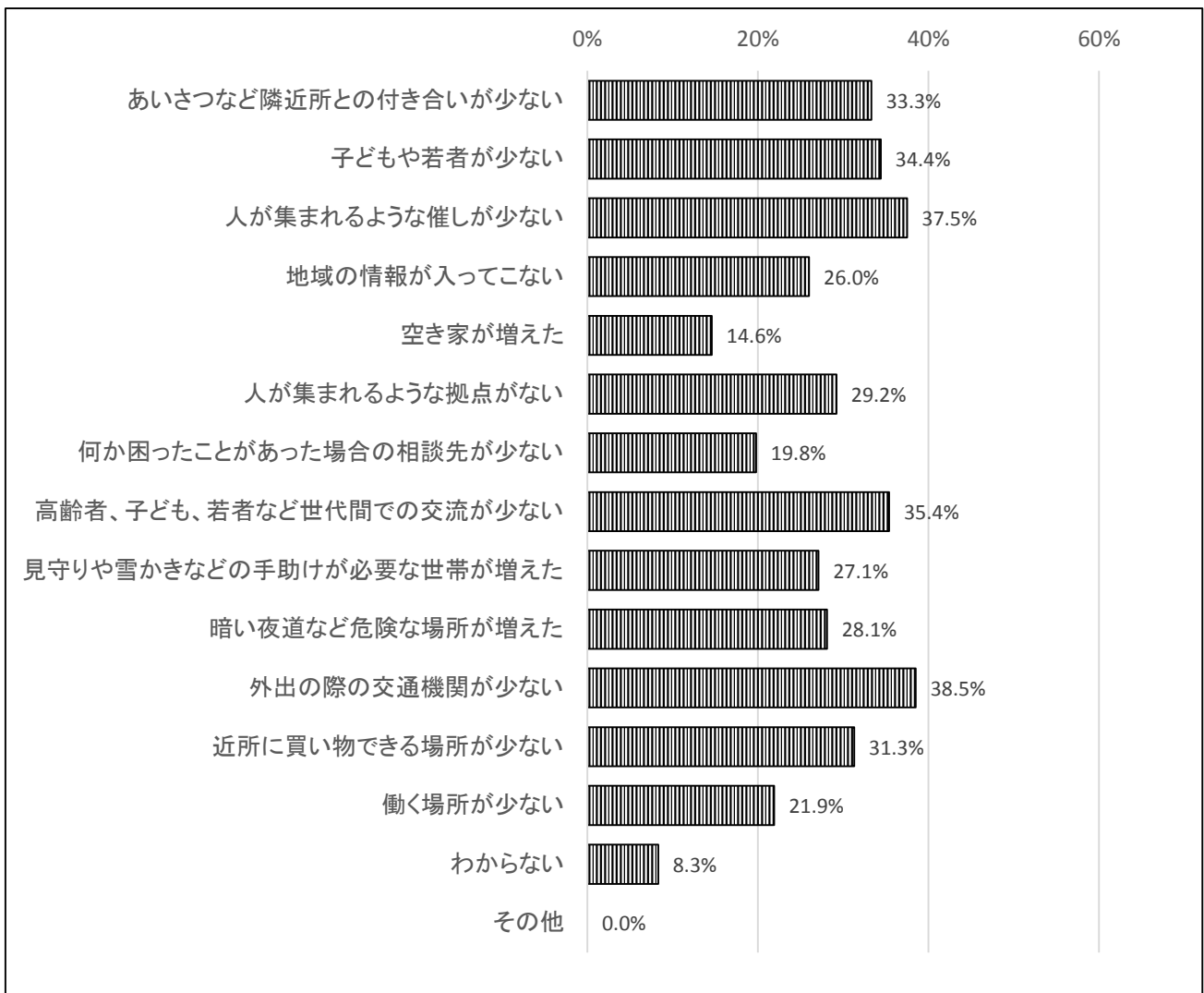
問6 違う世代との交流

	度数	パーセント
頻繁にある	14	14.6%
ときどきある	36	37.5%
ほとんどない	31	32.3%
まったくない	15	15.6%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



問7 居住地域の生活課題 (複数回答)

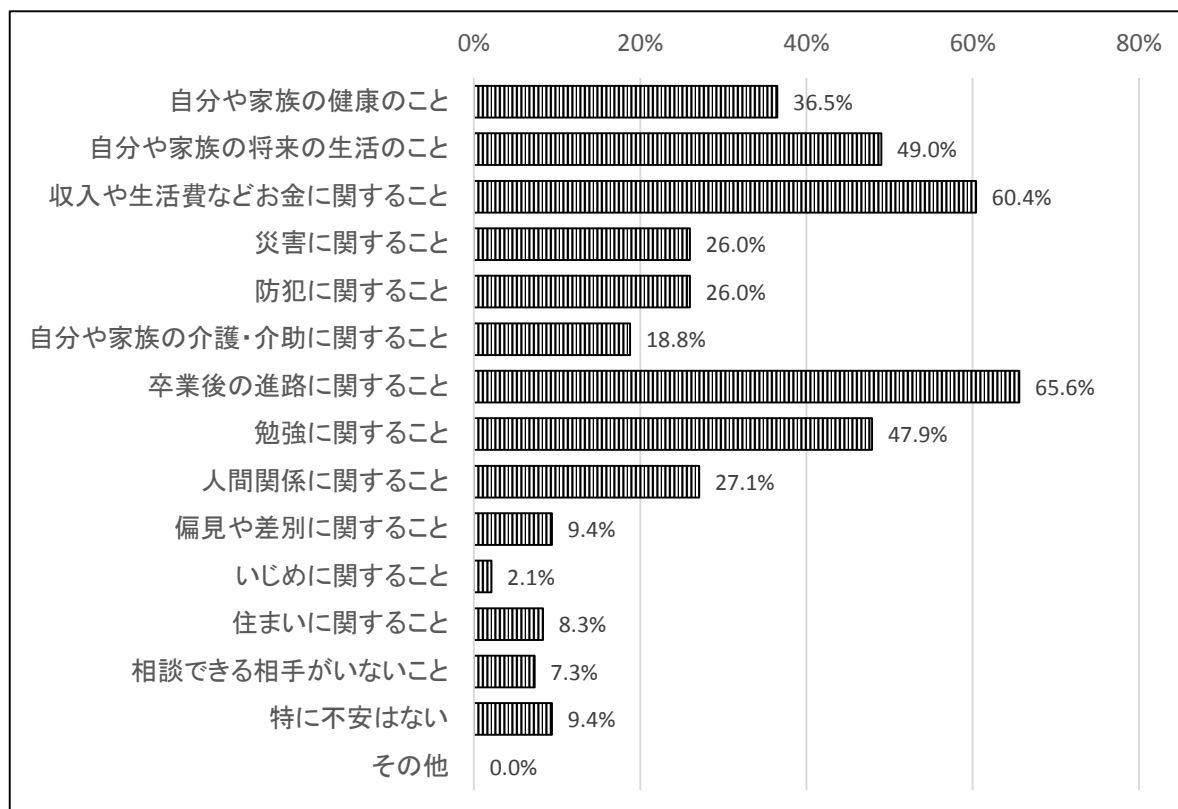
	人数	パーセント (n=96)
あいさつなど隣近所との付き合いが少ない	32	33.3%
子どもや若者が少ない	33	34.4%
人が集まれるような催しが少ない	36	37.5%
地域の情報が入ってこない	25	26.0%
空き家が増えた	14	14.6%
人が集まれるような拠点が無い	28	29.2%
何か困ったことがあった場合の相談先が少ない	19	19.8%
高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない	34	35.4%
見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	26	27.1%
暗い夜道など危険な場所が増えた	27	28.1%
外出の際の交通機関が少ない	37	38.5%
近所に買い物できる場所が少ない	30	31.3%
働く場所が少ない	21	21.9%
わからない	8	8.3%
その他	0	0.0%



4. 生活状況

問8 日常生活での不安〈複数回答〉

	人数	パーセント (n=96)
自分や家族の健康のこと	35	36.5%
自分や家族の将来の生活のこと	47	49.0%
収入や生活費などお金に関すること	58	60.4%
災害に関すること	25	26.0%
防犯に関すること	25	26.0%
自分や家族の介護・介助に関すること	18	18.8%
卒業後の進路に関すること	63	65.6%
勉強に関すること	46	47.9%
人間関係に関すること（家族、友人、近隣、職場など）	26	27.1%
偏見や差別に関すること	9	9.4%
いじめに関すること	2	2.1%
住まいに関すること	8	8.3%
相談できる相手がいないこと	7	7.3%
特に不安はない	9	9.4%
その他	0	0.0%

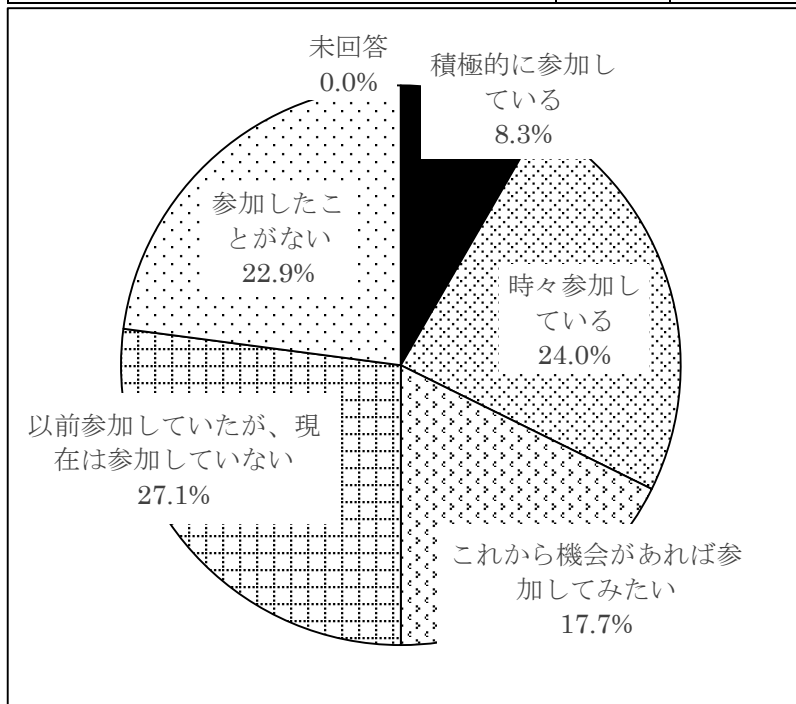


5. ボランティアや地域活動

問9 ボランティアや地域活動への参加

(1) ボランティアや地域活動への参加状況

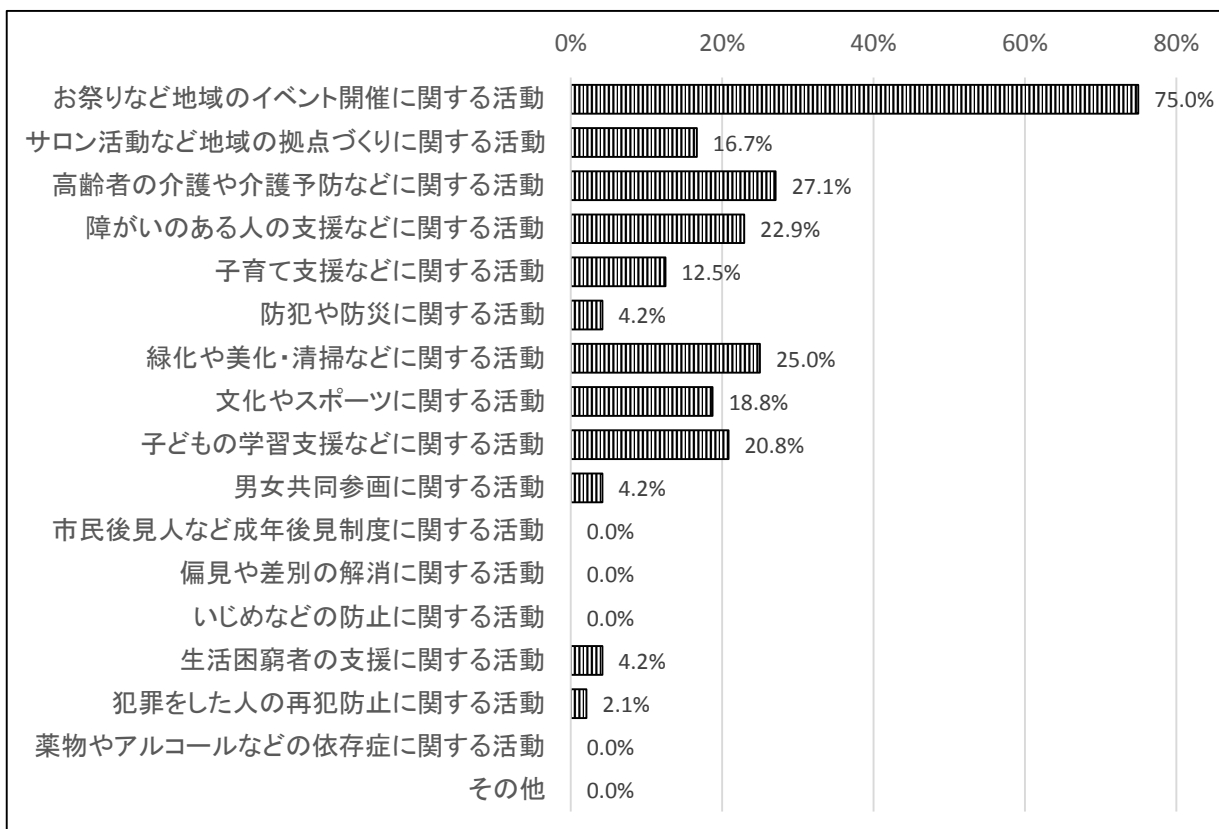
	人数	パーセント
積極的に参加している	8	8.3%
時々参加している	23	24.0%
これから機会があれば参加してみたい	17	17.7%
以前参加していたが、現在は参加していない	26	27.1%
参加したことがない	22	22.9%
未回答	0	0.0%
合計	96	100.0%



(2) 「積極的に参加している」、「時々参加している」、「これから機会があれば参加してみたい」人の活動

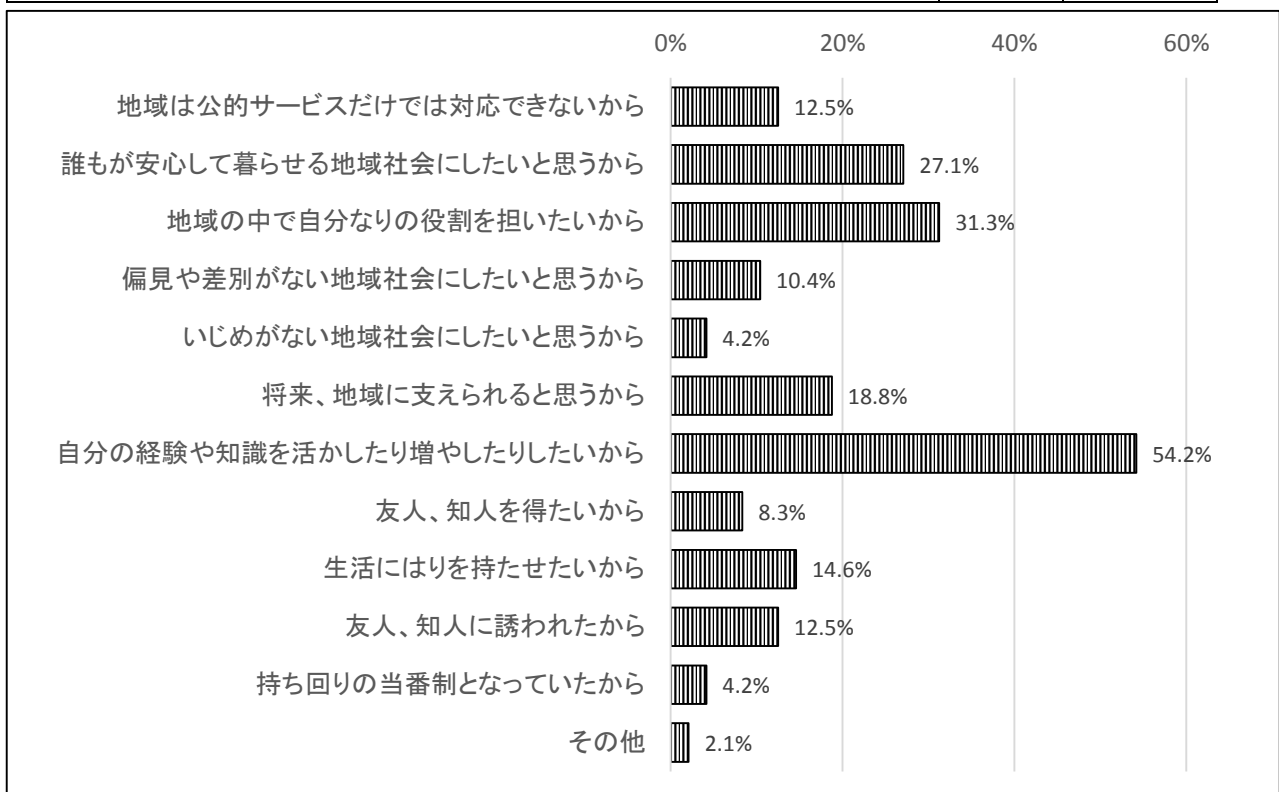
〈複数回答〉

	人数	パーセント (n=48)
お祭りなど地域のイベント開催に関する活動	36	75.0%
サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動	8	16.7%
高齢者の介護や介護予防などに関する活動	13	27.1%
障がいのある人の支援などに関する活動	11	22.9%
子育て支援などに関する活動	6	12.5%
防犯や防災に関する活動	2	4.2%
緑化や美化・清掃などに関する活動	12	25.0%
文化やスポーツに関する活動	9	18.8%
子どもの学習支援などに関する活動	10	20.8%
男女共同参画に関する活動	2	4.2%
市民後見人など成年後見制度に関する活動	0	0.0%
偏見や差別の解消に関する活動	0	0.0%
いじめなどの防止に関する活動	0	0.0%
生活困窮者の支援に関する活動	2	4.2%
犯罪をした人の再犯防止に関する活動	1	2.1%
薬物やアルコールなどの依存症に関する活動	0	0.0%
その他	0	0.0%



(3) 「積極的に参加している」、「時々参加している」、「これから機会があれば参加してみたい」人のボランティアや地域活動に参加する理由（複数回答）

	人数	パーセント (n=48)
地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから	6	12.5%
誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから	13	27.1%
地域の中で自分なりの役割を担いたいから	15	31.3%
偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから	5	10.4%
いじめがない地域社会にしたいと思うから	2	4.2%
将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから	9	18.8%
自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから	26	54.2%
友人、知人を得たいから	4	8.3%
生活にはりを持たせたいから	7	14.6%
友人、知人に誘われたから	6	12.5%
持ち回りの当番制となっていたから	2	4.2%
その他	1	2.1%

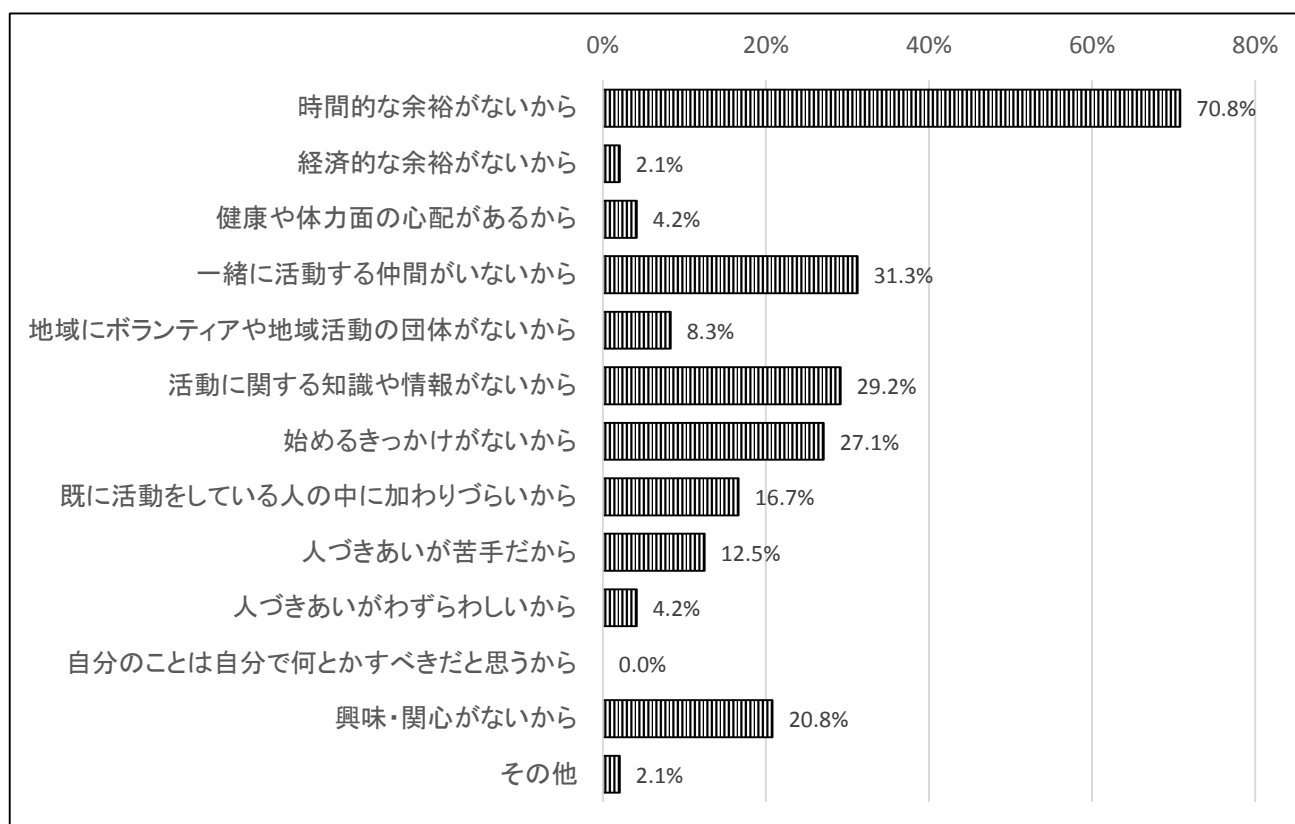


その他の回答

小さな子どもと関わりたい	1件
--------------	----

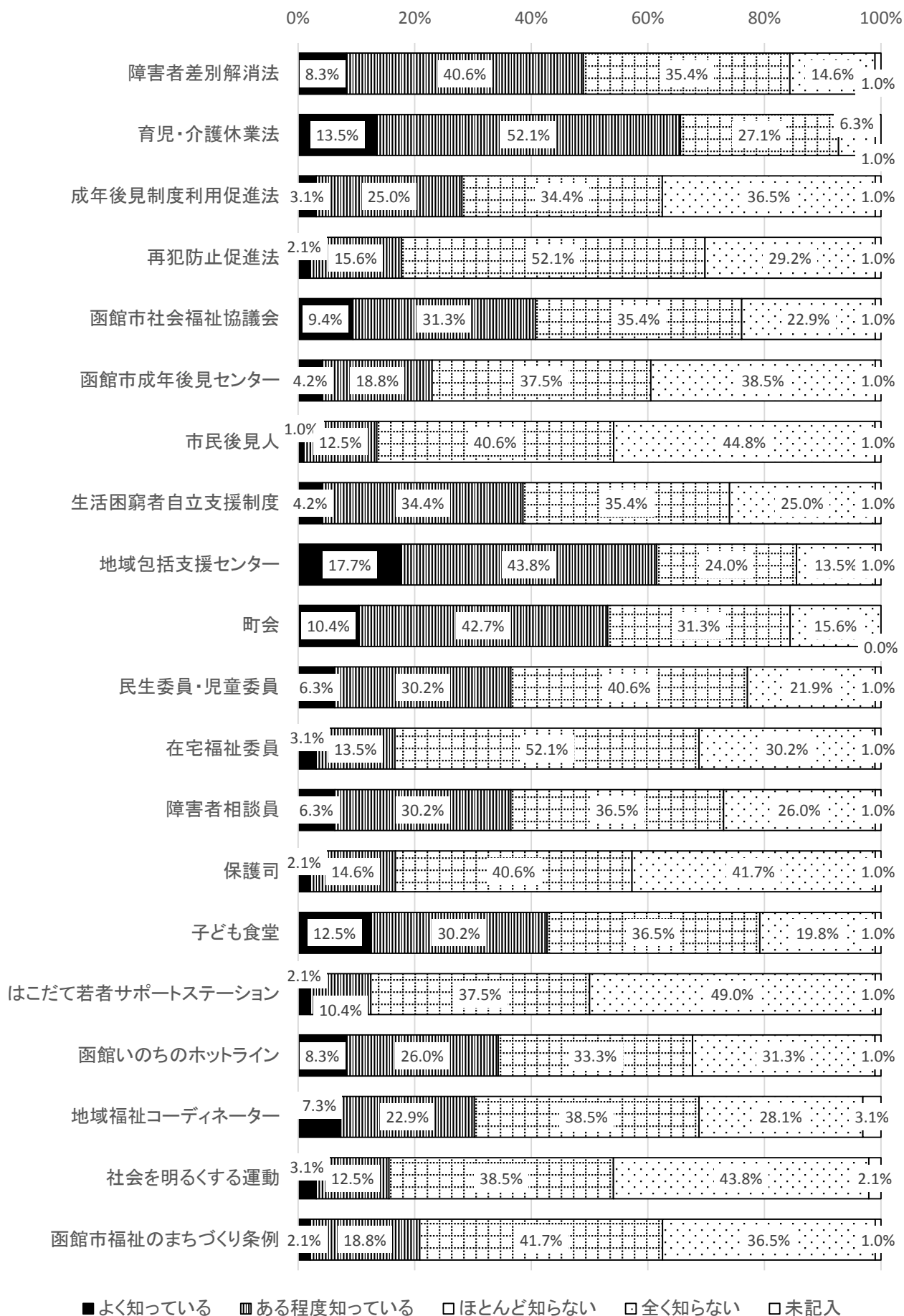
(4) 「以前参加していたが、現在は参加していない」、「参加したことがない」人の
ボランティアや地域活動に参加しない理由〈複数回答〉

	人数	パーセント (n=48)
時間的な余裕がないから	34	70.8%
経済的な余裕がないから	1	2.1%
健康や体力面の心配があるから	2	4.2%
一緒に活動する仲間がないから	15	31.3%
地域にボランティアや地域活動の団体がないから	4	8.3%
活動に関する知識や情報がないから	14	29.2%
始めるきっかけがないから	13	27.1%
既に活動をしている人の中に加わりづらいから	8	16.7%
人づきあいが苦手だから	6	12.5%
人づきあいがわずらわしいから	2	4.2%
自分のことは自分で何とかすべきだと思うから	0	0.0%
興味・関心がないから	10	20.8%
その他	1	2.1%



問10 法律・制度・条例や活動内容の認知

	よく知っ ている	ある程度 知っている	ほとんど 知らない	全く知ら ない	未記入
障害者差別解消法	8 8.3%	39 40.6%	34 35.4%	14 14.6%	1 1.0%
育児・介護休業法	13 13.5%	50 52.1%	26 27.1%	6 6.3%	1 1.0%
成年後見制度利用促進法	3 3.1%	24 25.0%	33 34.4%	35 36.5%	1 1.0%
再犯防止促進法	2 2.1%	15 15.6%	50 52.1%	28 29.2%	1 1.0%
函館市社会福祉協議会	9 9.4%	30 31.3%	34 35.4%	22 22.9%	1 1.0%
函館市成年後見センター	4 4.2%	18 18.8%	36 37.5%	37 38.5%	1 1.0%
市民後見人	1 1.0%	12 12.5%	39 40.6%	43 44.8%	1 1.0%
生活困窮者自立支援制度	4 4.2%	33 34.4%	34 35.4%	24 25.0%	1 1.0%
地域包括支援センター	17 17.7%	42 43.8%	23 24.0%	13 13.5%	1 1.0%
町会	10 10.4%	41 42.7%	30 31.3%	15 15.6%	0 0.0%
民生委員・児童委員	6 6.3%	29 30.2%	39 40.6%	21 21.9%	1 1.0%
在宅福祉委員	3 3.1%	13 13.5%	50 52.1%	29 30.2%	1 1.0%
障害者相談員	6 6.3%	29 30.2%	35 36.5%	25 26.0%	1 1.0%
保護司	2 2.1%	14 14.6%	39 40.6%	40 41.7%	1 1.0%
子ども食堂	12 12.5%	29 30.2%	35 36.5%	19 19.8%	1 1.0%
はこだて若者サポートステーション	2 2.1%	10 10.4%	36 37.5%	47 49.0%	1 1.0%
函館いのちのホットライン	8 8.3%	25 26.0%	32 33.3%	30 31.3%	1 1.0%
地域福祉コーディネーター	7 7.3%	22 22.9%	37 38.5%	27 28.1%	3 3.1%
社会を明るくする運動	3 3.1%	12 12.5%	37 38.5%	42 43.8%	2 2.1%
函館市福祉のまちづくり条例	2 2.1%	18 18.8%	40 41.7%	35 36.5%	1 1.0%



地域福祉に関する意識調査自由記述集計(H30.6.22現在)

No.	問11 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】
1	周りの人が気配りできる地域にする。
2	冬の道路の整備をしてほしい。雪が多くて登校が困難だったため。
3	若者が多く集まる交流会があればいいと思う。
4	回覧板などがなくなって、何をやっているかわからない。
5	近所のおじいちゃんとおばあちゃんが長生きしますように。おだやかに幸せに幸せにしますように。
6	現在は、少子高齢化が増えていることが、近所を見てもよくわかります。比較的私 の家の近所は付き合いがしっかりとしていて、母も隣人のおばあちゃんに声を掛けたり しています。それでも、お年寄りが多くなると、家にこもってしまいがちです。な ので、各地域の若者達が積極的に声掛けをする必要がある。
7	バリアフリーを増やす。
8	地域福祉にできる貢献
9	高齢社会には公道（公共交通機関）などのバリアフリーが出来ていない。道幅が せまい。歩行者道路のせまさ。
10	住民同士の関係がもっと強くなればいいなと思います。
11	函館には人が集まる催しがあるかどうかともわからない。情報が入ってこない。
12	地域全体かつ世代間で交流するのが望ましいと思いました。
13	高齢者が増える中で、若者が高齢者を助けやすくなればいいと思います。
14	人が集まるような施設をもっと増やしてほしい。
15	夜に安全に外出できる環境を作って欲しいです。
16	ボランティアに参加していきたい。
17	誰もが住みやすい地域づくりをしてほしい。高齢者が多い函館で、すべきことがもっ とあるのではないかと思う。

地域福祉に関する意識調査のお願い

日頃より本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、函館市と函館市社会福祉協議会は、「函館市地域福祉計画」および「地域福祉実践計画」をそれぞれ策定し、市民が共に支え合い、誰もが住みやすい地域社会をめざし、地域福祉の推進に取り組んでいるところでありますが、平成31年度からの新たな計画の策定にあたり、地域での様々な課題について市民の方々の考え方などを把握し、それらのご意見を新計画と今後の福祉施策に反映させてまいりたいと考え、このたび意識調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※回答にあたりましては、裏面の注意事項をお読みください。

平成30年5月

函館市保健福祉部地域福祉課
社会福祉法人函館市社会福祉協議会

◇回答にあたってのお願い◇

1. この調査の対象者は無作為に抽出しており、任意および無記名でご回答いただくものです。また、回答内容についてはすべて統計的に処理され、個人の情報が特定されることは一切ありません。
また、何らかの理由によりご本人が回答できない場合には、回答の必要はありません。
2. 調査の基準日は、平成30年5月15日です。基準日での状況について記入してください。
3. 鉛筆またはボールペンで記入してください。
4. 選択式の質問については、あてはまる選択肢横の番号を○で囲んでください。また、順番をつける回答については、[]欄に1, 2などローマ数字で番号を記入してください。
5. 選択肢「その他」の番号を○で囲んだ場合は、横の()欄にその内容を具体的に記入してください。
6. 回答いただいた調査用紙は、同封されている返送用封筒に入れ封をしてから、**切手を貼らずに平成30年6月11日までに郵便ポストに投函してください。**
また、封筒に氏名等の記載は必要はありませんので、無記名のまま投函してください。
7. この調査に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

【問い合わせ】

〒040-8666

函館市東雲町4番13号

函館市保健福祉部地域福祉課

電話 0138-21-3289

※受付時間 月～金 8:45～17:30（土、日、祝日は休み）

☆☆☆ 用語解説 ☆☆☆

あ行

・依存症

薬物やアルコールの摂取，ギャンブル等のように，特定の物質や行為を「やめたくてもやめられない」状態であり，欲求をコントロールできなくなる「病気」。

・SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネットを通じて人と人のつながりを促進し，コミュニティーの形成を支援する会員制サービス。

・NPO

非営利組織で各種のボランティアや市民活動を行っている団体。

さ行

・在宅福祉委員

町会単位で設置している在宅福祉委員会において，単身高齢者世帯等への訪問安否確認，家事援助，会食会等のサービスを提供するためのボランティア。

・サロン活動

地域を拠点に，住民とボランティアが協働で企画をし，共に運営していく仲間づくり，居場所づくりの活動。

・市民後見人

認知症や知的・精神障がいなどで判断能力の不十分な人の権利を保護するため，家庭裁判所から選任されて，本人に代わり，契約や財産管理などを行う，親族や専門職以外の一般市民。

・社会福祉協議会

社会福祉法に基づき設置されている，社会福祉活動を推進するための営利を目的としない組織。

・障害者相談員

障がい者の福祉の増進を図るため，障がい者の相談に応じその人の自立・共生のために必要な援助を行う協力者。

・生活課題

住民が日常生活を営むうえで発生するあらゆる分野の課題。

・生活困窮者

経済的に困窮し，最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある人。

た行

・ 地域包括支援センター

平成18年4月の介護保険制度の改正に伴い創設され、高齢者が住みなれた地域で自立した生活を継続できるよう専門職（保健師等・主任ケアマネジャー・社会福祉士等）が配置された、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点。

な行

・ 認知症

認知機能（記憶力、判断力、思考力など）が後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態。

は行

・ 保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアで、保護司法に基づき法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員。

ま行

・ 民生委員・児童委員

地域の見守りや相談・支援、地域福祉活動を行うボランティアで、民生委員法および児童福祉法に基づき厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員。

地域福祉計画策定に関わる意識調査票

■あなたの年齢，世帯構成など，基本的なことをお尋ねします。

【問1】 あなたの性別・年齢についてお答えください。

《一つだけ〇》

(性別)

- 1 男
- 2 女

(年齢)

{ _____ } 歳

【問2】 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。

《一つだけ〇》

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ
- 3 親との二世帯家族
- 4 子との二世帯家族
- 5 親・子・孫の三世帯家族
- 6 その他 (_____)

【問3】 あなたがお住まいの町名をお答えください。

{ _____ } 町

【問4】 日頃交流のある人との交流方法はどのような方法が多いですか？多い順番に番号をつけてください。

《多い順から1～3の番号》

[順番]

- | | |
|--------|-------------|
| [] | 実際に会う |
| [] | 電話 |
| [] | SNS・電子メールなど |

【問5】 あなたが町内を移動する場合、移動手段の多い順番に番号をつけてください。

《多い順から1～5の番号》

[順番]

- [] 徒歩
- [] 自転車
- [] 公共交通機関（電車、バスなど）
- [] タクシー
- [] 自家用車（家族の送迎含む）

【問6】 あなたは、現在またはこれまでに次の役割を担ったことがありますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 民生委員・児童委員
- 2 在宅福祉委員
- 3 町会・自治会の役員や班長（区長）
- 4 障害者相談員
- 5 老人クラブ役員
- 6 市民後見人
- 7 保護司
- 8 担ったことはない

■あなたの隣近所との付き合いについてお尋ねします。

【問7】 あなたは、隣近所の人とどのようなお付き合いをしていますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 あいさつや立ち話をする程度
- 2 物をあげたりもらったりする
- 3 趣味などの活動をともにする
- 4 お茶や食事を一緒にする
- 5 相談ごとがあった時、相談したり、されたりする
- 6 家事やちょっとした用事をしてあげたり、してもらったりしている
- 7 病気の時に助け合う
- 8 ほとんど付き合いはない
- 9 その他（ ）

【問8】 あなたは、隣近所にどのような人が住んでいるか知っていますか？

《一つだけ○》

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 ほとんど知らない
- 4 まったく知らない

【問9】 あなたは、隣近所との付き合いでどのような関係が一番良いと思いますか？

《一つだけ○》

- 1 普段から何でも話したり協力できる関係 → 問10へ
- 2 何かあった時だけ協力し合える関係 → 問10へ
- 3 挨拶程度の軽い付き合い → 問10へ
- 4 交流は特に必要ない → 問9-1へ
- 5 その他 ()

【問9で「交流は特に必要ない」と答えた方にお聞きします。】

【問9-1】 必要ないと思う理由を教えてください。

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 人づきあいが苦手だから
- 2 人づきあいがわずらわしいから
- 3 仕事などで日中家に誰もいないから
- 4 何か困ったことがあっても自分で解決できるから
- 5 その他 ()

■ あなたの居住している地域（町内）のことについてお尋ねします。

【問10】 あなたは、地域の中で自分とは違う世代の人と交流はありますか？

《一つだけ○》

- 1 頻繁にある
- 2 ときどきある
- 3 ほとんどない
- 4 まったくない

【問 1 1】 あなたが居住している地域では、どのような生活課題があると思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 あいさつなど隣近所との付き合いが少ない
- 2 子どもや若者が少ない
- 3 人が集まれるような催しが少ない
- 4 地域の情報が入ってこない
- 5 空き家が増えた
- 6 人が集まれるような拠点がない
- 7 何か困ったことがあった場合の相談先が少ない
- 8 高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない
- 9 見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた
- 10 暗い夜道など危険な場所が増えた
- 11 外出の際の交通機関が少ない
- 12 近所に買い物できる場所が少ない
- 13 働く場所が少ない
- 14 わからない
- 15 その他 ()

【問 1 2】 あなたは、地域の生活課題について相談される場合、どのような人に相談しますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 家族・親族
- 2 隣近所の住民
- 3 職場の同僚
- 4 友人・知人
- 5 町会・自治会の役員や班長（区長）
- 6 民生委員・児童委員
- 7 在宅福祉委員
- 8 行政窓口
- 9 地域包括支援センター
- 10 社会福祉協議会
- 11 民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）
- 12 ボランティア・NPO
- 13 誰にも相談しない
- 14 その他 ()

■ あなたの生活状況についてお尋ねします。

【問13】 あなたは、現在、子育てやご家族の介護・介助をしていますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- | | | | |
|---|---------------|---|--------|
| 1 | 子育てをしている | → | 問13-1へ |
| 2 | 家族の介護・介助をしている | → | 問13-1へ |
| 3 | していない | → | 問14へ |

【問13で「子育て」や「家族の介護・介助」をしていると答えた方にお聞きします。】

【問13-1】 お子さんや介護・介助が必要な方と外出したときに困ったり、不便を感じることはありますか？

《一つだけ○》

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 1 | 良くある | → | 問13-2へ |
| 2 | ときどきある | → | 問13-2へ |
| 3 | 特にない | → | 問14へ |

【問13で「良くある」や「ときどきある」と答えた方にお聞きします。】

【問13-2】 外出時に困ったり、不便を感じるのはどのようなことですか？

《自由記述》



【問14】 あなたは、日常生活の中で次のような不安を感じることがありますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 自分や家族の健康のこと
- 2 自分や家族の将来の生活のこと
- 3 収入や生活費などお金に関すること
- 4 災害に関すること
- 5 防犯に関すること
- 6 自分や家族の介護・介助に関すること
- 7 子育てに関すること
- 8 仕事に関すること
- 9 人間関係に関すること（家族、友人、近隣、職場など）
- 10 偏見や差別に関すること
- 11 いじめに関すること
- 12 住まいに関すること
- 13 相談できる相手がいないこと
- 14 特に不安はない
- 15 その他（ ）

■あなたのボランティアや地域活動についてお尋ねします。

【問15】 あなたはボランティアや地域活動に参加したことがありますか？

《一つだけ○》

- | | |
|------------------------|------------|
| 1 積極的に参加している | → 問15-1,2へ |
| 2 時々参加している | → 問15-1,2へ |
| 3 これから機会があれば参加してみたい | → 問15-1,2へ |
| 4 以前参加していたが、現在は参加していない | → 問15-3へ |
| 5 参加したことがない | → 問15-3へ |

【問15で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問15-1】 それはどのような活動ですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 お祭りなど地域のイベント開催に関する活動
- 2 サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動
- 3 高齢者の介護や介護予防などに関する活動
- 4 障がいのある人の支援などに関する活動
- 5 子育て支援などに関する活動
- 6 防犯や防災に関する活動
- 7 緑化や美化・清掃などに関する活動
- 8 文化やスポーツに関する活動
- 9 子どもの学習支援などに関する活動
- 10 男女共同参画に関する活動
- 11 市民後見人など成年後見制度に関する活動
- 12 偏見や差別の解消に関する活動
- 13 いじめなどの防止に関する活動
- 14 生活困窮者の支援に関する活動
- 15 犯罪をした人の再犯防止に関する活動
- 16 薬物やアルコールなどの依存症に関する活動
- 17 その他 ()

【問15で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問15-2】 それはどのような理由からですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから
- 2 誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから
- 3 地域の中で自分なりの役割を担いたいから
- 4 偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから
- 5 いじめがない地域社会にしたいと思うから
- 6 将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから
- 7 自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから
- 8 友人、知人を得たいから
- 9 生活にはりを持たせたいから
- 10 友人、知人に誘われたから
- 11 持ち回りの当番制となっていたから
- 12 その他 ()

【問15で「現在参加していない」・「参加したことがない」と答えた方にお聞きします。】

【問15-3】 それはどのような理由からですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 時間的な余裕がないから
- 2 経済的な余裕がないから
- 3 健康や体力面の心配があるから
- 4 一緒に活動する仲間がないから
- 5 地域にボランティアや地域活動の団体がないから
- 6 活動に関する知識や情報がないから
- 7 始めるきっかけがないから
- 8 既に活動をしている人の中に加わりづらいから
- 9 人づきあいが苦手だから
- 10 人づきあいがわずらわしいから
- 11 自分のことは自分で何とかすべきだと思うから
- 12 興味・関心がないから
- 13 その他 ()


【問16】 次の法律・制度・条例や活動内容について知っていますか？

《あてはまる番号に○》

	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない
1 障害者差別解消法	1	2	3	4
2 育児・介護休業法	1	2	3	4
3 成年後見制度利用促進法	1	2	3	4
4 再犯防止推進法	1	2	3	4
5 函館市社会福祉協議会	1	2	3	4
6 函館市成年後見センター	1	2	3	4
7 市民後見人	1	2	3	4
8 生活困窮者自立支援制度	1	2	3	4
9 地域包括支援センター	1	2	3	4
10 町会	1	2	3	4
11 民生委員・児童委員	1	2	3	4
12 在宅福祉委員	1	2	3	4
13 障害者相談員	1	2	3	4
14 保護司	1	2	3	4
15 子ども食堂	1	2	3	4
16 はこだて若者サポートステーション	1	2	3	4
17 函館いのちのホットライン	1	2	3	4
18 地域福祉コーディネーター	1	2	3	4
19 社会を明るくする運動	1	2	3	4
20 函館市福祉のまちづくり条例	1	2	3	4

【問 17】 最後に地域福祉の推進に関してのご意見, ご要望など自由にお書きください。

《自由記述》



☆質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。

地域福祉に関する意識調査のお願い

日頃より本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、函館市と函館市社会福祉協議会は、「函館市地域福祉計画」および「地域福祉実践計画」をそれぞれ策定し、市民が共に支え合い、誰もが住みやすい地域社会をめざし、地域福祉の推進に取り組んでいるところでありますが、平成31年度からの新たな計画の策定にあたり、地域での様々な課題について企業の皆様の考え方などを把握し、それらのご意見を新計画と今後の福祉施策に反映させてまいりたいと考え、このたび意識調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※回答にあたりましては、裏面の注意事項をお読みください。

平成30年5月

**函館市保健福祉部地域福祉課
社会福祉法人函館市社会福祉協議会**

◇回答にあたってのお願い◇

1. この調査の対象企業は無作為に抽出しており、任意および無記名でご回答いただくものです。また、回答内容についてはすべて統計的に処理され、企業等の情報が特定されることは一切ありません。
2. 調査の基準日は、平成30年5月15日です。基準日での状況について記入してください。
3. 鉛筆またはボールペンで記入してください。
4. 選択式の質問については、あてはまる選択肢横の番号を○で囲んでください。
5. 選択肢「その他」の番号を○で囲んだ場合は、横の（ ）欄にその内容を具体的に記入してください。
6. 回答いただいた調査用紙は、同封されている返送用封筒に入れ封をしてから、**切手を貼らずに平成30年6月11日までに郵便ポストに投函してください。**
また、封筒に企業名等の記載は必要はありませんので、無記名のまま投函してください。
7. この調査に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

【問い合わせ】

〒040-8666

函館市東雲町4番13号

函館市保健福祉部地域福祉課

電話 0138-21-3289

※受付時間 月～金 8:45～17:30（土、日、祝日は休み）

地域福祉計画策定に関わる意識調査

■基本的なことをお尋ねします。

【問1】 貴社の業種を教えてください。

《主たる業種の番号一つだけに○》

- 1 農業，林業
- 2 漁業
- 3 鉱業，採石業，砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業，郵便業
- 9 卸売業，小売業
- 10 金融業，保険業
- 11 不動産業，物品賃貸業
- 12 学術研究，専門・技術サービス業
- 13 宿泊業，飲食サービス業
- 14 生活関連サービス業，娯楽業
- 15 教育，学習支援業
- 16 医療・福祉
- 17 複合サービス業
- 18 サービス業（他に分類されないもの）
- 19 公務
- 20 その他

【問2】 貴社の従業員数を教えてください。（当市内での従事者数でお答えください。）

《一つだけ○》

- 1 0 ～ 49人
- 2 50 ～ 99人
- 3 100～199人
- 4 200人以上

■貴社の地域貢献活動についてお尋ねします。

【問3】 貴社は、地域貢献活動に取り組まれていますか？

《一つだけ○》

(付近の清掃や植栽等の美化活動など、地域での身近な活動も含みます。)

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 現在、取り組んでいる | → 問3-1へ |
| 2 今後、取り組んでいくため検討中 | → 問3-1へ |
| 3 以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない | → 問4へ |
| 4 今のところ取り組む予定はない | → 問4へ |
| 5 未定 | → 問4へ |

【問3で「取り組んでいる・取り組みを検討中」と答えた企業にお聞きします】

【問3-1】 それはどのような取り組みですか？

《あてはまる番号すべてに○》

①地域文化の継承等に関わる活動

- 1 地域イベントの開催や支援
- 2 地域文化やスポーツの支援
- 3 その他 ()

②地域の環境保護等に関わる活動

- 1 地域の美化や清掃活動
- 2 地域の緑化活動
- 3 公共交通機関の利用促進
- 4 その他 ()

③地域の防災・防犯等に関わる活動

- 1 防犯活動
- 2 交通安全活動
- 3 防火・防災活動
- 4 その他 ()

④その他の取り組み

- 1 貴社の建物やサービスでの高齢者・障がい者・子育て世帯への配慮
(例 多目的トイレやスロープ, 手すりの設置, 段差の解消, 出入口の自動ドア化, カウンター等に老眼鏡を備付, 従業員のサポートなど)
- 2 地域の活動団体への支援
(例 団体への資金的な援助, 従業員の参加, 活動場所の提供など)
- 3 従業員の個人的なボランティアに対する支援
(例 ボランティア休暇の導入など)
- 4 その他

《④に対する回答1～4について, 具体的な取り組み内容を記載してください。》



【問4】 貴社において, 地域貢献活動に対し活発に取り組むためにはどのような方策が必要だと思いますか?

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 活動する際に必要な手法などの情報提供の充実
- 2 活動に関する相談窓口の充実
- 3 企業同士が情報交換できる場の設定
- 4 実際に活動できる場の情報提供
- 5 企業と市民団体を結ぶコーディネート機能の充実
- 6 資金提供や寄付を行える仕組みづくり
- 7 わからない
- 8 その他 ()

【問5】 貴社が地域貢献活動に取り組む場合、どのような形態が良いと思いますか？

《一つだけ○》

- 1 それぞれの企業が単独で行う
- 2 複数の企業が協力して行う
- 3 企業と市民団体等が協働で行う
- 4 企業と行政が協働で行う
- 5 企業・行政・市民団体等が協働で行う
- 6 わからない
- 7 その他 ()

【問6】 貴社が地域貢献活動に取り組むうえでの問題点は、どのようなことだと思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 社内での理解や合意形成が難しい
- 2 活動のための予算確保が難しい
- 3 本業が忙しく時間の余裕がない
- 4 情報やノウハウが不足している
- 5 連携する団体を見つけることが難しい
- 6 どのような活動をすればいいかわからない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

【問7】 貴社が市民の主体的なボランティアや地域活動などを支援する場合、可能な支援はどのようなことだと思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 資金提供など金銭的な援助
- 2 企業の特長や専門性を活かした技術的な援助
- 3 従業員の活動への参加など人的な支援
- 4 企業が有する施設・設備の提供や開放
- 5 一般市民に対する活動のPRやボランティアの募集など情報支援
- 6 支援する必要性を感じない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

【問8】 最後に地域福祉の推進に関してのご意見，ご要望など自由にお書きください。

《自由記述》

Two large, empty, hand-drawn style brackets are positioned on the page, one on the left and one on the right, intended for the respondent to write their free text.

☆質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。

地域福祉に関する意識調査のお願い

日頃より本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、函館市と函館市社会福祉協議会は、「函館市地域福祉計画」および「地域福祉実践計画」をそれぞれ策定し、市民が共に支え合い、誰もが住みやすい地域社会をめざし、地域福祉の推進に取り組んでいるところでありますが、平成31年度からの新たな計画の策定にあたり、地域での様々な課題について市民の方々の考え方などを把握し、それらのご意見を新計画と今後の福祉施策に反映させてまいりたいと考え、このたび意識調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※回答にあたりましては、裏面の注意事項をお読みください。

平成30年5月

函館市保健福祉部地域福祉課
社会福祉法人函館市社会福祉協議会

◇回答にあたってのお願い◇

1. この調査の対象者は無作為に抽出しており、任意および無記名でご回答いただくものです。また、回答内容についてはすべて統計的に処理され、個人の情報が特定されることは一切ありません。
2. 調査の基準日は、平成30年5月15日です。基準日での状況について記入してください。
3. 鉛筆またはボールペンで記入してください。
4. 選択式の質問については、あてはまる選択肢横の番号を○で囲んでください。また、順番をつける回答については、[]欄に1, 2などローマ数字で番号を記入してください。
5. 選択肢「その他」の番号を○で囲んだ場合は、横の()欄にその内容を具体的に記入してください。
6. この調査の回答期限は、**平成30年6月11日**です。
7. この調査に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

【問い合わせ】

〒040-8666

函館市東雲町4番13号

函館市保健福祉部地域福祉課

電話 0138-21-3289

※受付時間 月～金 8:45～17:30（土、日、祝日は休み）

☆☆☆ 用語解説 ☆☆☆

あ行

- ・ **依存症**
薬物やアルコールの摂取，ギャンブル等のように，特定の物質や行為を「やめたくてもやめられない」状態であり，欲求をコントロールできなくなる「病気」。
- ・ **SNS**
ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネットを通じて人と人のつながりを促進し，コミュニティーの形成を支援する会員制サービス。
- ・ **NPO**
非営利組織で各種のボランティアや市民活動を行っている団体。

さ行

- ・ **在宅福祉委員**
町会単位で設置している在宅福祉委員会において，単身高齢者世帯等への訪問安否確認，家事援助，会食会等をのサービスを提供するためのボランティア。
- ・ **サロン活動**
地域を拠点に，住民とボランティアが協働で企画をし，共に運営していく仲間づくり，居場所づくりの活動。
- ・ **市民後見人**
認知症や知的・精神障がいなどで判断能力の不十分な人の権利を保護するため，家庭裁判所から選任されて，本人に代わり，契約や財産管理などを行う，親族や専門職以外の一般市民。
- ・ **社会福祉協議会**
社会福祉法に基づき設置されている，社会福祉活動を推進するための営利を目的としない組織。
- ・ **障害者相談員**
障がい者の福祉の増進を図るため，障がい者の相談に応じその人の自立・共生のために必要な援助を行う協力者。
- ・ **生活課題**
住民が日常生活を営むうえで発生するあらゆる分野の課題。
- ・ **生活困窮者**
経済的に困窮し，最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある人。

た行

・ 地域包括支援センター

平成18年4月の介護保険制度の改正に伴い創設され、高齢者が住みなれた地域で自立した生活を継続できるよう専門職（保健師等・主任ケアマネジャー・社会福祉士等）が配置された、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点。

な行

・ 認知症

認知機能（記憶力、判断力、思考力など）が後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態。

は行

・ 保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアで、保護司法に基づき法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員。

ま行

・ 民生委員・児童委員

地域の見守りや相談・支援、地域福祉活動を行うボランティアで、民生委員法および児童福祉法に基づき厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員。

地域福祉計画策定に関わる意識調査

■あなたの年齢、世帯構成など、基本的なことをお尋ねします。

【問1】 あなたの性別・年齢についてお答えください。

《一つだけ〇》

(性別)

- 1 男
- 2 女

(年齢)

[_____] 歳

【問2】 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。

《一つだけ〇》

- 1 ひとり暮らし
- 2 親との二世帯家族
- 3 子との二世帯家族
- 4 親・子・孫の三世帯家族
- 5 その他 (_____)

【問3】 日頃交流のある人との交流方法はどのような方法が多いですか？多い順番に番号をつけてください。

《多い順から1～3の番号》

[順番]

- [] 実際に会う
[] 電話
[] SNS・電子メールなど

■あなたの隣近所との付き合いについてお尋ねします。

【問4】 あなたは、隣近所の人に挨拶などの声かけをしていますか？

《一つだけ〇》

- 1 いつもしている
- 2 時々している
- 3 ほとんどしていない
- 4 まったくしていない

【問5】 あなたは、隣近所にどのような人が住んでいるか知っていますか？

《一つだけ○》

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 ほとんど知らない
- 4 まったく知らない

■あなたの居住している地域（町内）のことについてお尋ねします。

【問6】 あなたは、地域の中で自分とは違う世代の人と交流はありますか？

《一つだけ○》

- 1 頻繁にある
- 2 ときどきある
- 3 ほとんどない
- 4 まったくない

【問7】 あなたが居住している地域では、どのような生活課題があると思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 あいさつなど隣近所との付き合いが少ない
- 2 子どもや若者が少ない
- 3 人が集まれるような催しが少ない
- 4 地域の情報が入ってこない
- 5 空き家が増えた
- 6 人が集まれるような拠点がない
- 7 何か困ったことがあった場合の相談先が少ない
- 8 高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない
- 9 見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた
- 10 暗い夜道など危険な場所が増えた
- 11 外出の際の交通機関が少ない
- 12 近所に買い物できる場所が少ない
- 13 働く場所が少ない
- 14 わからない
- 15 その他 ()

■あなたの生活状況についてお尋ねします。

【問8】 あなたは、日常生活の中で次のような不安を感じることがありますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 自分や家族の健康のこと
- 2 自分や家族の将来の生活のこと
- 3 収入や生活費などお金に関すること
- 4 災害に関すること
- 5 防犯に関すること
- 6 自分や家族の介護・介助に関すること
- 7 卒業後の進路に関すること
- 8 勉強に関すること
- 9 人間関係に関すること（家族，友人，近隣，学校など）
- 10 偏見や差別に関すること
- 11 いじめに関すること
- 12 住まいに関すること
- 13 相談できる相手がないこと
- 14 特に不安はない
- 15 その他（ ）

■あなたのボランティアや地域活動についてお尋ねします。

【問9】 あなたはボランティアや地域活動に参加したことがありますか？

《一つだけ○》

- | | |
|------------------------|------------|
| 1 積極的に参加している | → 問9-1, 2へ |
| 2 時々参加している | → 問9-1, 2へ |
| 3 これから機会があれば参加してみたい | → 問9-1, 2へ |
| 4 以前参加していたが、現在は参加していない | → 問9-3へ |
| 5 参加したことがない | → 問9-3へ |

【問9で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問9-1】 それはどのような活動ですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 お祭りなど地域のイベント開催に関する活動
- 2 サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動
- 3 高齢者の介護や介護予防などに関する活動
- 4 障がいのある人の支援などに関する活動
- 5 子育て支援などに関する活動
- 6 防犯や防災に関する活動
- 7 緑化や美化・清掃などに関する活動
- 8 文化やスポーツに関する活動
- 9 子どもの学習支援などに関する活動
- 10 男女共同参画に関する活動
- 11 市民後見人など成年後見制度に関する活動
- 12 偏見や差別の解消に関する活動
- 13 いじめなどの防止に関する活動
- 14 生活困窮者の支援に関する活動
- 15 犯罪をした人の再犯防止に関する活動
- 16 薬物やアルコールなどの依存症に関する活動
- 17 その他 ()

【問9で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問9-2】 それはどのような理由からですか？
《あてはまる番号すべてに○》

- 1 地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから
- 2 誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから
- 3 地域の中で自分なりの役割を担いたいから
- 4 偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから
- 5 いじめがない地域社会にしたいと思うから
- 6 将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから
- 7 自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから
- 8 友人、知人を得たいから
- 9 生活にはりを持たせたいから
- 10 友人、知人に誘われたから
- 11 持ち回りの当番制となっていたから
- 12 その他 ()

【問9で「現在参加していない」・「参加したことがない」と答えた方にお聞きします。】

【問9-3】 それはどのような理由からですか？
《あてはまる番号すべてに○》

- 1 時間的な余裕がないから
- 2 経済的な余裕がないから
- 3 健康や体力面の心配があるから
- 4 一緒に活動する仲間がないから
- 5 地域にボランティアや地域活動の団体がないから
- 6 活動に関する知識や情報がないから
- 7 始めるきっかけがないから
- 8 既に活動をしている人の中に加わりづらいから
- 9 人づきあいが苦手だから
- 10 人づきあいがわずらわしいから
- 11 自分のことは自分で何とかすべきだと思うから
- 12 興味・関心がないから
- 13 その他 ()


【問10】 次の法律・制度・条例や活動内容について知っていますか？

《あてはまる番号に○》

	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない
1 障害者差別解消法	1	2	3	4
2 育児・介護休業法	1	2	3	4
3 成年後見制度利用促進法	1	2	3	4
4 再犯防止推進法	1	2	3	4
5 社会福祉協議会	1	2	3	4
6 函館市成年後見センター	1	2	3	4
7 市民後见人	1	2	3	4
8 生活困窮者自立支援制度	1	2	3	4
9 地域包括支援センター	1	2	3	4
10 町会	1	2	3	4
11 民生委員・児童委員	1	2	3	4
12 在宅福祉委員	1	2	3	4
13 障害者相談員	1	2	3	4
14 保護司	1	2	3	4
15 子ども食堂	1	2	3	4
16 はこだて若者サポートステーション	1	2	3	4
17 函館いのちのホットライン	1	2	3	4
18 地域福祉コーディネーター	1	2	3	4
19 社会を明るくする運動	1	2	3	4
20 函館市福祉のまちづくり条例	1	2	3	4

【問 1 1】 最後に地域福祉の推進に関してのご意見, ご要望など自由にお書きください。

《自由記述》



☆質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。